30.10.17

在学生、教職員　各位

学長　木村　哲

平成 29 年度授業評価実施結果について

本学では、教育の質の向上を図るため、皆さんのご協力のもと全科目について授業評価を実施しております。
このたび平成 29 年度の実施結果がまとまりましたのでご報告いたします。

在学生の皆さんから提出していただいた授業評価については、各科目の担当教員
が 1 枚ずつ目を通して授業への工夫等をまとめた上で、各学科長等において整理願ったものを公表いたします。また、授業評価実施結果についても概要と質問項目別の集計結果について公表いたします。

なお、平成 30 年度においては、昨年度に引き続き、授業の改善を図るとともに教員の教育力の向上に資するための制度的な取り組みの一環として、平成 29 年度に実施した学部学生に係る授業評価結果に基づき、各学部・各学科の授業科目(講義・演習科目又は実習・実験科目)において、評価が最も高得点であった教員合計 15 名に対し学長顕彰を実施いたしました。

本学では、授業評価の結果を生かして授業内容・方法等の創意工夫を行うなど、今後も教育の質の向上に努めることといたしますので、よろしくお願いいたします。

平成 29 年度授業評価実施結果の概要について

東京医療保健大学
医療保健学部及び助産学専攻科
東が丘・立川看護学部

（概要）

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該教員に配布し記述内容を確認した後、各教員から調査結果に対し授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、直接各学科長等に提出することとしております。

各学科長等は考察をまとめ学部長等会議で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

(1)授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、本年度は、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか」、及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか」を尋ねる記述式の質問を新たに加えております。

(2)授業評価結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」のそれぞれの割合（%）により表記しております。

また、自由記述は、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する要望等」及び「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。

(3)さらに、平成 29 年度の授業評価結果では「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」の共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

＜医療保健学部・助産学専攻科＞

	平成 29 年度	平成 28 年度
学生として、自分自身の授業態度について	78.2%	81.7%
授業内容について	72.8%	75.2%
教員の考え方・姿勢について	72.2%	76.2%*[1]

＜東が丘・立川看護学部＞

	平成 29 年度	平成 28 年度
学生として、自分自身の授業態度について	83.7%	88.9%
授業内容について	82.1%	83.6%
教員の考え方・姿勢について	79.0%	83.2%*[1]

*[1]平成 29 年度より「教員の教え方について」「教員の姿勢について」という項目を統合し、「教員の考え方・姿勢について」とした。そのため、該当の前年度ポイントは、昨年度の２項目の平均にて前年度比較としている。

⑷授業評価結果の経年比較では、前年度よりいずれも低下しておりますが、これはアンケート項目の微改正による厳密な経年比較ができていないことが大きいと考えます。授業評価の実施によりその効果が確実に上がり学生及び教員の双方に、良い結果をもたらしていると考えております。本学においては、これらの集計結果を公表し、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう今後も努めてまいります。

平成 29 年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本　すが

１．授業評価の結果について

○ 1 年生からのグループワークを取り入れることにより「自分の意見を積極的に言えるようになった」という感想があり、グループワークを意識的に取り入れている効果がでてきていると思われます。しかし、授業中の発言は多くないことも指摘されており、全員の前で自分の意見や質問を伝える力をつけることは、今後の課題となっています。

○ 新カリキュラムが施行され 3 年目となり、1・2 年生科目の評価が高くなってきています。基礎看護学実習については、ルーブリックを活用しながら、科目担当者・実習指導者の評価の統一が図れてきています。しかし、新カリキュラムの 3 年生と旧カリキュラムの 4 年生が混在していたことにより、上位学年の科目については、調整が不十分となっていたこともわかりました。今後、各科目で改善・工夫を重ねていきます。

○ 授業内の提出物が多いことには、不満の意見も聞かれましたが、上位学年の実習への評価では、授業での記録物が役に立ったという評価もありました。
学生への説明を十分に行い、考え・まとめ・書く力の醸成に努めていきたいと思います。

２．授業において工夫した点について

○ 授業内容の理解の程度を確認するため、講義内でミニテストを実施している科目が多くあります。3 年後期からの領域別実習で十分な学びを得られるよう、各科目で確実に知識を積み上げるための工夫を行っています。

○ ルーブリック評価表を活用し、評価基準を明確化しています。評価表があることにより、教員間の共有が行われ、指導の改善につながっています。

３．今後の授業への生かし方について

○ 事例をもとにしたディスカッションを多く取り入れておりますが、テーマによっては、答えが一つでなく、教員により考え方が異なる場合もあります。
学生が教員に答えを聞くのではなく、教員とディスカッションすることにより、多様な考え方を学ぶ機会を多く持つことができるようにしたいと思います。

○ 領域別実習が複数領域合同の実習となり、二つの実習を統合しながら学びを深めていくカリキュラムとなっています。教員同士のディスカッションの機会を多く持ちながら、より良い科目運営を行っていきたいと思います。

４．その他

○ 医療保健学部看護学科のビジョンを策定しましたので、今後は、教員それぞれが目標を共有しながら、より良い看護教育を行っていきたいと思います。

○ 厳しい評価をいただいた項目については、学生の現状の能力や多様なニーズに対応できるプログラムや資料を作成し、授業内容をわかりやすく伝える等、支援体制を検討していきたいと考えています。

平成 29 年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長･医療保健学部医療栄養学科長
小西　敏郎

医療栄養学科では、社会で活躍できる優れた管理栄養士の育成を目指し、卒業時には学生全員が管理栄養士国家試験に合格できることを目標に授業を行っています。そのために、学科の教員全員（常勤・非常勤ともに）が、毎年学生の皆さんからいただく授業評価を参考にして、それぞれが授業の改善・工夫の努力をしてきています。

開学以来 10 年経過しましたので、昨年カリキュラムを見直して新カリキュラムがスタートしました。新しいカリキュラムでは医療現場の栄養士・管理栄養士の活動の実際を早く理解することが重要と考えて、早くから実験・実習や病院見学の機会を豊富に設けました。具体的には、1 年後期の「医学・医療概論」に病院見学を導入し、医療の現場を早期に体験・学習することで、将来目指す目標を早期に明確にできるようにしました。新たに「臨床栄養実践演習」「地域栄養学実習」などの在宅栄養管理に関する実践的な授業を取り入れ、これからの社会において求められる管理栄養士としての資質を十分に備えるようにしました。また病理学の授業時間を増やし、栄養・食生活に関連する疾病を中心に多くの疾病の成因・病態生理・症候と診断・治療法について、人体の構造と機能に関係づけて系統的･総合的に理解できるように図りました。4 年次生には栄養学研究の心構えと研究手法を身に付けてもらうために、卒業研究においては全員に口頭発表の機会を設け、かつ自分たちで論文を完成させるように指導しています。

これらの新しいカリキュラムにより、強いリーダーシップをもって栄養サポートチーム(NST : nutrition support team)を支える管理栄養士としての力を養えるように指導しています。本年度の学生の授業評価はこの新たなカリキュラムで行われた授業に対する評価です。

１．授業評価に関しての感想

学科では、全体的な評価点数だけでなく、個々の学生の意見も参考にして、学生が何を授業に期待しているか、どのような点を不満に感じているかを判断しながら、毎年授業改善を図っています。本年度の評価をまとめると、多くの授業は非常によい評価を受けていましたので、学生の多くは集中して授業に取り組めたものと判断しています。しかし、厳しい評価の授業もあり、また具体的な問題点や改善希望の指摘も多くいただいたので、引き続き教員も、また学科としても、授業改善のためにさらなる努力を重ねていく必要があると考えています。学生の皆さんは、授業中に感じた不満点を積極的に指摘したり、あるいは改善希望点を具体的に提案してください。

２．授業において工夫した点について

これまで少なかった「アクティブラーニング」をもっともっと取り入れる必要があると、ほとんどの教員は感じており、授業の中に学生参加型スタイルを取り入れるように改善してきています。

これまでスライドよりも板書を重視した授業を行ってきた教員もいますが、スライドとプリント配布に切り替えることが多くなっています。またプリントは重要な部分を空白にして、授業中に学生自身が書き込むようにすることや、重要箇所はカラーや太字とすることなどで、学生の注意力・集中力を高めるようにしています。しかしスライドの文字が小さい、スライドが多すぎてノートに記入する余裕がない、などの意見もありましたので、改善を図ります。

ミニテストや宿題形式で、前回の授業のまとめを次回の授業の冒頭に行っている教員が増えていますが、その際に、ミニテストの解答を学生がプレゼンテーションすることで、学生参加型の機会を増やす工夫をしています。なかにはミニテストに、学生からの質問や希望を学生が書き込める欄をつくり、次回の授業でそれをとりあげることで、より多くの学生が重要点を理解できるように改善を図る工夫も行っています。

また授業によっては、授業の終わりに「まとめ」を行うことで、学生の理解度が増してきているように感じている教員もいます。このように授業ごとに講義内容を整理する方法を変えていく工夫を取り入れています。

３．今後の授業について

昨年度から新カリキュラムによる授業が開始されましたが、まだまだ改善が必要な点も多くありますので、これからもカリキュラムの改訂を行っていきます。多くの教員は、同じ授業を同じように行っても、クラスによって学生の授業中の態度や授業に対する評価が異なることが少なくないと感じています。学年、クラスによって学生の傾向や雰囲気が異なることが今回の評価を分析してもよく理解できました。年度ごとに、あるいはクラスごとに、授業中の学生の状態や反応を見極めて、同一の授業方法ではなく、授業展開を変えてゆく工夫をいたします。

また基礎学力が足りないことから授業の理解が不十分で不満をもつ学生がいるのも確かなので、そのような学生を早く見出し、できるだけ多くの学生が理解できるような授業方法を考えていきたいと、多くの教員は考えています。

４．学生に対して

授業中に私語を交わす、居眠りする学生が少なくありません。「授業がつまらない」、「わかりにくい」、「専門すぎる」、「なぜこの授業が自分に必要なのかわからない」、などが理由と思われます。教員も学生がもっと熱心に授業を受けるようになればと授業の改善を考えていますので、学生も具体的な改善点の希望があれば教員に伝えるようにしてほしいと思います。

能力、意欲に大きく個人差のある学生諸君に対して、学ぶことの楽しさや学び方に学生が興味を持って取り組めるように、各教員は熱意をもって授業改善に取り組んでいます。学生諸君は、それをよく理解して、授業中に自分が理解できないことがあれば、みずから質問し、不満があればその都度教員に伝えてもらいたいと思います。むしろ教員から学生諸君に質問はないか問いかけても反応がないことが多いので、もし授業中に質問するのは恥ずかしい、気後れがするようならば、授業終了後やオフィスアワーを利用して、どんどん質問したり意見を述べてほしいと思います。

平成 29 年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長
石原　照夫

１．授業評価結果アンケート結果の感想

○ 今年度も、各評価項目の得点が全科目平均よりも低い評価の科目がみられます。担当教員は自由記述等を参考に，改善に鋭意取り組んでいますが，まだ不十分な点があると思われます。特に、選択科目、必修科目での差が顕著になっています。選択科目ではもともと学習意欲の高い学生が履修しているという選択バイアスがありますが、必修科目は学科として基礎的な科目でもありますので、各授業科目の特性を考慮しながら、授業の改善に真摯に取り組んでいきたいと考えています。

○ 実験・演習系の科目には、積極的に参加している学生が多いので、座学が中心になる科目においても、より医療の現場に近い視点で授業内容を構成する工夫が必要であると考えています。

○ 昨年度は高評価の科目が、ほぼ同じ授業内容にもかかわらず、今年は評価が下がっている科目がみられます。学生の理解度等をみながら、随時、進め方や難易度の調整が必要であると感じました。

○ 新カリキュラムで新たに開始された授業科目については、授業内容の完成度がまだ不十分で、目標レベルの成果が得られなかったと思われるものがあります。今後、科目のねらいがどこにあるのかが明確になるよう、内容を充実していきたいと考えています。

○ 医療系の演習科目では医学・医療にあまり興味を持たない学生と興味を持つ学生とで評価が分かれてしまっているものがあります。科目の目標についての確認とカリキュラム全体の中での位置づけを理解してもらうことが当面の大きな課題ではないかと思います。

○ 1 年次、2 年次の臨床医学総論・各論等の医学的な内容に関する科目は、前年度と同様、低い評価になっています。専門性の高い内容、一方向的な座学中心の内容などが大きな原因と思われます。この学年での、臨床医学の授業は難しいとも考えますが、一方で、その後の学年で学修する応用臨床医学、診療情報論演習、医療管理総論等では、違った観点から同様の内容を扱う授業が組まれています。医学は反復して学習しないと修得できない面があるので、学習方法を十分に理解させる必要があると思います。

○ レポート課題が負担であるという意見がありましたが、内容を要約して文章でまとめるという能力は社会に出て行くにあたって、基本的な能力と考えられます。その意義の理解がえられるよう努力していきたいと考えます。

２．授業において工夫した点について

科目の特性を考慮に入れ､各担当教員によって以下のような工夫を行いました。

○ 自学自習のための工夫

・デスクネッツへの事前・事後学習の準備。

・LMS を用いた知識内容の確認。

・「講義アーカイブ」サイトの設置。

○ 授業内容の工夫

・学生の理解を第一優先にして講義内容を調整。

・授業の初めに前回の授業の重点項目を復習。

・体験談を織り交ぜながら、また、具体的なシチュエーションでどのように知識が生かされるのかを盛り込んだ授業内容の構成。

・新しいIT技術の紹介とその体験。

・配付資料の工夫（重点項目を分かりやすく、あるいは書き込み方式にする）

・病院実習は学生の希望に応じた実習設計をたてました。

○ 学生の理解度等のチェックと対応

・定期試験のみならず、小テスト、レポートを活用した総合評価。

・提出課題に対してのコメントの充実。

３．今後の授業にどう生かすか

○ 今年度から、担当教員の了解のもと、一部の授業を公開にして、他教員が見学して、評価レポートをFD委員に提出して、授業改善の一助にすることにしました。

○ 本学科は、医学・医療に関連した分野で活躍する人材の育成をめざしています。この分野では、AI、VR、IoTなどの新しい情報通信技術が展開され、また医療ビッグデータの解析を行うデータサイエンティストの育成が喫緊の課題として提起されています。このような新しい動きを反映した授業の充実にも努めて参ります。

○ 他の授業科目との関連性を明確にするように取り組んできましたが、まだ、不十分なようですので、更に徹底致します。

○ 対外活動(学会、国際モダンホスピタルショウ等への参加)は、学生にとって重要な課外学習と考えています。その場合の授業振替が負担をもたらすことも起こりえますので、他の科目とも調整して負荷がかからないようにしていきたいと考えます。

○ 医療情報の重要な発生源の一つである診療記録を通じて、人体の構造・機能や病態、生理を考え、診療情報の奥深さに興味を持てるように支援したいと思います。

○ 病院実習は学生にとって貴重な体験と考えていますので、今後も多様な実習形態を開拓し、学生のニーズに合った実習ができるよう取り組んでいきたいと考えております。また、次年度からインターンシップ（必修）が始まります。実習先の確保、実習内容の充実に全力をあげて取り組みます。

４．その他

○ 授業の改善は、教員のみの努力では達成できません。学生自身も授業に能動的に参加し、授業に対する意見、授業内容に対する質問等を積極的に出して頂きたいと思います。各教員のオフィスアワーも、活用してください。

○ 授業評価を次年度の授業に生かせるように、結果が早く(当該年度3月末)出るようなアンケート法を考えて頂けたらと思います。授業の印象が残っているうちに評価を頂くと、改善の取り組みも円滑になるように思います。

○ 集計結果に、学科平均値、度数分布も知らせていただくと分析、改善策の検討に役立つのではないかと思います。各質問に対する評価も、レーダーチャートに表示すれば全体像の把握がしやすいのではないかと考えますので検討頂きたいと思います。

平成 29 年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

助産学専攻科長　坂本　すが

１．授業評価の結果について

○ 助産学専攻科の科目全体において高評価でした。しかし、教員の姿勢について、講義内容や授業展開などに関する指摘はありませんでしたが、実習に対する教員の関わりについて、ご批判を頂きました。今後も学生が授業や実習を理解し、実践できるような教育や指導を目指します。

○ 周産期医療の最新の動きを理解するために、医師や多分野の講師による授業展開、また、授業の一環としてセミナーや学会に参加し、他大学の学生との交流などを盛り込む工夫は学生から高評価であり、新たな学修方法と考えます。

２．授業において工夫した点について

○ 授業等では、授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせて具体的な支援方法について教員間であらかじめ詳細にすり合わせをして授業に臨むことを継続しています。演習形式の授業は、学生の理解度が図れるように、デモンストレーションや質問への対応などのため、複数の教員で対応しています。

○ 実習開始後に全体で帰校する日程を調整し、全学生に対して、臨地実習における実際例での分娩記録などの展開に関する問題や課題を検討し、施行の訓練などを実施しています。分娩時の助産診断などの理解に繋いでいます。

○ 学生の実践力を高めるために、シナリオディベイトなどを導入して、実践の中から学生の聞く力や伝える力、考える力などの育成に反映させており、上記の 2 点の工夫など含めて、学習の効果に繋がってきていると考えますので継続して参ります。

３．今後の授業への生かし方について

授業や実習及び研究の評価を分析し、課題やグループワーク、研究などの学生の負担感に関しても、教員間で教育目標や指導方針を十分に共有してよい授業や教育・実習が行えるように発展させていきます。

４．その他

今後も、助産師として学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求できるように、支援していきたいと考えます。助産学専攻科の学習は厳しいと思いますが、応援しておりますので、頑張ってください。

平成29年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数　348科目　○調査対象者数　23,367人（延人数）
○総回答数　19,759枚（回答率 84.6%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	30.7	43.1	23.5	2.1	0.6	0.0	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	51.9	31.9	15.0	1.0	0.2	0.0	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	36.1	40.9	20.5	1.8	0.6	0.1	100
計	39.6	38.6	19.7	1.6	0.5	0.0	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	24.7	45.3	25.2	3.8	0.9	0.1	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	30.7	43.6	21.9	3.0	0.8	0.0	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	30.7	41.3	23.7	3.2	1.0	0.1	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	34.1	40.7	21.3	2.8	0.9	0.2	100
計	30.1	42.7	23.0	3.2	0.9	0.1	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	25.4	38.3	30.2	4.1	1.9	0.1	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	32.6	40.9	22.0	3.4	1.0	0.1	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	36.1	37.5	19.5	3.8	1.6	1.5	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	33.3	38.2	23.3	3.7	1.3	0.2	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	36.1	38.6	21.1	3.0	1.1	0.1	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	38.9	38.5	19.6	2.1	0.8	0.1	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	32.3	39.0	23.1	3.8	1.5	0.3	100
計	33.5	38.7	22.7	3.4	1.3	0.4	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	32.2	39.5	20.7	3.2	1.2	3.2	100
全質問項目の平均	33.7	39.8	22.1	3.0	1.0	0.4	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

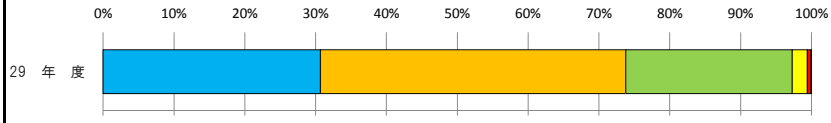
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	314科目	327科目	340科目	340科目	348科目
調査対象者数	25,791人	25,157人	24,002人	23,623人	23,367人
総回答数（回答率）	20,937枚（81.2%）	22,510枚（89.5%）	20,563枚（85.7%）	20,274枚（85.8%）	19,759枚（84.6%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う / ややそう思う / どちらともいえない / そう思わない / 全くそう思わない / 無回答

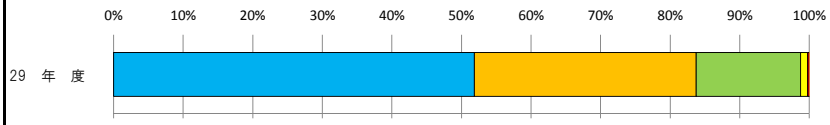
Ⅰ あなた自身について

1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



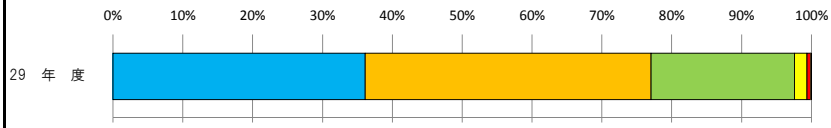
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	43.1	73.8	－

2(2) 積極的に出席したと思うか。



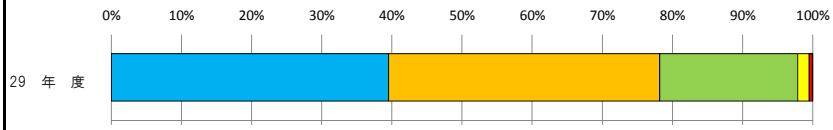
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.9	31.9	83.8	－

3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.1	40.9	77.0	－

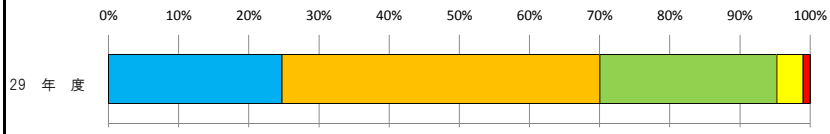
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.6	38.6	78.2	－

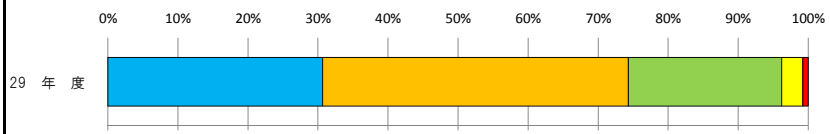
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



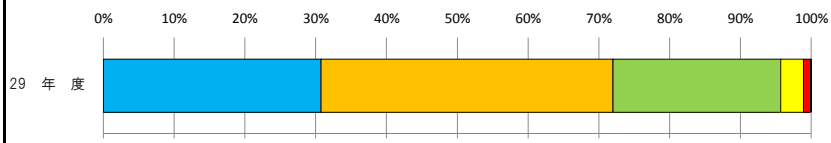
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
24.7	45.3	70.0	－

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



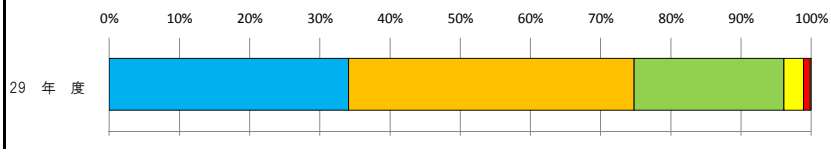
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	43.6	74.3	－

6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



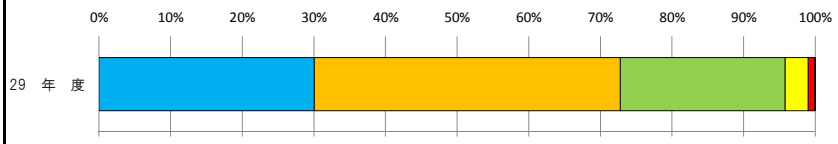
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	41.3	72.0	－

7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.1	40.7	74.8	－

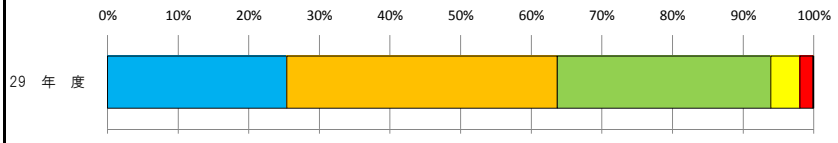
「計」（質問項目 4(4) ～ 7(7) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.1	42.7	72.8	－

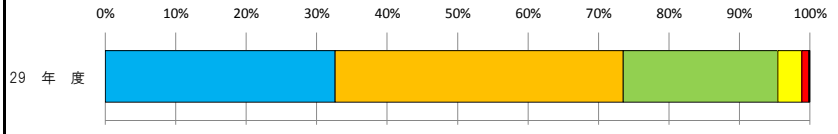
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8)　シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



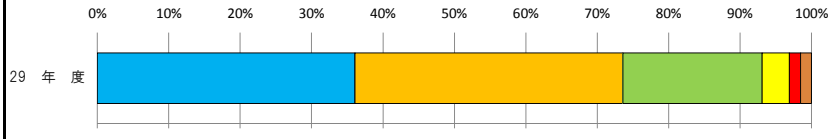
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25.4	38.3	63.7	－

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



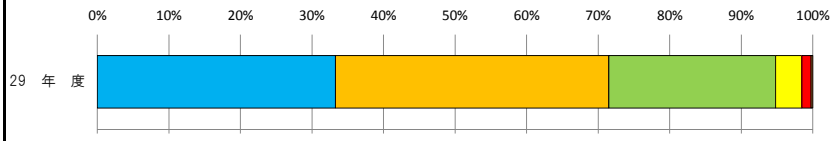
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.6	40.9	73.5	－

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



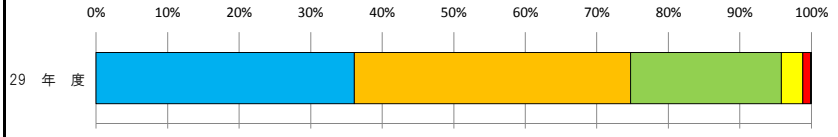
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.1	37.5	73.6	－

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



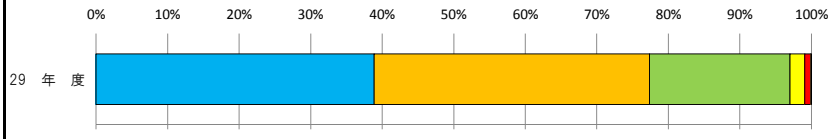
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.3	38.2	71.5	－

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



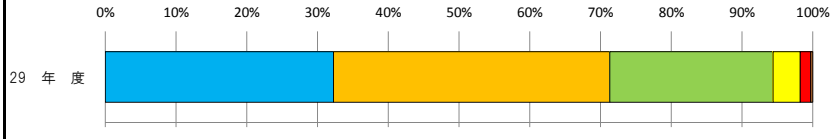
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.1	38.6	74.7	－

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



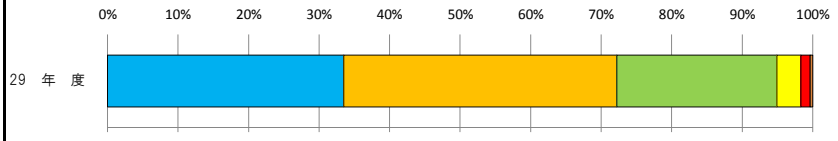
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.9	38.5	77.4	－

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	39.0	71.3	－

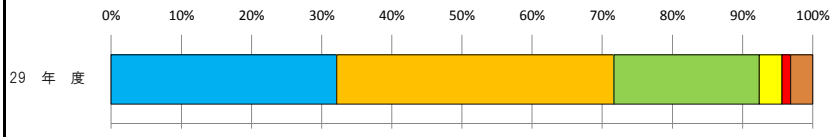
「計」（質問項目 8(8) ～ 15(14) ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.5	38.7	72.2	－

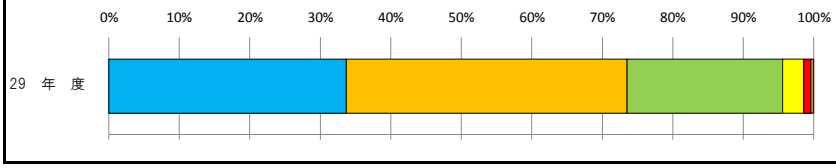
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.2	39.5	71.7	－

全質問項目の平均

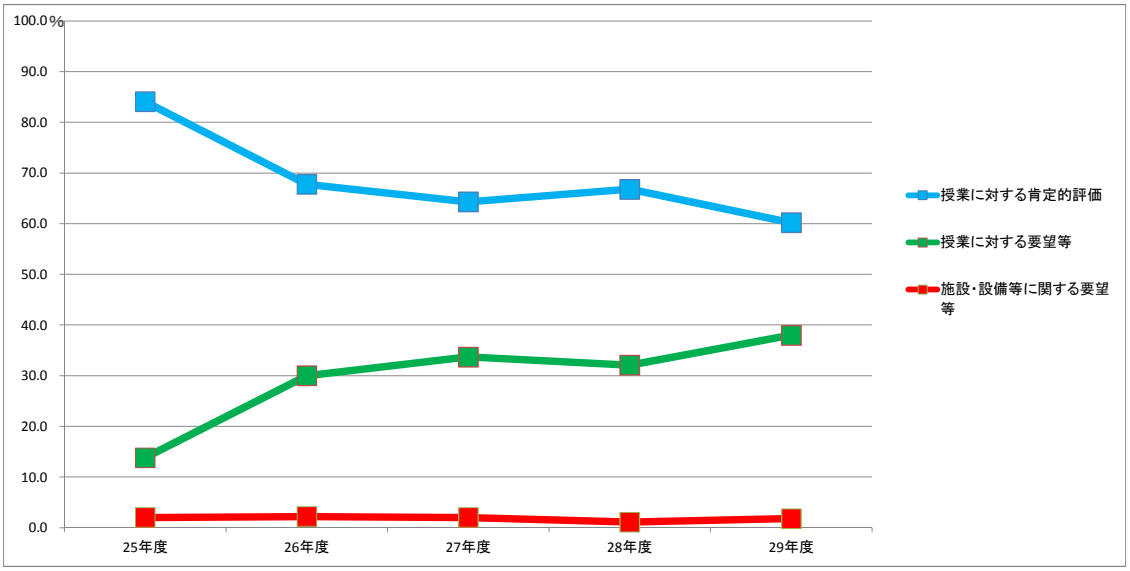


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.7	39.8	73.5	－

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(84.2%)	745	(67.8%)	429	(64.3%)	383	(66.8%)	427	(60.2%)	307
授業に対する要望等	(13.8%)	122	(30.0%)	190	(33.7%)	201	(32.1%)	205	(38.0%)	194
施設・設備等に関する要望等	(2.0%)	18	(2.2%)	14	(2.0%)	12	(1.1%)	7	(1.8%)	9
総件数	(100.0%)	885	(100.0%)	633	(100.0%)	596	(100.0%)	639	(100.0%)	510

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	307	・先生方の臨床の話をきけると現場でも本当に行っているのだなと感じることができたので授業の中でもっと聞きたかったです。 ・とても楽しい授業であったと思います。スライドでニュースを見れたことがとても良かった。日本で実際におきていることを知れて興味が湧きました。 ・班の雰囲気も良く、先生の言う大事なポイントも分かりやすくて楽しかったです。 ・栄養相談をやって良かったと思いました。自分の為にもなったし、改善点がみつかって良かった。 ・人の目を見て話を聞きたいタイプですが、毎回目を合わせて話して下さって、こちらが理解しているかを確認しながら進めていてすごくよかったです。 ・カラーコーディネーターの資格に興味があって、授業を受けていたら、より、理解が深まり、カラーコーディネーター３級受かりました。
授業に対する要望等	194	・事例について最後の方の授業で考えていた時、結局、どの答えが正しいのか、教えてくれなかったので正解がわからなかった。 ・教員には全く問題なく、分かりやすいが、ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ資格試験が１２月で終了するため、１月に試験がない時間割編成の方が良いと思う。 ・パワーポイントのプリントの配布を増やしてほしかった。穴埋め式の形式のプリントでも良かった。 ・パワーポイントの情報が多く、知識は得られるが、もう少し１つのスライドにゆとりがほしい。文字が詰まっていると、少し読みにくい時もあった。 ・成積の評価方法が不明確・曖昧でわかりにくかったように思います。
施設・設備等に関する要望等	9	・A401教室の白板が電気や、窓からの明かりによって反射してしまい、角度を変えても見ることができない時がありました。 ・クーラーの温度が寒かったり暑かったりバラバラだった。
計	510	

平成29年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数　300科目　　○調査対象者数　20,065人（延人数）
○総回答数　17,042枚（回答率 84.9%）

◆ 質問項目別集計結果　〈内容一新のため、昨年との比較無し〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	30.5	42.3	24.4	2.1	0.6	0.1	100
2. 積極的に出席したと思うか。	50.5	32.3	15.8	1.1	0.3	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	34.5	41.2	21.7	1.9	0.6	0.1	100
計	38.5	38.6	20.6	1.7	0.5	0.1	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	24.0	44.7	26.1	4.1	1.0	0.1	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	29.8	43.2	22.9	3.2	0.9	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	29.7	41.0	24.6	3.5	1.1	0.1	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	32.8	40.7	22.3	3.0	1.0	0.2	100
計	29.1	42.4	24.0	3.4	1.0	0.1	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	24.8	38.0	31.0	4.1	2.0	0.1	100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	32.0	40.8	22.5	3.4	1.1	0.2	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	35.3	37.3	20.1	3.9	1.7	1.7	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1　わかりやすい板書であったと思うか。	28.5	38.2	25.6	4.2	1.8	1.7	100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、 -2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	31.7	39.5	22.1	4.2	1.4	1.1	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	32.6	37.9	24.2	3.7	1.3	0.3	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	35.6	38.6	21.7	2.9	1.1	0.1	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	38.3	38.4	20.4	2.0	0.8	0.1	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	31.6	38.8	23.9	3.9	1.5	0.3	100
計	32.3	38.6	23.5	3.6	1.4	0.6	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	31.2	39.3	21.5	3.4	1.3	3.3	100
全質問項目の平均	32.5	39.5	23.0	3.2	1.2	0.6	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

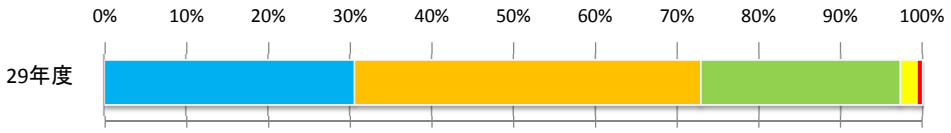
	28年度	29年度
全科目数	291科目	300科目
調査対象者数	20,236人	20,065人
総回答数（回答率）	17,148枚（84.7%）	17,042枚（84.9%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

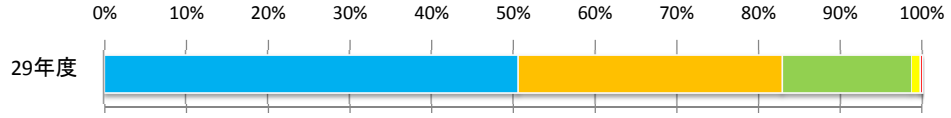
Ⅰ 学生として、自分自身の授業態度について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



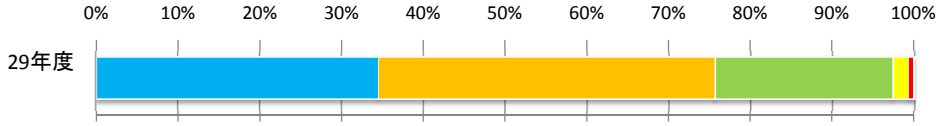
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.5	42.3	72.8	—

2. 積極的に出席したと思うか。



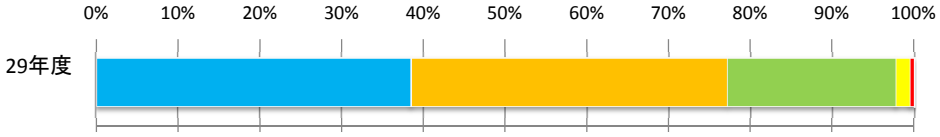
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.5	32.3	82.8	—

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.5	41.2	75.7	—

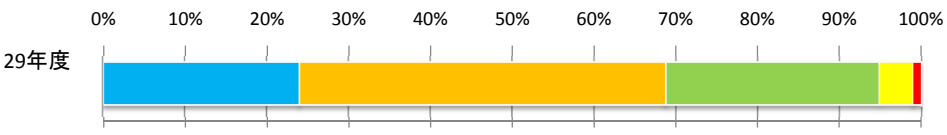
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.5	38.6	77.1	—

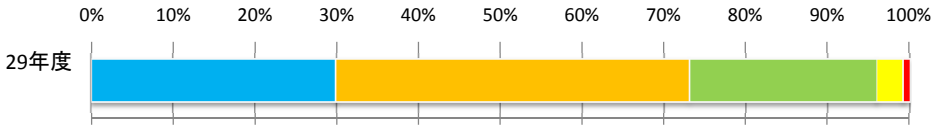
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



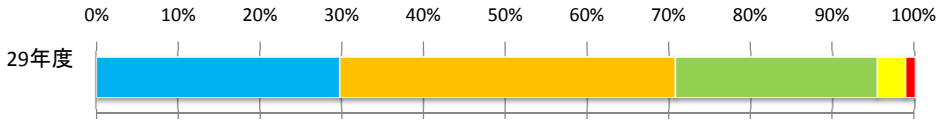
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
24.0	44.7	68.7	—

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



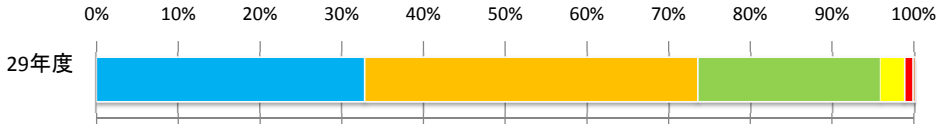
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.8	43.2	73.0	—

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



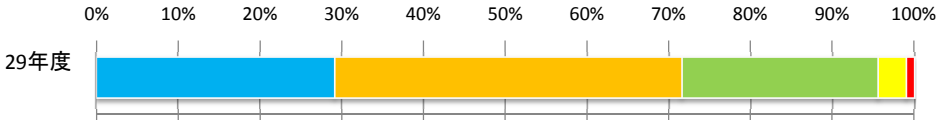
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.7	41.0	70.7	—

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.8	40.7	73.5	—

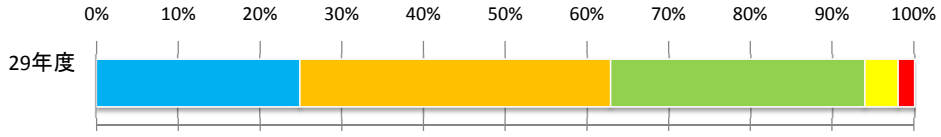
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.1	42.4	71.5	—

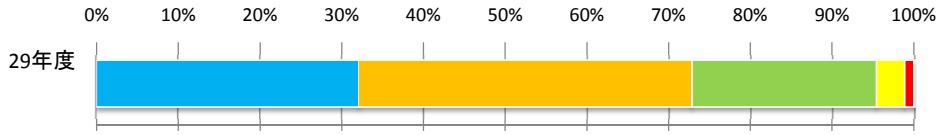
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



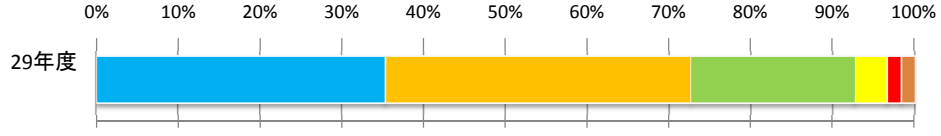
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
24.8	38.0	62.8	—

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



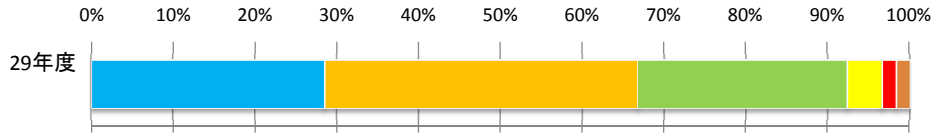
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.0	40.8	72.8	—

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



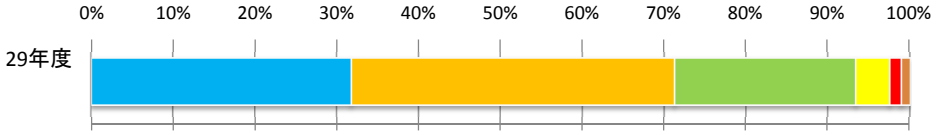
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.3	37.3	72.6	—

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



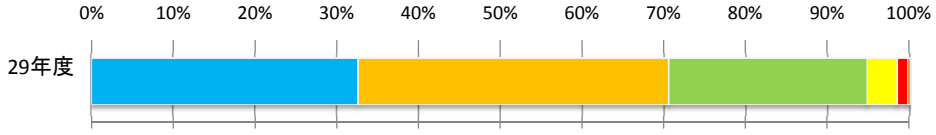
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
28.5	38.2	66.7	—

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



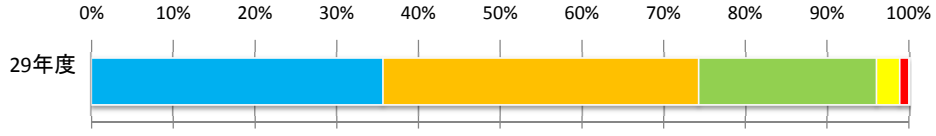
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.7	39.5	71.2	—

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



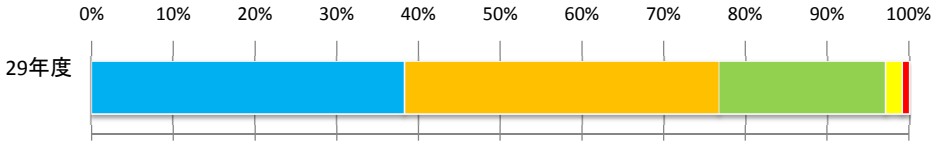
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.6	37.9	70.5	—

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



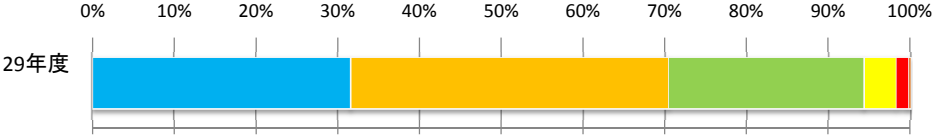
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.6	38.6	74.2	—

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



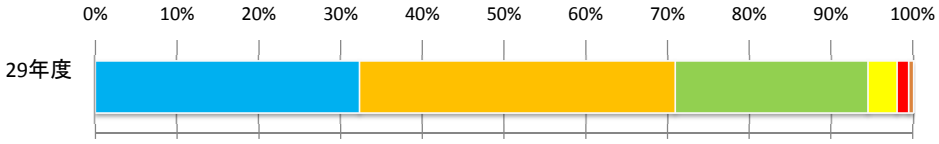
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	38.4	76.7	—

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.6	38.8	70.4	—

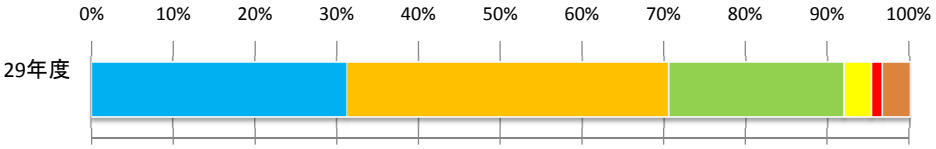
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	38.6	70.9	—

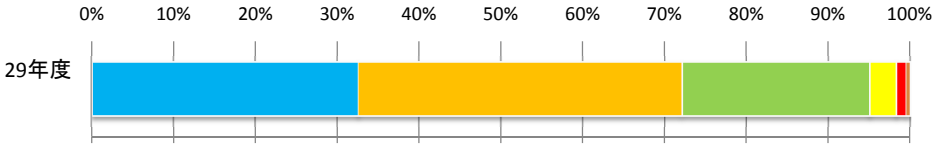
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.2	39.3	70.5	—

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.5	39.5	72.0	—

◆ Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 656】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	地域保健活動演習 【2年次前期】	4	他の学生の意見が得られて理解が深まった。自分一人ではこうはいかなかったと思う。 グループワークで学びが深まった。地域の人と直にかかわれるきっかけができた。
	精神看護援助論Ⅰ 【2年次前期】	4	精神の病気のことや、かかった人のことがわかって良かった。とても興味深かった。 病気の知識が増えたことや、ビデオとかもあって楽しく覚えられました。
	機能看護学Ⅱ 【2年次前期】	4	認定看護管理者のキャリアとはどのようなものか具体的に考えられた。 他学生のキャリアマネジメントの意見が聞けて良かった。
医療栄養学科	調理学 【1年次後期】	8	調理実習Ⅰ、Ⅱでやったことをふり返りつつ、学習を深めて、すごく楽しかったです。スライドも説明も本当にわかりやすかったと思います。 調理実習でやったことを具体例であげてくれたり+αの豆知識が聞けたりと毎時間楽しかった。 基本的なことに加え、うんちくもおぼえられた。 先生が話してくれる豆知識がおもしろい。
	基礎栄養学特講 【2年次前期】	10	栄養学の基礎を詳しく教えてもらったのでとても分かりやすく、知識がつきました。また、サプリメントのことも理解できてよかったです。 専門的なことが聞けてよかったです。パワーポイントがたくさん使われている授業でよかった。わかりやすいです。 教科書にない内容を教えていただけたのはためになりました。 進路の話も出てためになった。違った方向性の知識も知れてよかった。
	総合学習Ⅰ 【1年次前期】	46	まだ基礎ばかりを学んでいる中でより専門的な知識を学ぶことができてよかった。将来につながっていると感じることができた。 シラバスのとおり、他科目にも関係していて、役立つことが多かった。 栄養学の基礎的な内容を学ぶことができたことが良かった。今後の学習に役立つと思う。毎回、授業の最後に、演習問題があって内容を理解しやすかった。 管理栄養士国家資格を受験するうえで、必要な知識が学べたと思う。
	機能看護学Ⅱ 【3年次後期･4年次前期】	5	調味料の使用量など、受ける前は自分の感覚だとめちゃくちゃな量だったので少し正確になって良かった。 料理の組み合わせにおいて、普段気にしていなかった注意すべき点を知ることができた。
医療情報学科	情報ワークショップⅠ 【1年次前期】	3	最後の映像発表でパソコンのパワーポイント映像の作り方を知れたのでよかった。 この授業でパソコンについて学べたのはもちろん、班でやったりする中でたくさんの人と仲良くできた。
	コンピューターシステムⅠ 【1年次前期】	3	この科目は難しいけどやればやるほど楽しかったです。 計算ができるようになり、理解をすることができてよかった
	情報システム開発論Ⅰ 【3年次後期･4年次前期】	2	DFD、ユースケースあたりは最近使う必要ができたので、これからのためにも学べて良かったと感じました。 将来役に立つと思った。

◆ Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 423】

	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	地域保健活動演習 【2年次前期】	10	最終レポートはテストにする必要はあるのか疑問に残った。グループ発表を通してせっかく学びを深めたのに、時間が足りず残念でした。 授業構成があまり良くないと思う。教員が違うと教えてもらえる情報も違ったので、統一した方が良いと思う。 最終レポートの記入時間が短い。事前にテスト形式について説明がもっとほしかった。
	公衆衛生看護援助論Ⅱ 【3年次前期】	4	時間配分をしっかりしてください。授業時間が必ず延長する。 国試の問題を配っておいて、授業で解説とかにしてほしい。
	基礎看護援助方法Ⅴ 【3年次前期】	4	AクラスとBクラスで時間割が良くない。教員によって言っていることが違うので統一してほしい。 生活編と治療編とで、実技試験は両方やるべきだと思う。 中間テスト後にすぐ解説があることを、前半のクラスは途中退出した人には伝わってなかったのがよくなかったと思う。
医療栄養学科	フードスペシャリスト論 【3年次前期】	9	授業プリントを配布してほしい。脱線が多く、試験の情報が少ない。 もっとスライドをゆっくり、メモをとる時間が欲しい。教科書にそって話をすすめていない時が多く、最後にまとめて教科書の内容をやるのはやめてほしい。
	栄養教育論Ⅲ 【3年次後期】	14	スライドをもう少しゆっくり変えてほしい。板書できないところが多々あった。 当てている人が番号でも特定で、同じ人ばかり当てていた。当たっている人に印をつける等の工夫が必要だと思った。
	総合学習Ⅰ 【1年次前期】	9	授業のペースを安定させてほしい。（後半になるとはやい） パワーポイントで図がでてきても時間内にノートに写すことができないので、できれば印刷してほしい。
	病理学 【3年次後期】	5	スライドがたまにかぶっていたり、ぬけていたりした。見にくかった。 配布スライドと実際のスライドが合わないことが多々あった
	臨床栄養学Ⅱ 【3年次前期】	4	スライドが早い。症例検討の際、先生の考えと自分の考えを比べたかったが早すぎて見えなかった。 提出日や難易度など、実習の課題とうまく組み合わせてほしかったです。
医療情報学科	医療情報システム論Ⅱ 【4年次前期】	5	DICOMやIDLinkなど、座学で教えられても理解できないので、実物のシステムを触らせるか、見せながら講義して欲しい。 穴埋めの量が多すぎてみんな写真を取る現状、正直うるさいし落ちつかないので減らして欲しい。
	医療管理各論 【2年次前期】	3	小テストなのに多すぎるし、時間内に終わらないこともあったので、もう少し配分を検討して欲しいです。

平成29年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数　48科目　　○調査対象者数　3,302人（延人数）
○総回答数　2,717枚（回答率 82.3%）

◆ 質問項目別集計結果　〈内容一新のため、昨年との比較無し〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	31.7	48.0	18.0	2.1	0.2	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	60.4	28.7	10.5	0.3	0.1	0.0	100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	46.5	39.5	13.1	0.6	0.2	0.1	100
計	46.2	38.7	13.9	1.0	0.2	0.0	100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	29.7	48.9	19.2	1.8	0.4	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	36.3	46.2	15.5	1.7	0.3	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	37.2	42.8	17.9	1.6	0.5	0.0	100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	42.3	40.7	15.0	1.4	0.4	0.2	100
計	36.4	44.6	16.9	1.6	0.4	0.1	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	28.8	40.0	25.5	4.3	1.3	0.1	100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	36.5	41.7	18.2	3.0	0.5	0.1	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	41.0	38.9	16.0	3.2	0.8	0.1	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	37.7	40.0	17.6	3.6	1.1	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	39.5	38.8	16.7	3.8	1.1	0.1	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	42.8	38.9	15.0	2.5	0.7	0.1	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	36.6	40.9	17.9	3.3	1.2	0.1	100
計	37.5	39.9	18.1	3.4	1.0	0.1	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	38.1	41.1	15.8	2.2	0.7	2.1	100
全質問項目の平均	39.0	41.0	16.8	2.4	0.6	0.2	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

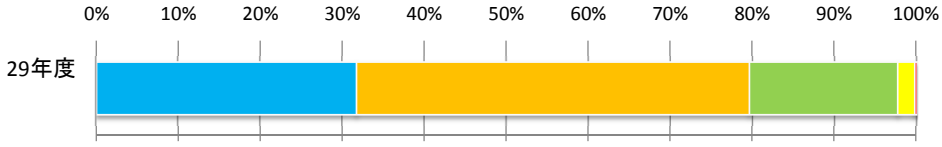
	28年度	29年度
全科目数	49科目	47科目
調査対象者数	3,387人	3,302人
総回答数（回答率）	3,126枚（92.3%）	2,717枚（82.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

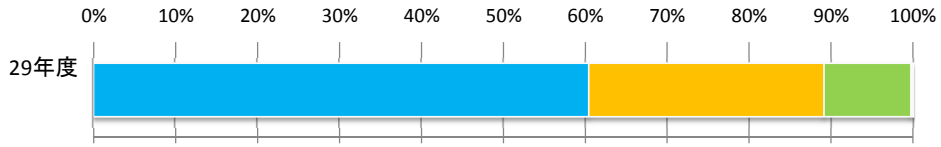
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



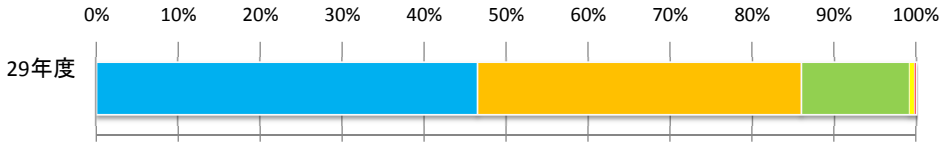
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.7	48.0	79.7	—

2. 積極的に出席したと思うか。



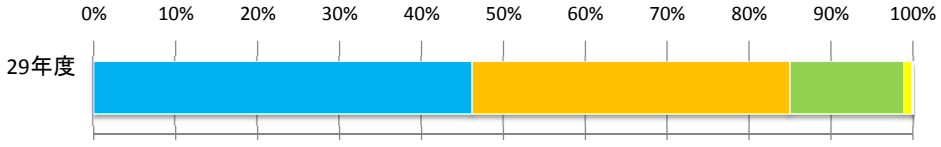
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.4	28.7	89.1	—

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.5	39.5	86.0	—

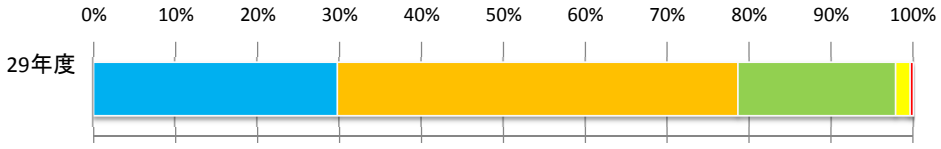
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.2	38.7	84.9	—

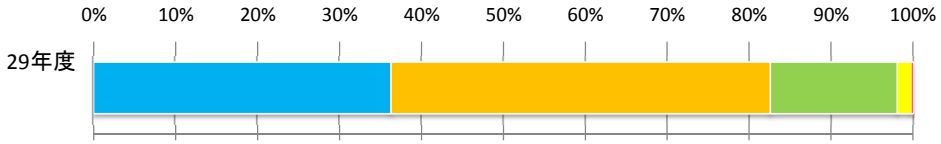
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



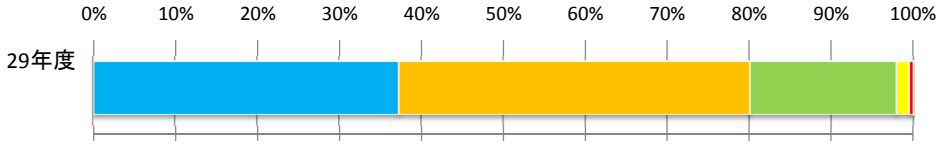
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.7	48.9	78.6	—

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



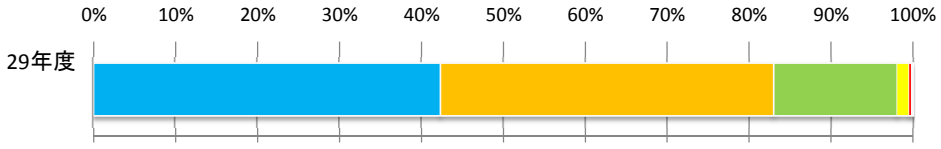
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.3	46.2	82.5	—

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



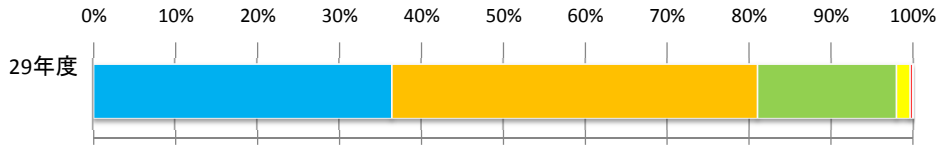
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.2	42.8	80.0	—

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.3	40.7	83.0	—

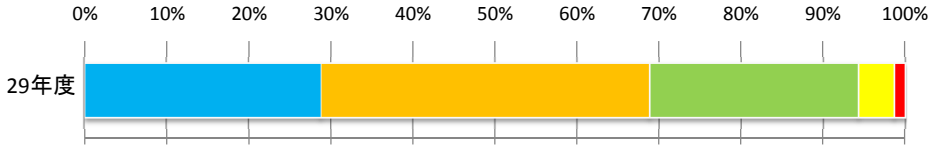
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.4	44.6	81.0	—

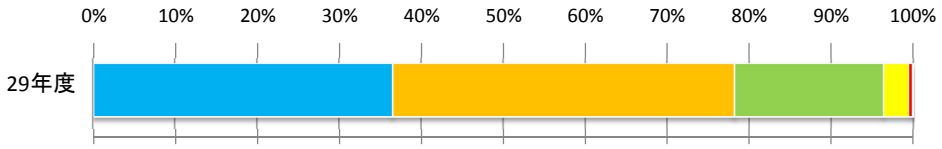
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



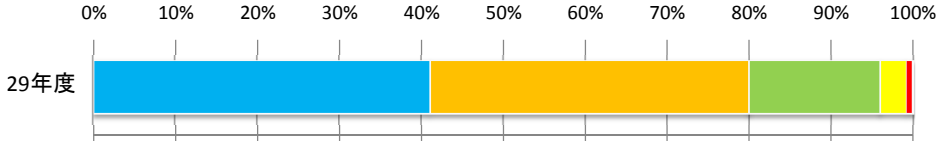
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
28.8	40.0	68.8	—

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



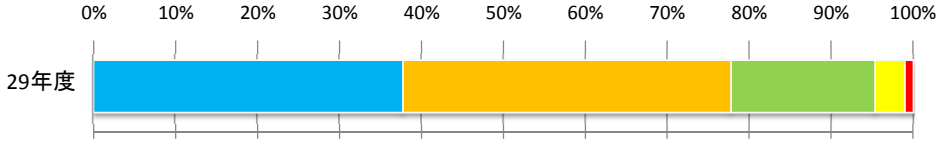
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.5	41.7	78.2	—

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



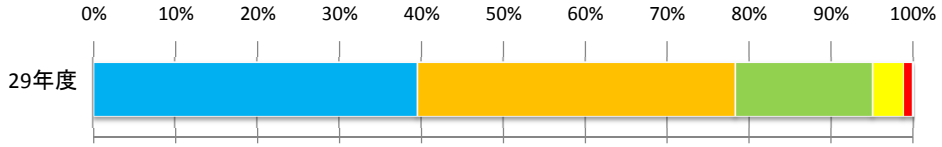
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	38.9	79.9	—

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



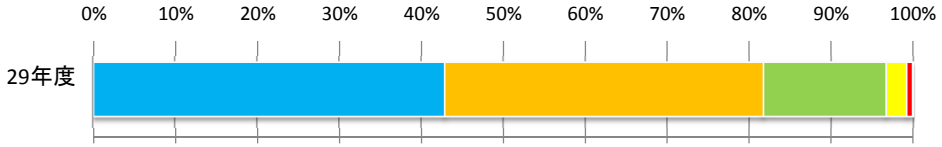
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.7	40.0	77.7	—

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



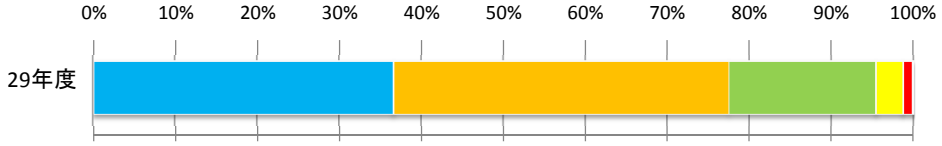
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.5	38.8	78.3	—

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



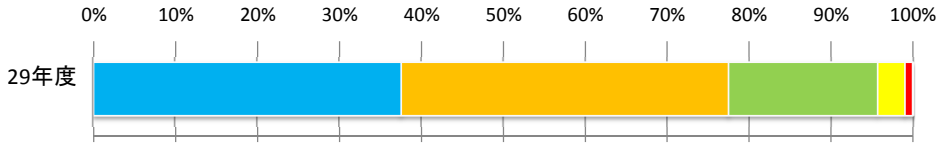
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.8	38.9	81.7	—

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.6	40.9	77.5	—

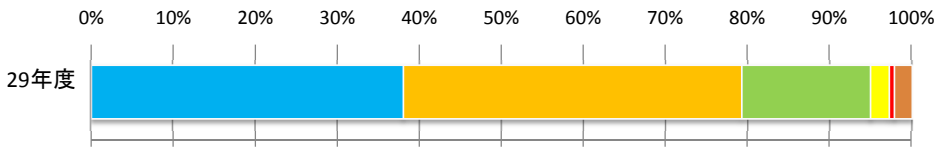
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.5	39.9	77.4	—

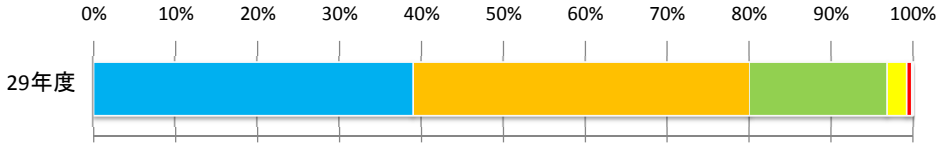
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	41.1	79.2	—

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	41.0	80.0	—

◆ Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 111】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅱ 【2年次後期】	3	実際の患者にケアを実施できてよかった。
	小児看護学実習 【3年次後期･4年次前期】	1	その回の内容以外の基本的な事柄も質問し、自分の学び直さなくてはいけないところなどに気づかせてくれたことが本当に良かったです。改善できたらほめてもらうのも勉強意欲がとても上がりました。
医療栄養学科	食品加工学実習 【3年次前期】	9	日々何気なく口にしている食品ができるメカニズムをくわしく知る事ができ、学びが深まりました。また、このように印象的に残る授業だったため、過去問で関連分野がでてくると思い出しやすくなると思いました。 とても楽しく実習ができ食品加工についての理解ができました。 普段、家で作らないものを作ることができて、貴重な経験ができて良かったです。また、これらは、家でもカンタンに作ることを知ることができて良かった。
	調理学実習Ⅰ 【1年次前期】	16	料理の作り方だけでなく、何でこうするか、何に良いかなども学ぶことができてよかったです。 今まで家で料理する機会が少なかったので、基本的な知識が学べてよかったです。理論も一緒に学べてすごくためになりました。 調理の技術だけじゃなくて、なぜその調理方法なのかということまでも学べた。
	応用栄養学実習Ⅱ 【3年次前期】	12	普段利用することのないとろみ材などを実際に利用して料理でき、それを食べることができて、新しい発見とか学びがあって良かったです。 様々な献立の知識が身についた。ライフステージ別、集団給食向けの食事など、色々と学べた。 応用栄養学実習Ⅰでは行えなかったことが今回の実習で出来たので良かった。
	栄養教育論実習Ⅱ 【3年次後期】	22	栄養教育を目的とした教室を行う上で、患者に求められていること、栄養相談でのポイントを知り広い視野を持つことが大切だと分かった。 実際に考えて自分たちでプレゼンしたりして勉強する意欲や知識がより深まった。 模擬患者さんに実際に栄養指導が出来たので、今後栄養指導をする上での注意点などを学ぶことができた。
医療情報学科	病院実習 【3年次通年】	2	自分で2週間のインターンは応募しづらいので、大学から行くことができて良かったと思った。

◆ Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 112】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ 【1年次後期】	2	実習の間が空きすぎているのでもっと短くすべきだと思う。担当の教員によってレポートの書き方や評価の仕方、準備すべきことの違いが大きいと思う。
	母性・小児看護学実習 【3年次後期･4年次前期】	3	先生１人1人の言っていることが違う時があって混乱した。小児実習の手引きの記入例の説明が分かりにくい。病院実習が３日しかないのにSOAPや発達段階を漏れなく理解するのは難しい。
	老年・在宅看護学実習 【3年次後期･4年次前期】	3	在宅の手引きを参考に１日の目標を立てる時に、説明が足りず目標を立てにくく、混乱したこと。 実習先の施設の指導者さんも目標の立て方の認識があいまいになっていたので、先生が直接実習中に説明していたので、あらかじめ目標に対する理解を全体で深めておいた方が良いと思った。
医療栄養学科	食品加工学実習 【3年次前期】	5	プリントは一気に配布しないでほしい。作り方も前もって知れるともっといいなと思った。 空き時間に食品学の復習をより取り入れてほしかった。座学のときは他の教室でやってほしいです。
	栄養生理学実験 【3年次後期】	5	実験結果がよく分からなかったので、解説してほしかったです。テスト範囲が広すぎです。 先生は私たち学生の理解力がないことを指摘されましたが、もっとかみくだいた解説をしてほしかったです。
	栄養教育論実習Ⅱ 【3年次前期】	5	配布プリントが欲しい。もっと自習の時間が欲しい。先生の言い方をもっと工夫してほしい。 持ち帰りの課題が多く、時間配分に無理が多いと感じた。
	臨床栄養学実習Ⅰ 【3年次前期】	29	メモをする必要がある内容が多いが、書き写す時間が不十分であった。スライドとして配布するなどをして、書く作業を減らし、授業を聞きやすい状態であったほうが良かった。 実習の内容が多いのに進むスピードがはやい。スライドが早くてついていけない。
医療情報学科			コメントなし

平成 29 年度 東が丘・立川看護学部の授業評価結果に対する考察

副学長　学部長　山西　文子
副学長　　草間　朋子

○ 臨床看護学コース、災害看護学コースともに、第 107 回看護師国家試験の合格率 100%（全国の平均合格率 91.0%）を達成することができたことは、授業評価の結果を見るまでもなく学生にとっても、大学にとっても特筆すべき事である。災害看護学コースは初めて経験する国家試験であった。両コース合わせて 200 人近い学生を一人の不合格者も出すことなく全員合格できるようにすることは、かなり難しいことであると言われている。本学部は、今後も、この状況を堅持できるように、学生共々取り組んでいく。

○ 授業評価の対象になった科目数は 211 科目で、授業評価に参加した学生数延べ 20,005 人である。授業評価への回答率は 85.9%で、昨年（94.0%）に比べて低下しているが、授業評価に対する学生の関心・意識が高ことを示している。今後、回答率を維持・増加させていくためには授業評価の結果が、教育環境の改善等に向けて反映されていることを学生に対して可視化していくことが必要である。

○ 自己の授業態度（準備、出席、意欲）については、83.7%の学生が肯定的な回答（「そう思う」(44.6%)、及び「ややそう思う」(39.1%)）をしており、学生の学習へのさらに積極的な取り組み態度に期待していきたい。一方、授業評価とは別に本学部で実施している「学生生活実態調査」の結果では、大学側が実習室の解放、参考図書の整備等の教育環境の充実を積極的に進めているにも関わらず、1 日当たりの自主学習（シラバス上に明示されている事前学習・事後学習も含む）の時間が、全国の文系・理系を合わせた大学調査の結果と比べても短いことが残念である。専門職をめざす学生にとって自主学習が必要であることを学生自身がしっかり認識するように促していく必要があると考えている。

また、専門基礎分野の授業を担当いただいている非常勤講師の先生から学生の授業態度（私語が多いこと、授業中にスマホを使用している学生がいること、居眠りをしている学生が多いこと等）についてのクレームが届いており、改善に向けて取り組む必要がある。授業評価の結果でも、学習しやすい静かな環境が保たれているかの質問に対して、肯定的な評価をした割合が79.7%であったこともこのことを示唆していると思われる。

○ 授業内容については、81.4%の学生が肯定的な回答をしている。しかし、十分に授業内容を理解している(「そう思う」に回答)学生が 33%に過ぎない結果を踏まえ、教員は、学生の理解度の個別性への対応について積極的な方策を検討していく必要がある。

○ 教員の教え方・姿勢については、79%の学生が肯定的な回答をしている。
学生のニーズ、個別性に配慮しながら、短期間毎の学習の到達目標を設定し経時的なアセスメントを通して学生の理解度を向上させていただきたいと思います。

○ 「講義・演習」に比べて、参加型の授業である「実習・実験」に対する授業評価結果が高いことは当然予測されることではあるが、本学部が平成 26 年度から全実習施設を対象に実施している「実習施設説明会」や「実習連携会議」(臨床看護学コースは東京医療センターとの間で平成 24 年度から、災害看護学コースは災害医療センター、村山医療センター及び立川共済病院との平成 30 年度から実施）は、実習施設からも高い評価をいただいている。
実習施設と大学とのより具体的な連携・協働活動を通して、大学の教育方針と実習の重要性をご理解いただき、実習指導者のみなさまから効果的なご協力が得られていることに対して感謝している。

○ 平成 29 年 10 月に文科省から公表された「看護学モデル・コア・カリキュラム」の中で、看護学に関する学士課程の教育における実習の重要性が改めて強調されている。本学部は、1 年次に 2 回(6 月に 1 週間、2 月に 2 週間)の基礎看護学領域の実習を配置し、入学後の早い時期から「看護学」「看護」に対する学生の目的意識、意欲を高め、看護学を学ぶことへのモチベーションを高めることとしている。1～4 年次のすべての学年に「実習」を配置している。実習に対して肯定的な意見が多いこと等からも、本学部のカリキュラム・ポリシーが授業評価の結果にも反映されているものと確信している。

○ 災害看護学コースでは、学士課程教育では全国的にも例をみない「災害看護学実習」(1 単位）を取り入れ、全国から注目され関連学会の教育講演等で発表の機会をいただいている（なお、臨床看護学コースと 4 年間の実習時間数を同じようにするために、臨床看護学コースの「統合実習」は 3 単位として、災害看護学コースの「統合実習」は指定規則通りの 2 単位としている)。

○ 10 名前後の学生により 1 つのグループを構成し、臨床看護学コースは 8 領域、災害看護学コース 7 領域の研究室に分かれて所属し 3 年次後半（学生の希望を尊重して所属領域の研究室を決定）から 4 年次の 11 月の卒論発表会までの約 10 か月間かけて取り組む卒業研究（災害看護学コースは平成 29 年度が初めての卒業研究）では、統合領域の科目としての成果を創出することができるばかりではなく、卒業後も学生と大学との連携の場としても活用されている。卒業研究の成果は、関連する学会等で発表されるために、この準備のために卒業後も継続した指導が行われている。災害看護学コースの卒業研究の一つが、在学中に、日本集団災害医学学会で口頭発表を行い、「最優秀学生賞」に選定されたことは特筆に値する。

○ 授業評価の結果は、授業を提供する教員達にとっては、概ね満足のいくものと受け止めている。授業評価に対する教員側の更なる満足度をさらに高めていくために授業評価で挙げられた意見等を真摯に受け止め、改善すべきところは改善し、本学部が教育目標に揚げている「tomorrow's Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めていきたい。

○ 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されている。学習環境の整備にはさらに尽力いただくよう大学経営側に働きかけていく所存である。
なお、災害看護学コースは、2020 年に全学年が立川キャンパスに移動することが予想されているので、その機会に立川キャンパス、国立病院機構キャンパスの第 2 別館の教育環境の整備・充実に向けて大学側に働きかけて行く必要がある。

○ 看護学を学ぶ学生にとっては、必須科目（本学部の卒業要件 129 単位中、必須科目が 124 単位）が多く、学年毎に割り当てた必須科目を段階的に履修していかなければ進級できない履修規程を定めている。学生支援を強化し、学生の伸び悩み状況等に早期に対応し、留年、休学、退学のリスクを抑制する努力をしていきたい。一方、学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、自らの健康管理を徹底し、4 年間を心身ともに健康な状態で無事過ごすことができるよう自覚することを強く期待している。

以上

平成29年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○全科目数　211科目　○調査対象者数　20,005人（延人数）
○総回答数　17,180枚（回答率 85.9%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。	35.9	43.9	18.4	1.4	0.3	0.1	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	55.9	32.0	11.3	0.6	0.1	0.1	100
3(3) 授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。	42.0	41.3	15.1	1.2	0.3	0.1	100
計	44.6	39.1	14.9	1.1	0.2	0.1	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	33.0	46.7	17.2	2.4	0.6	0.1	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	38.4	44.2	14.8	1.9	0.6	0.1	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	39.0	41.9	16.1	2.2	0.6	0.2	100
7(7) この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	41.4	40.7	15.0	1.8	0.7	0.4	100
計	38.0	43.4	15.7	2.1	0.6	0.2	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で、役に立ったと思うか。	31.4	39.2	24.4	3.4	1.4	0.2	100
9(9) 学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	38.1	41.6	16.7	2.6	0.8	0.2	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	42.0	38.2	14.7	2.4	1.0	1.7	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるよう配慮したと思うか。	39.6	39.0	17.5	2.7	0.9	0.3	100
13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	41.5	40.1	15.1	2.3	0.8	0.2	100
14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	44.4	38.8	14.3	1.6	0.6	0.3	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。	39.6	39.3	17.0	2.6	1.1	0.4	100
計	39.5	39.5	17.1	2.5	0.9	0.5	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	40.1	39.4	14.3	2.1	0.9	3.2	100
全質問項目の平均	40.2	40.4	16.1	2.1	0.7	0.5	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

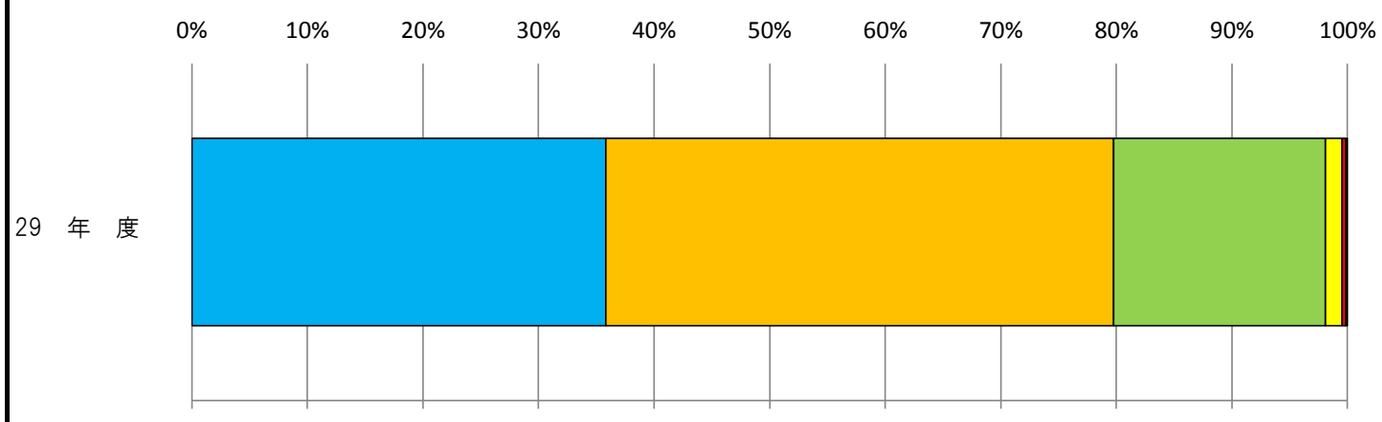
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	103科目	119科目	157 科目	190科目	211科目
調査対象者数	10,115人	12,915人	14,772人	18,836人	20,005人
総回答数（回答率）	9,195枚（90.9%）	12,360枚（95.7%）	14,383枚（97%）	17,709枚（94.0%）	17,180枚（85.9%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　あまりそう 思わない　そう 思わない　無回答

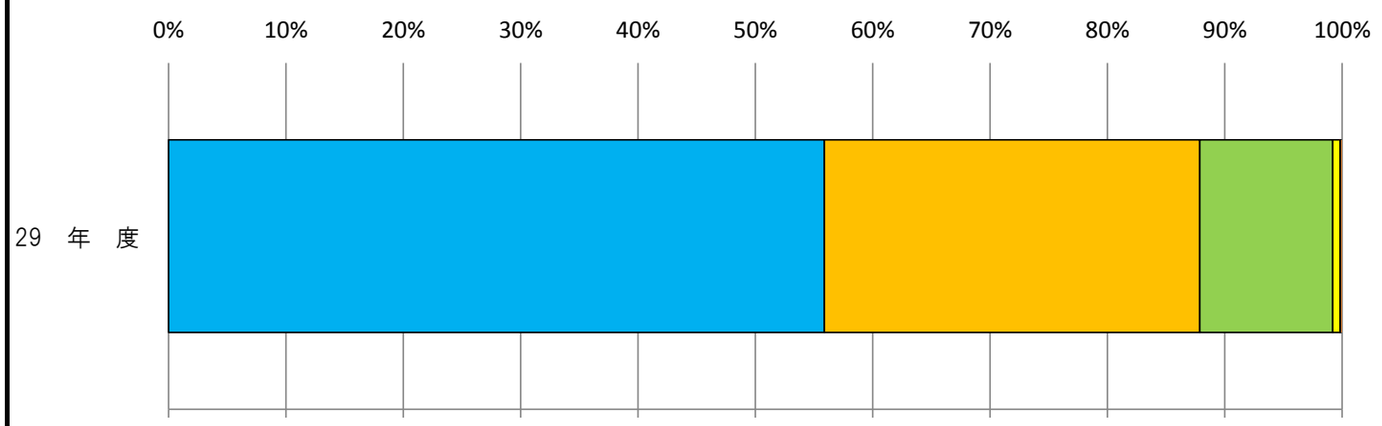
Ⅰ　あなた自身について

1(1)　授業(実習･実験)に対して十分な準備ができていたか。



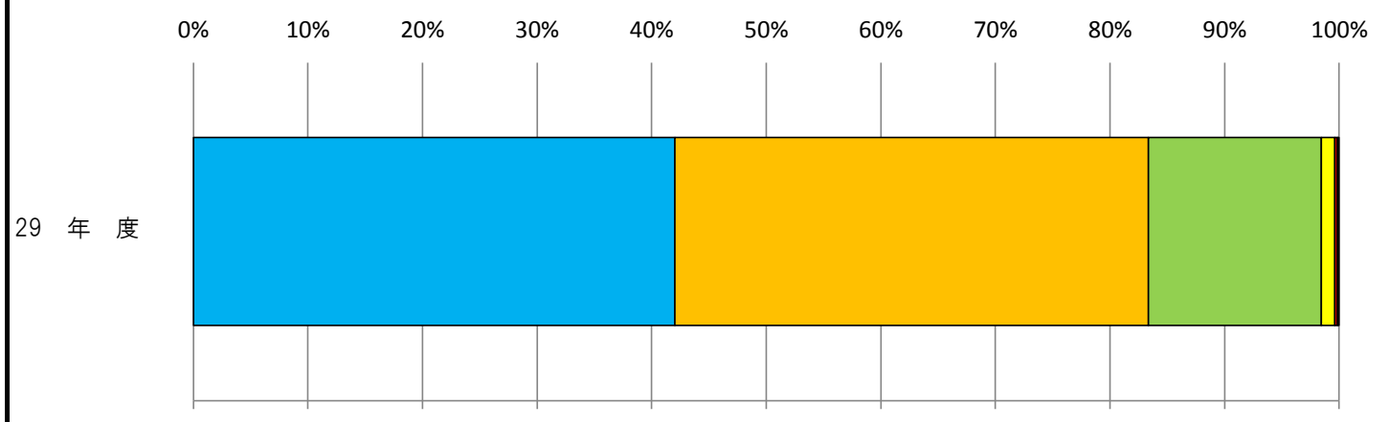
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.9	43.9	79.8	－

2(2)　積極的に出席したと思うか。



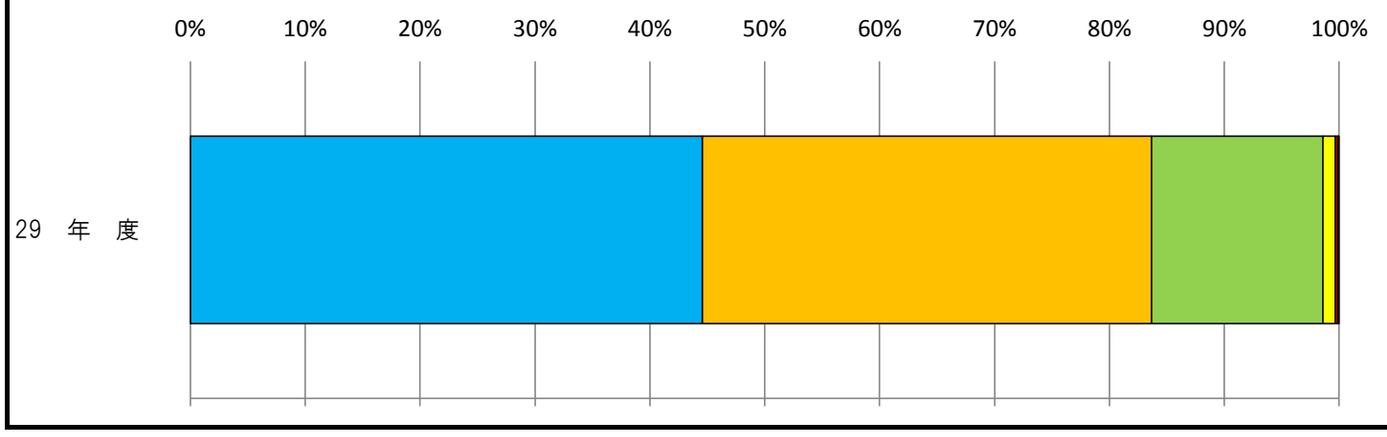
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.9	32.0	87.9	－

3(3)　授業(実習･実験)に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.0	41.3	83.3	－

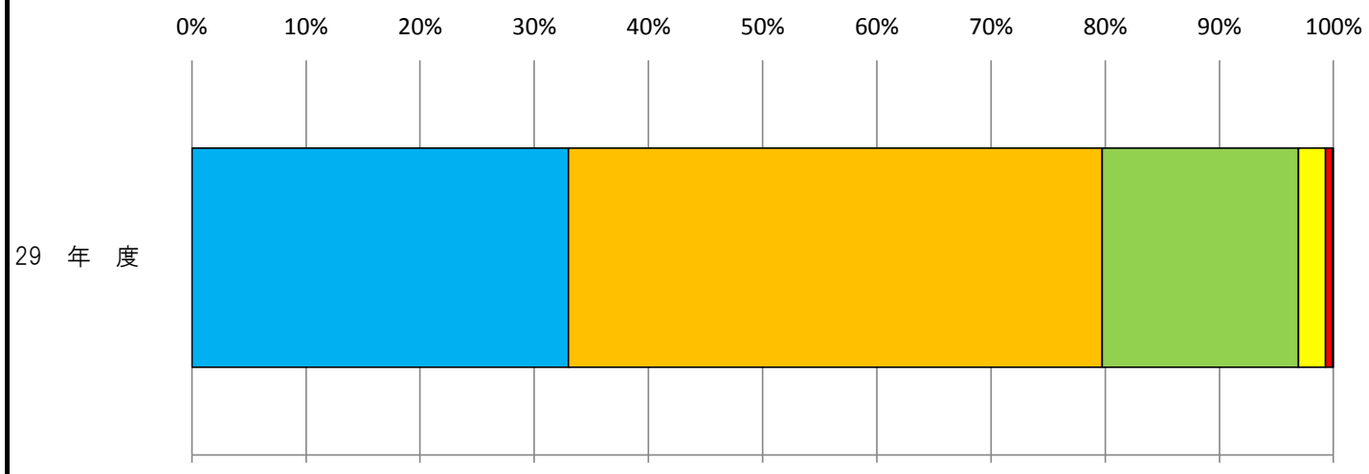
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3) ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.6	39.1	83.7	－

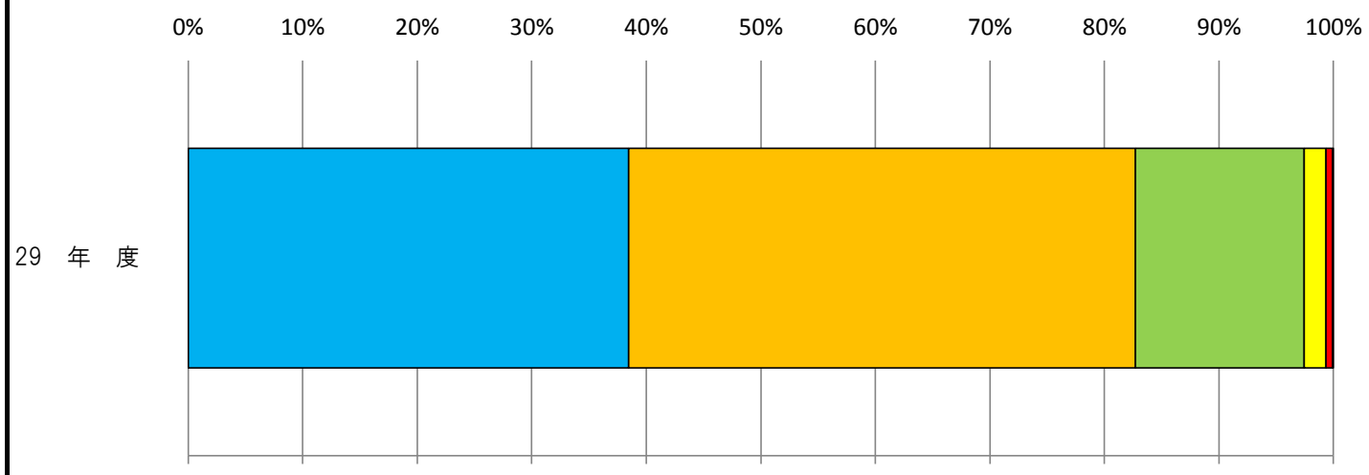
Ⅱ　授業内容について

4(4)　授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



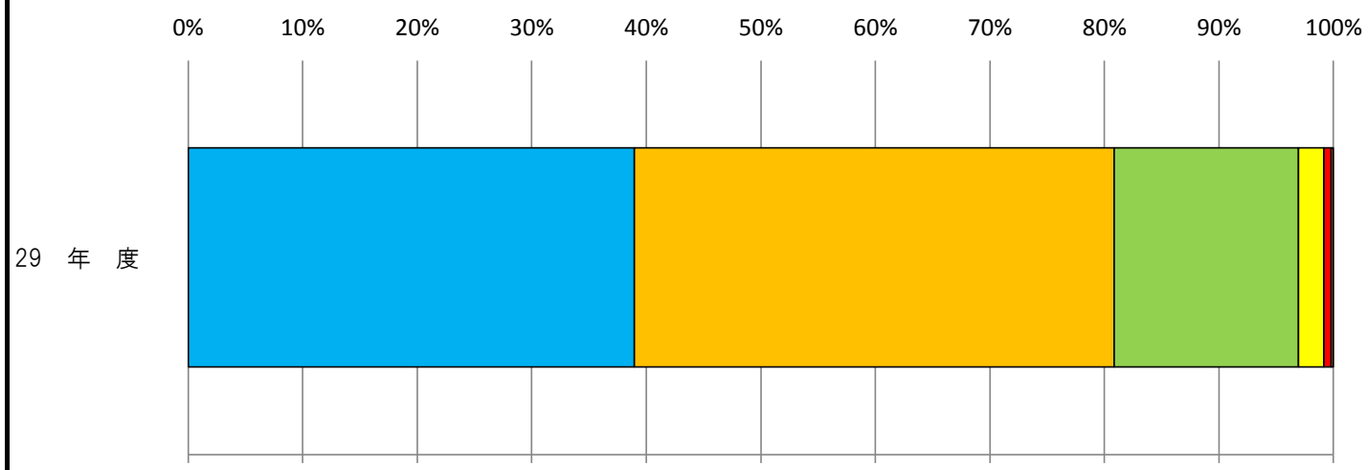
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.0	46.7	79.7	－

5(5)　基本的な専門知識が得られたと思うか。



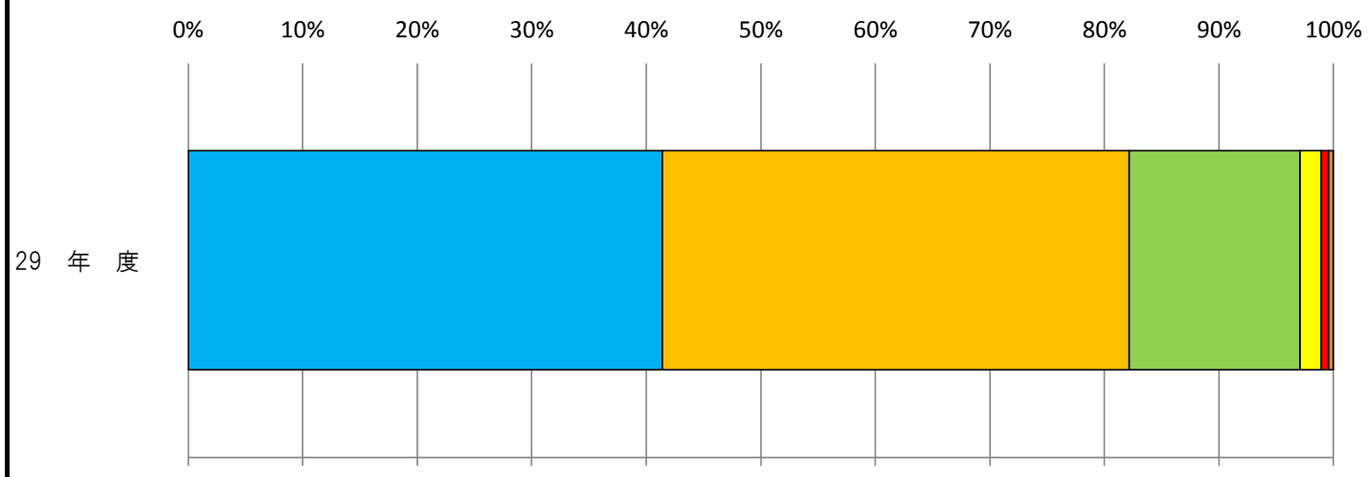
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.4	44.2	82.6	－

6(6)　自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



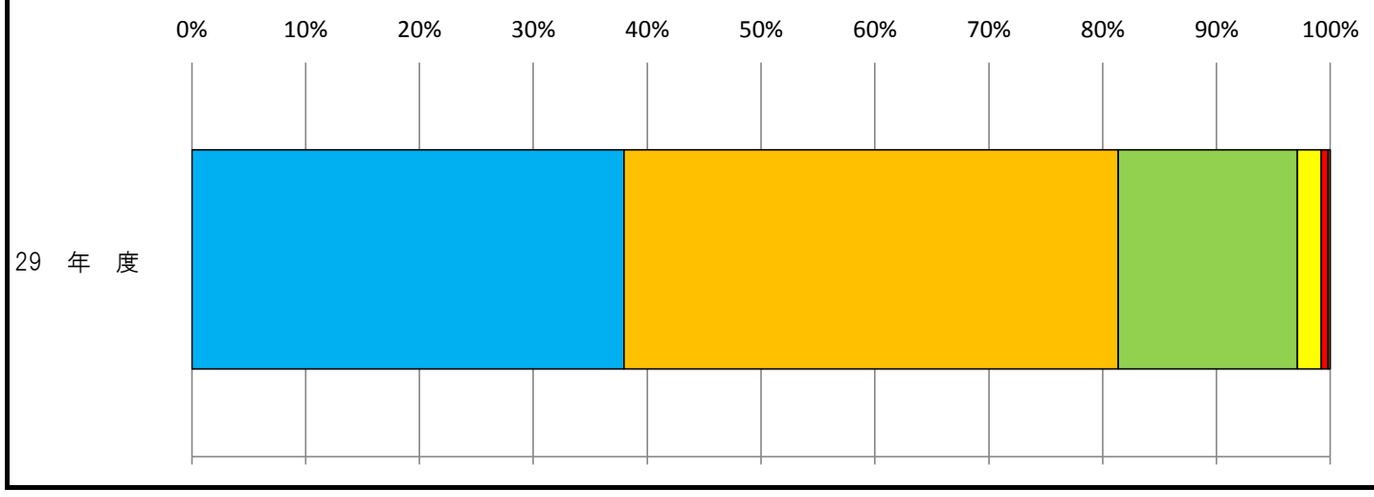
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	41.9	80.9	－

7(7)　この授業(実習･実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.4	40.7	82.1	－

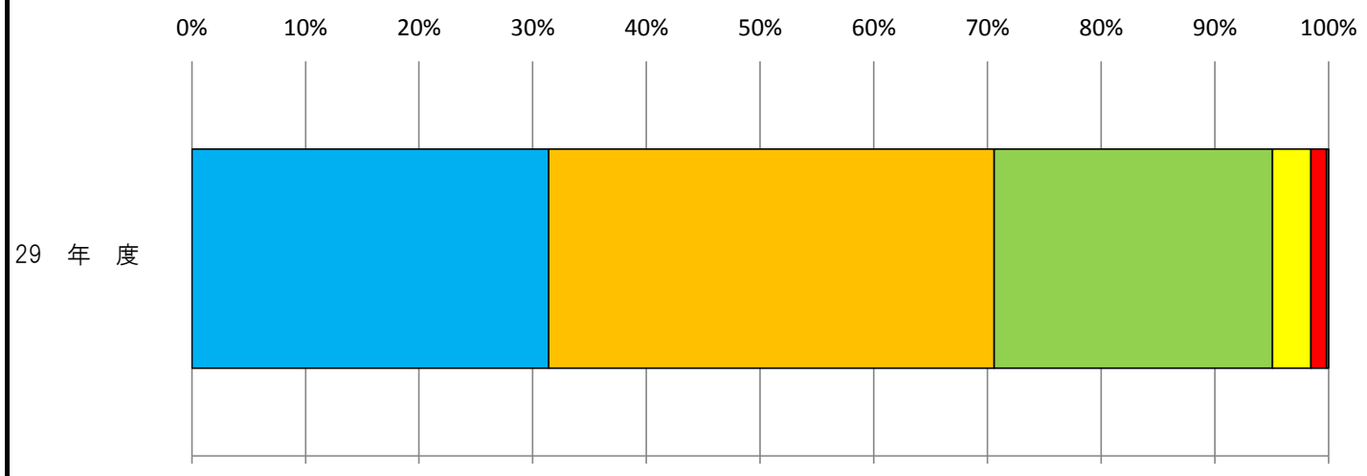
「計」(質問項目 4(4) ～ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.0	43.4	81.4	－

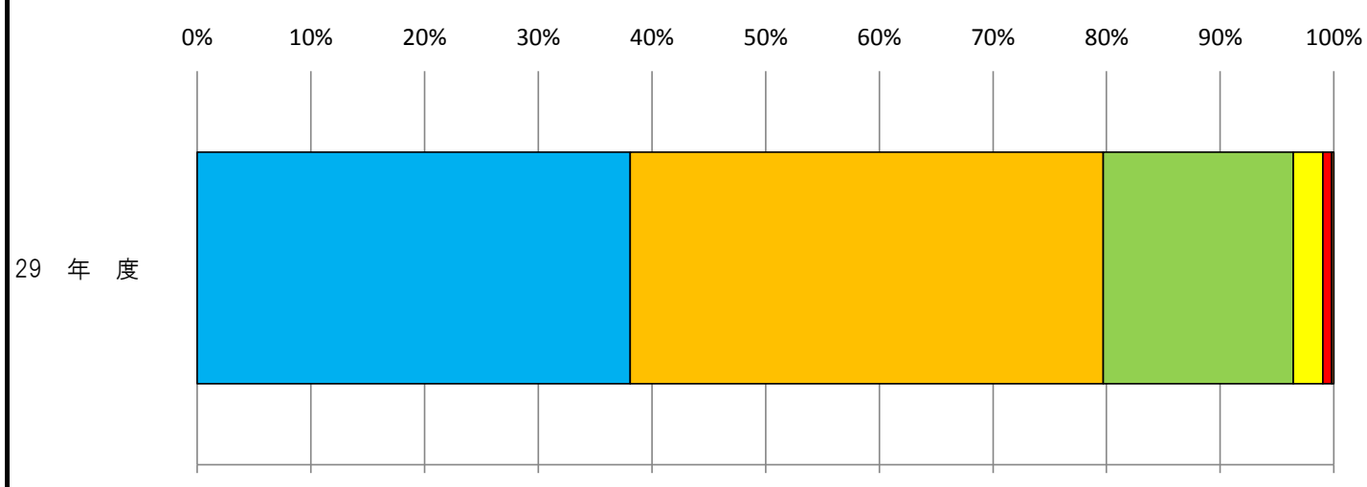
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で、役に立ったと思うか。



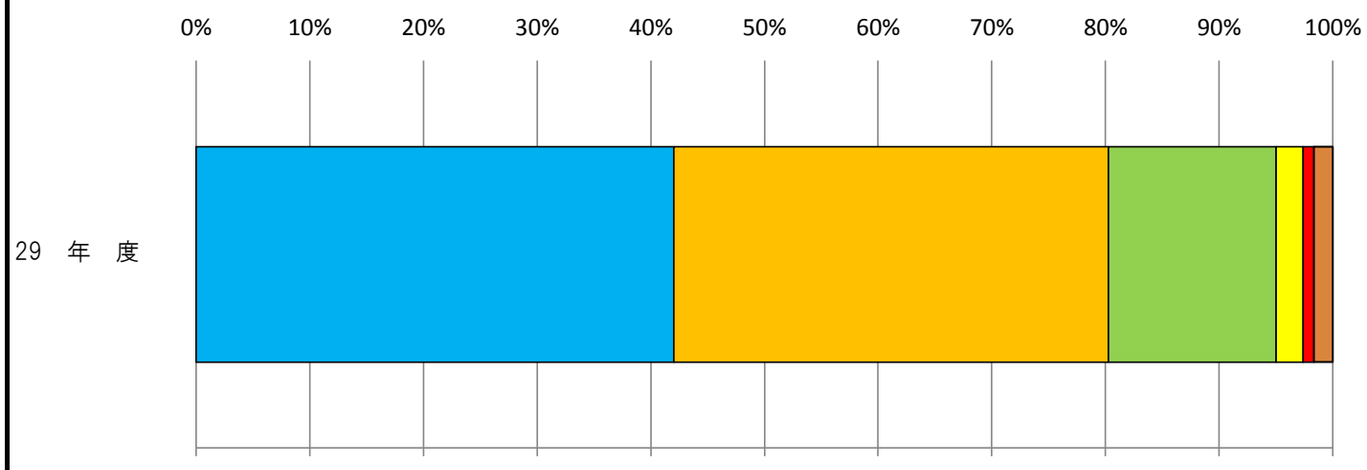
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.4	39.2	70.6	－

9(9)　学習しやすい授業(実習･実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



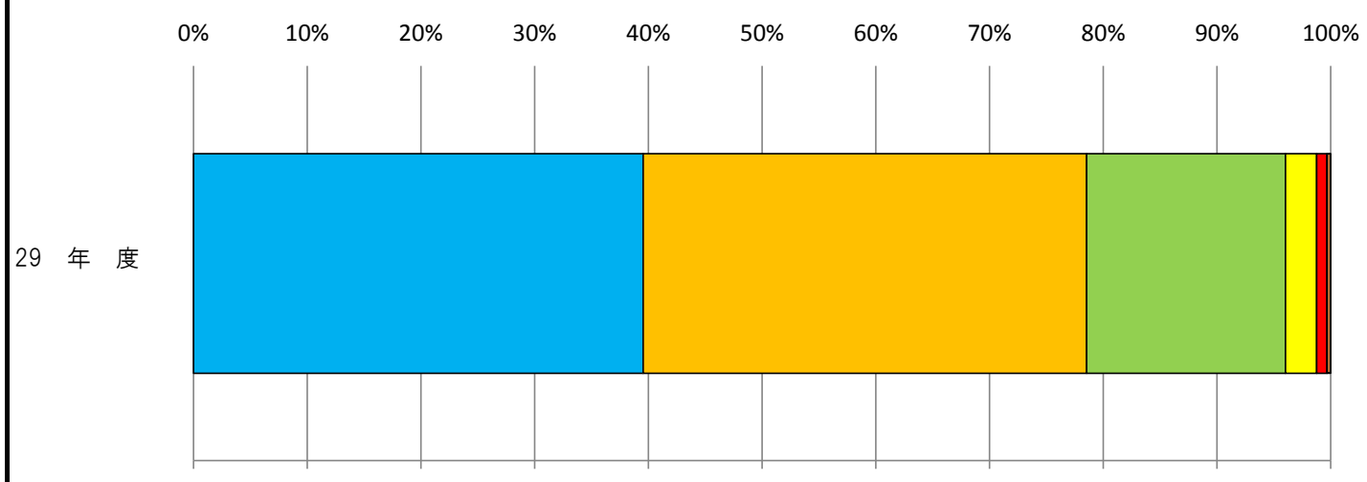
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	41.6	79.7	－

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



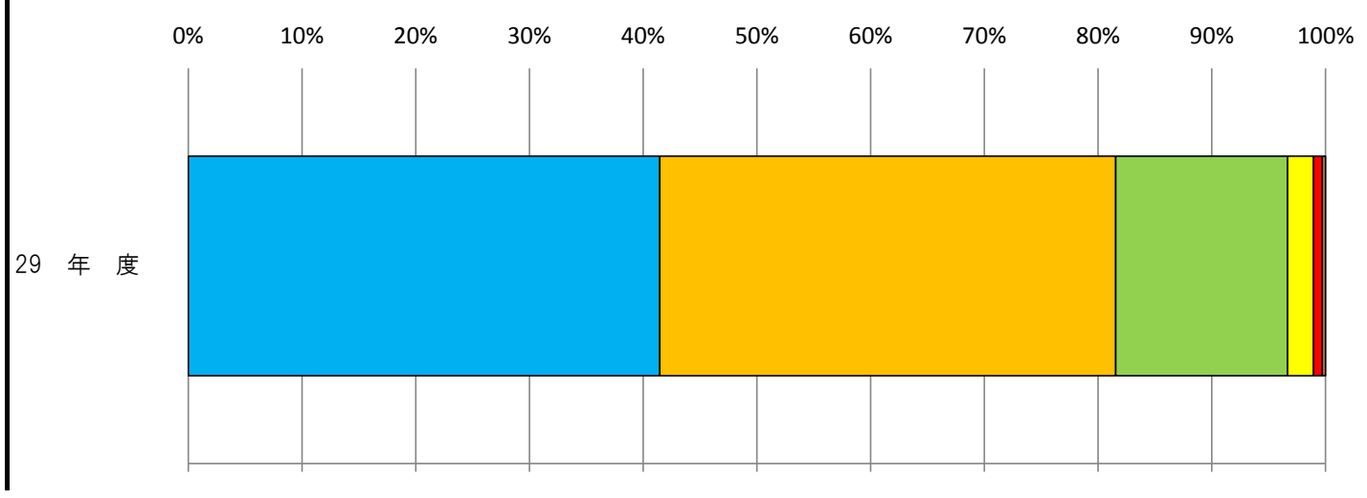
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.0	38.2	80.2	－

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるよう配慮したと思うか。



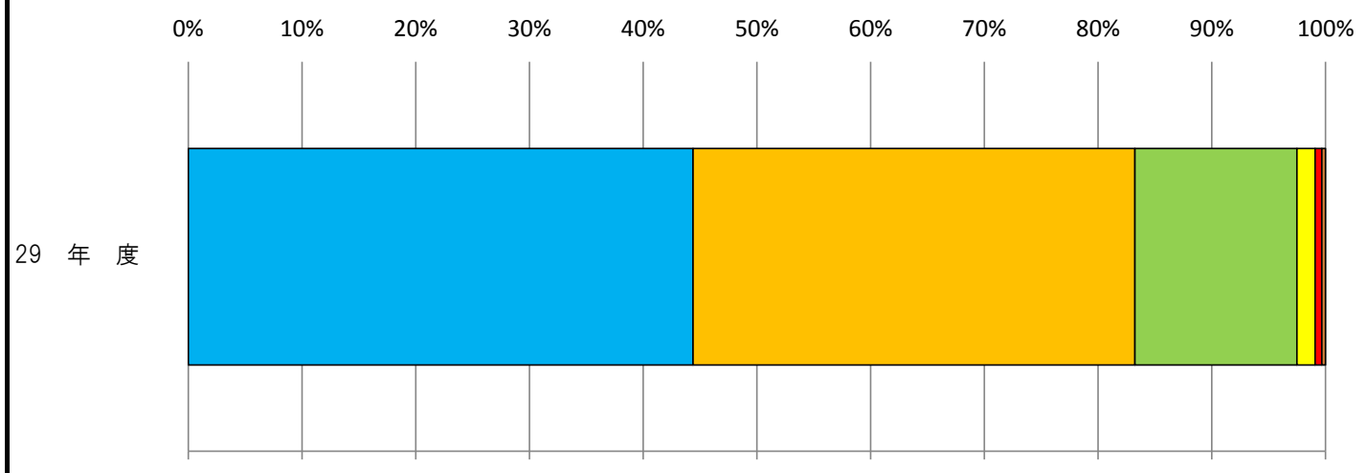
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.6	39.0	78.6	－

13(12) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



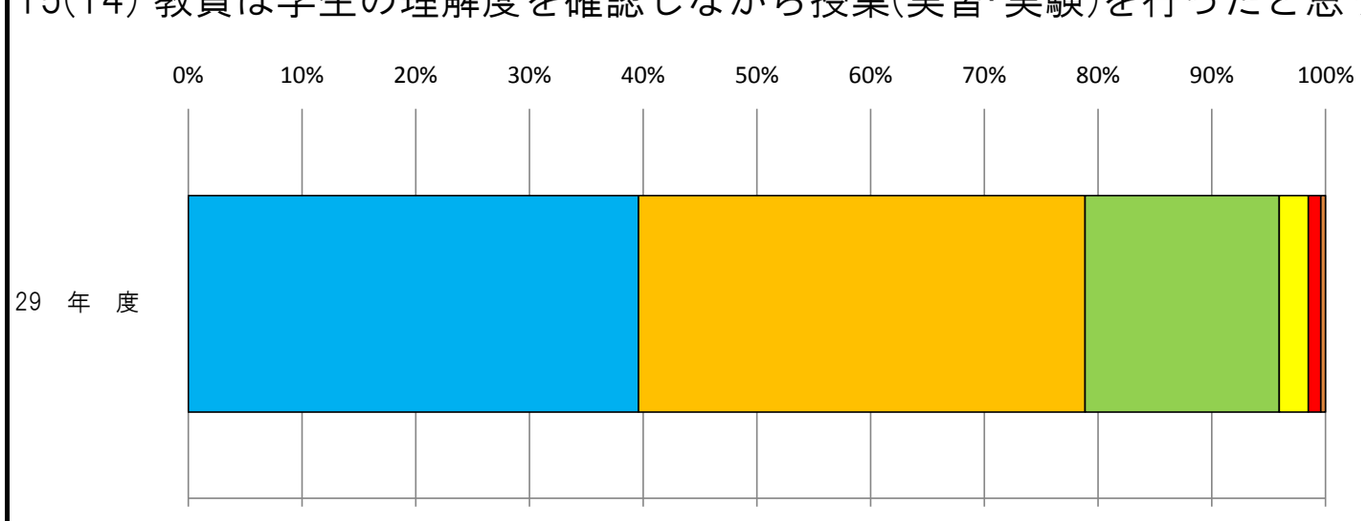
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.5	40.1	81.6	－

14(13) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



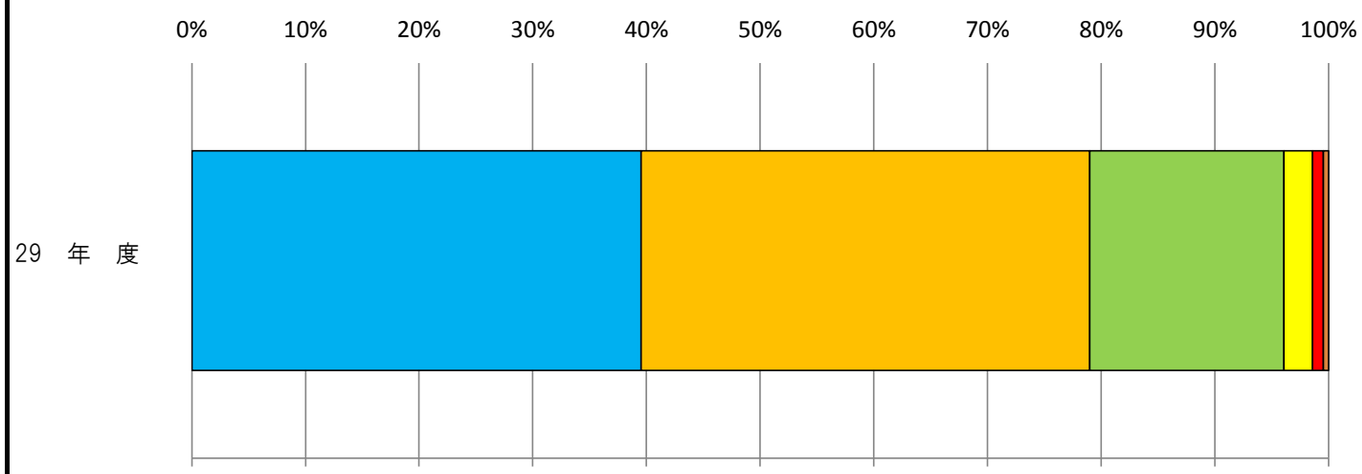
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.4	38.8	83.2	－

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.6	39.3	78.9	－

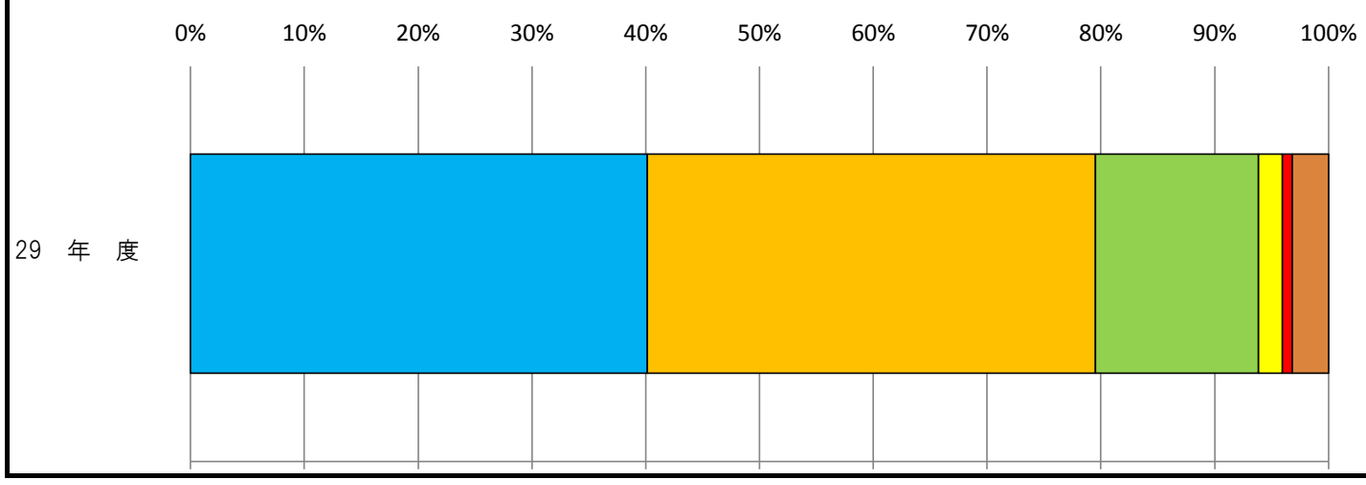
「計」(質問項目 8(8) ～ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.5	39.5	79.0	－

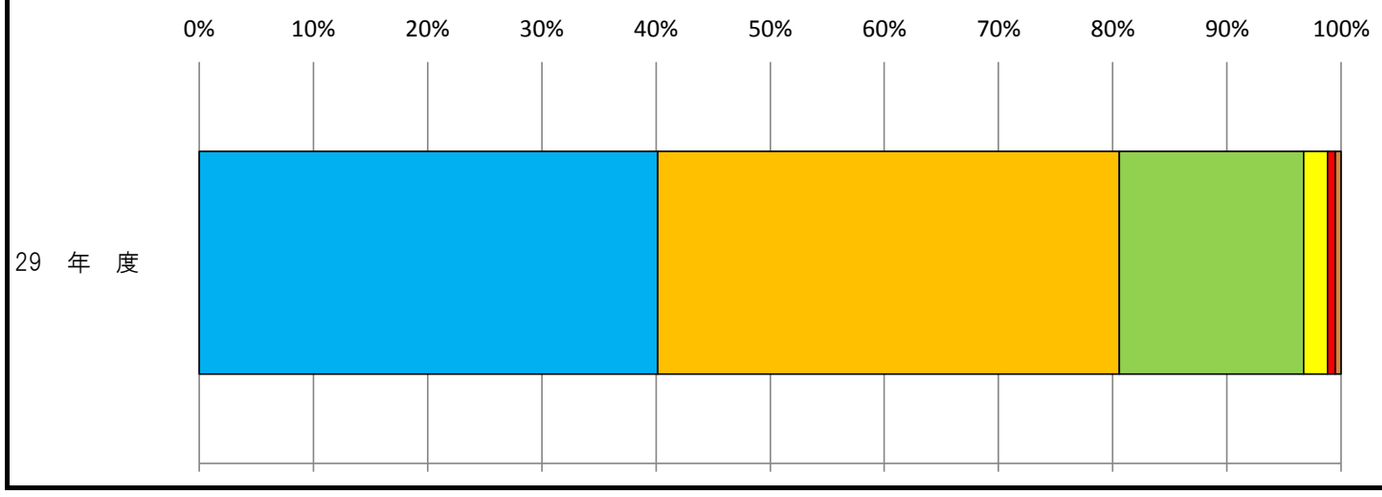
Ⅳ 総合評価

16(15) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.1	39.4	79.5	－

全質問項目の平均

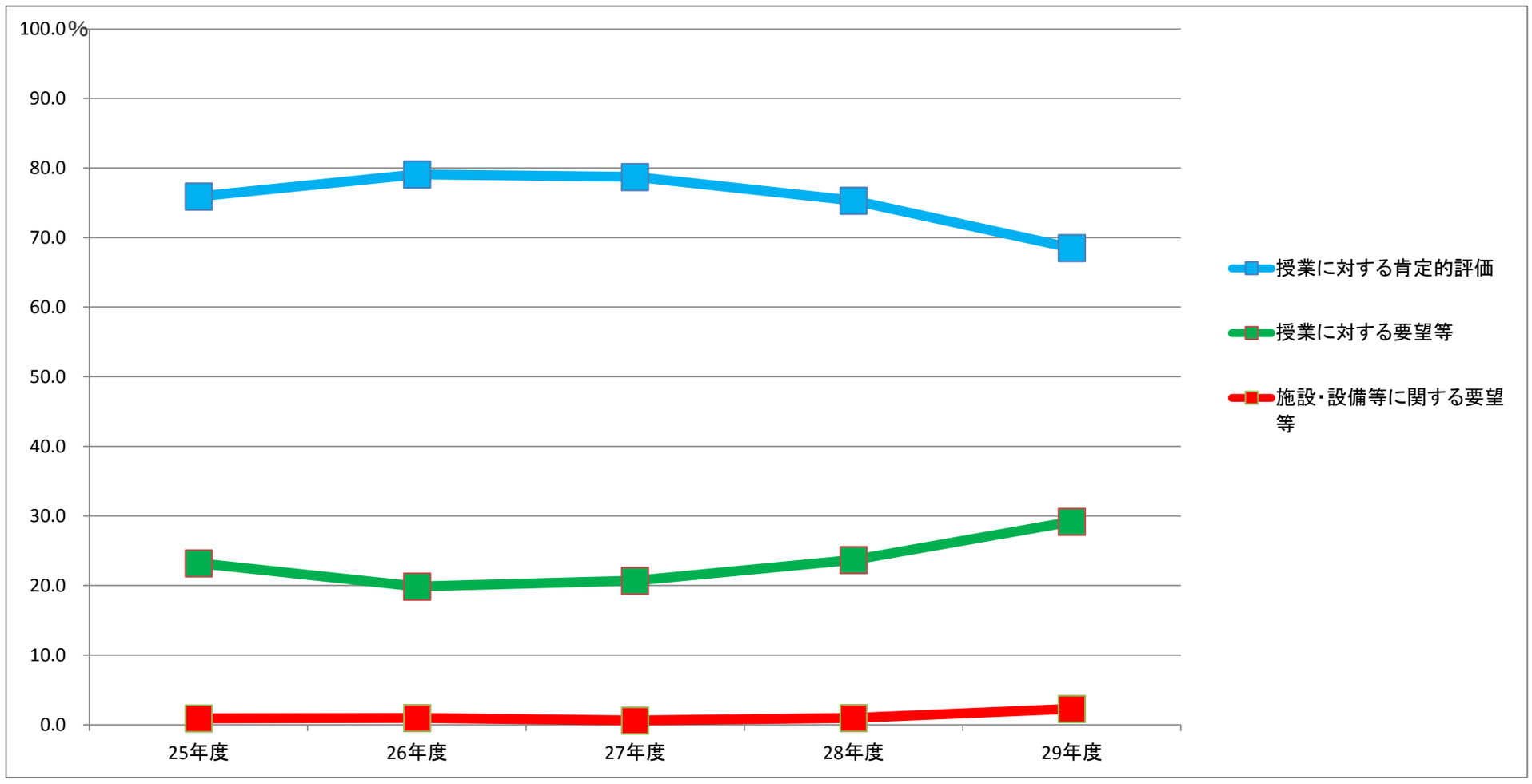


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.2	40.4	80.6	－

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(75.9%)	245	(79.1%)	743	(78.7%)	373	(75.3%)	492	(68.5%)	268
授業に対する要望等	(23.2%)	75	(19.9%)	187	(20.7%)	98	(23.7%)	155	(29.2%)	114
施設・設備等に関する要望等	(0.9%)	3	(1.0%)	9	(0.6%)	3	(1.0%)	6	(2.3%)	9
総件数	(100.0%)	323	(100.0%)	939	(100.0%)	474	(100.0%)	653	(100.0%)	391

※ （ ）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	268	・資料を沢山使い、説明してくださったのでわかりやすかったです。 ・とてもおもしろかった。将来的にも役立つことが多かった。 ・自分がなりたいというよりは、NPを知ってみたいという思いから受けてよかったです。 ・リアクションペーパーへのアンサーを出してくれて理解が深まった。 ・身近なことを関連づけてくれた講義でとても興味深く聞くことができました。
授業に対する要望等	114	・挙手制ではなく、当ててくれたほうが気が楽です。 ・テストについて対策をして欲しい。 ・進度が早すぎたので、もっとゆっくり進めてほしかった。 ・レジュメを配布して欲しいです。
施設・設備等に関する要望等	9	・マイクが不安定で聞きずらい ・図書館でのふたつき飲料水を許可していただきたい
計	391	

平成29年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○講義・演習科目数　184科目　　○調査対象者数　17,367人（延人数）
○総回答数　15,103枚（回答率 87.0%）

◆ 質問項目別集計結果　〈内容一新のため、昨年との比較無し〉

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	34.7	44.1	19.4	1.3	0.4	0.1	100
2. 積極的に出席したと思うか。	53.6	33.2	12.4	0.6	0.1	0.1	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	39.2	42.6	16.5	1.3	0.2	0.2	100
計	42.5	40.0	16.1	1.1	0.2	0.1	100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	30.7	47.1	18.9	2.6	0.6	0.1	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	36.4	44.8	16.1	2.0	0.6	0.1	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	36.5	42.7	17.6	2.5	0.6	0.1	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	38.9	41.7	16.3	2.0	0.7	0.4	100
計	35.6	44.1	17.2	2.3	0.6	0.2	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	30.3	39.2	25.5	3.5	1.3	0.2	100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	36.3	42.1	18.0	2.7	0.7	0.2	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	40.4	38.6	15.8	2.4	0.9	1.9	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、-1　わかりやすい板書であったと思うか。	33.8	40.6	18.1	2.8	1.2	3.5	100
11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、-2　その実施内容はわかりやすかったと思うか。	39.9	39.4	16.0	2.7	0.9	1.1	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるよう配慮したと思うか。	37.6	39.5	19.0	2.8	0.8	0.3	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	39.9	40.8	16.1	2.3	0.7	0.2	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	42.9	39.5	15.1	1.6	0.6	0.3	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	37.8	39.8	18.2	2.7	1.1	0.4	100
計	37.6	40.0	18.0	2.6	0.9	0.9	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	38.1	40.0	15.5	2.1	0.9	3.4	100
全質問項目の平均	38.1	40.9	17.4	2.2	0.7	0.7	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

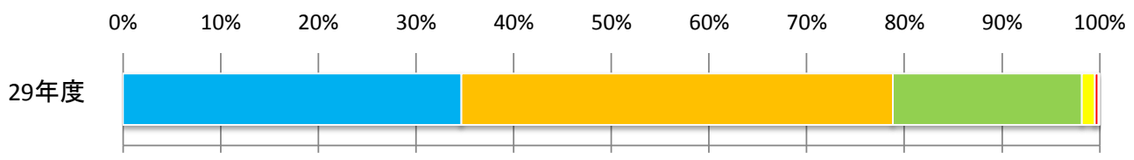
	28年度	29年度
全科目数	166科目	184科目
調査対象者数	16,308人	17,367人
総回答数（回答率）	15,569枚（95.5%）	15,103枚（87.0%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない　無回答

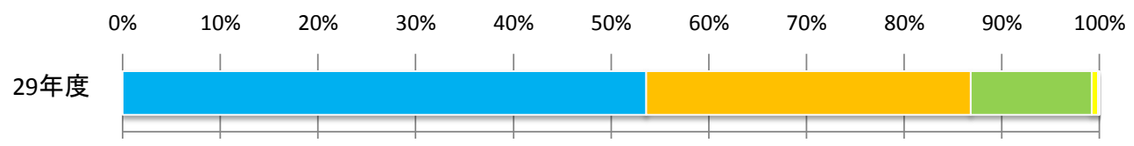
Ⅰ あなた自身について

1. 授業に対して十分な準備ができていたか。



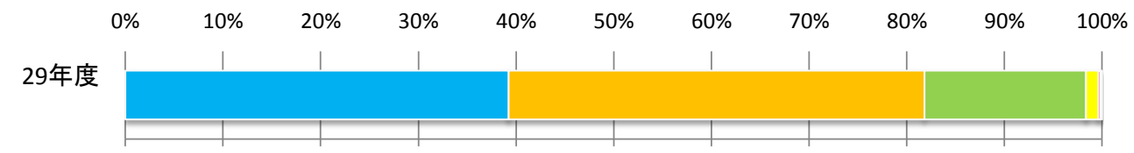
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
34.7	44.1	78.8	—

2. 積極的に出席したと思うか。



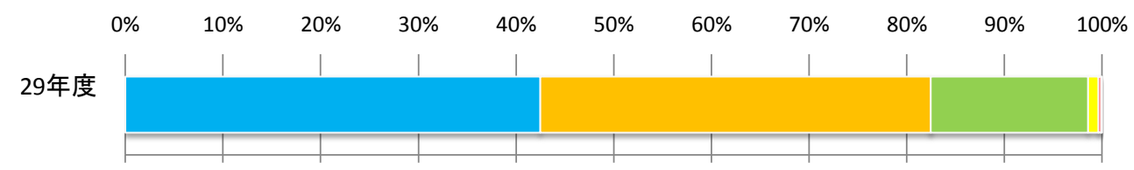
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.6	33.2	86.8	—

3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.2	42.6	81.8	—

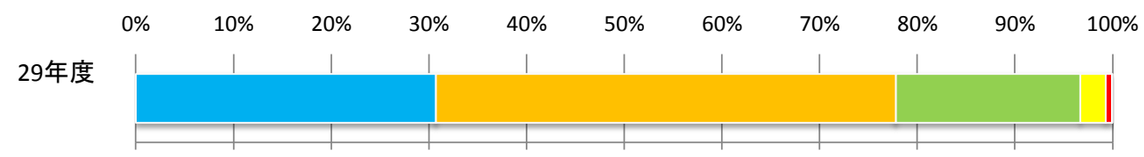
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.5	40.0	82.5	—

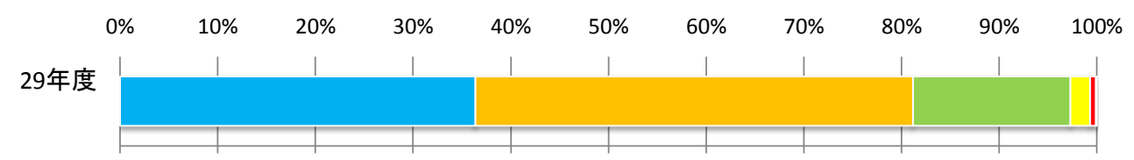
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



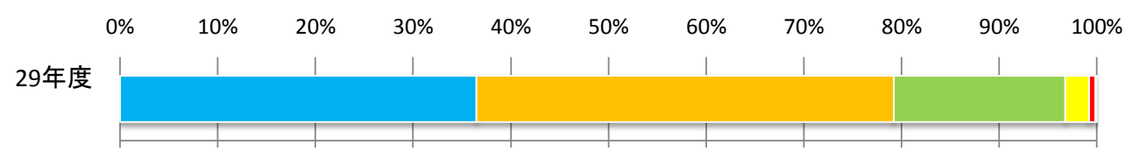
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.7	47.1	77.8	—

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



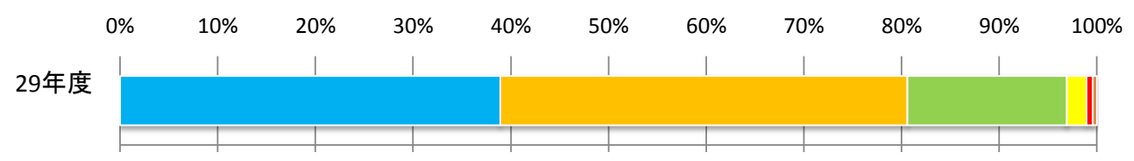
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.4	44.8	81.2	—

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



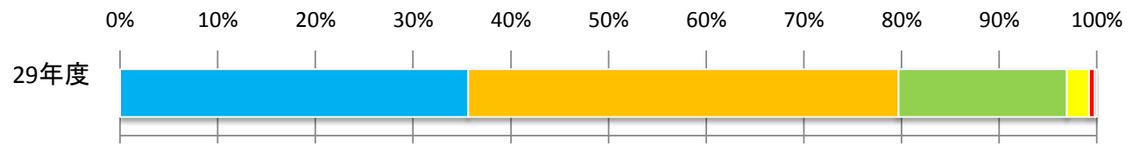
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.5	42.7	79.2	—

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.9	41.7	80.6	—

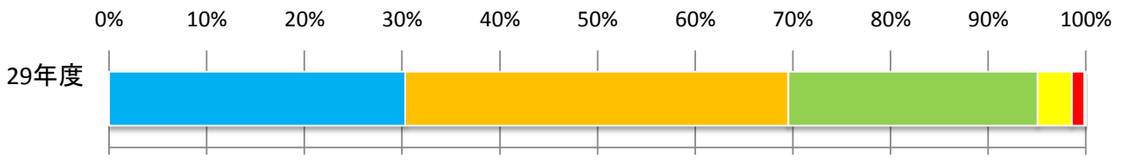
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.6	44.1	79.7	—

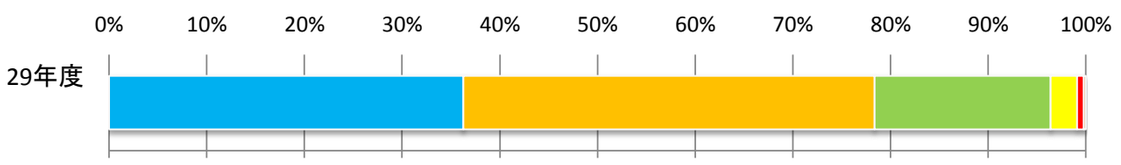
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で、役に立ったと思うか。



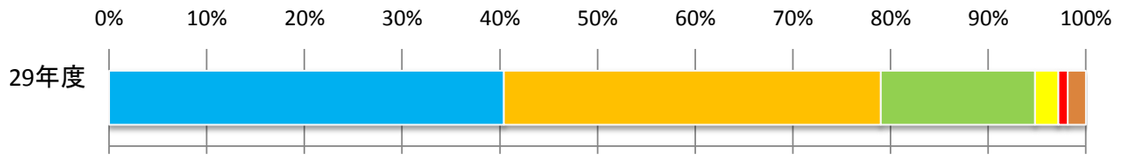
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.3	39.2	69.5	—

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



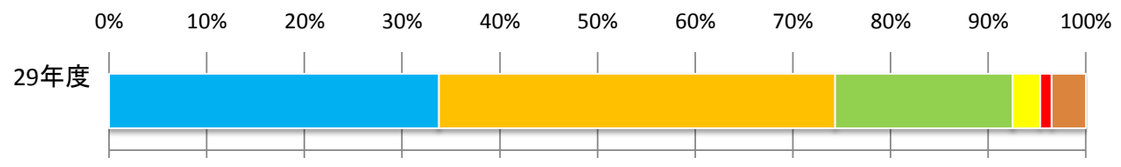
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.3	42.1	78.4	—

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



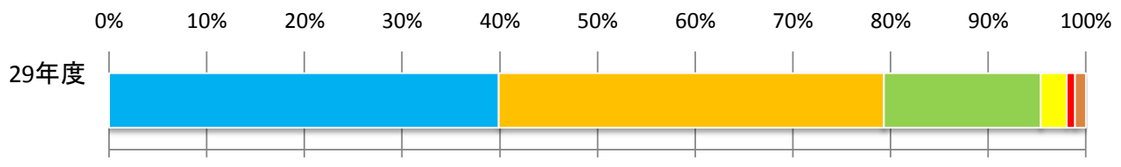
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.4	38.6	79.0	—

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1　板書であったと思うか。



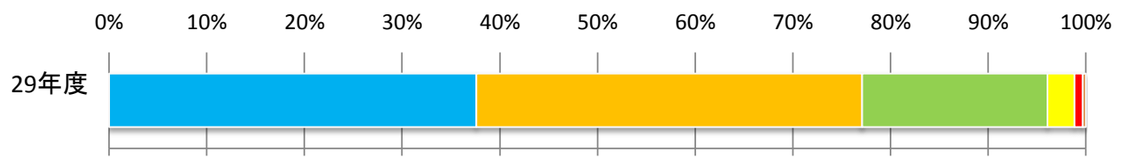
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	40.6	74.4	—

11. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2　わかりやすかったと思うか。



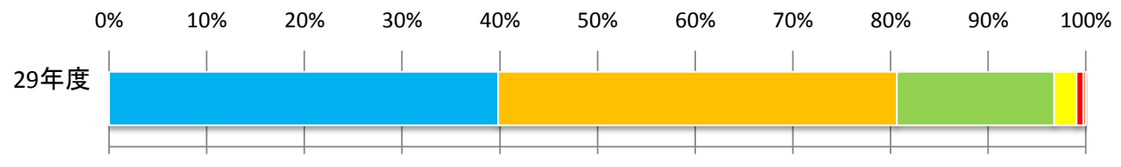
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.9	39.4	79.3	—

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



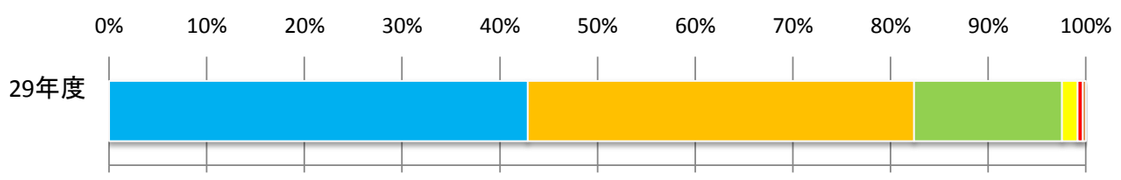
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.6	39.5	77.1	—

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



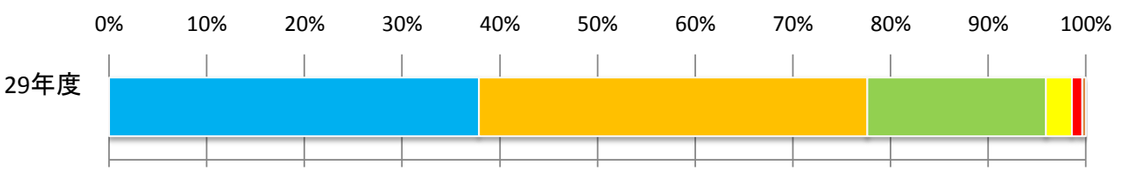
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.9	40.8	80.7	—

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



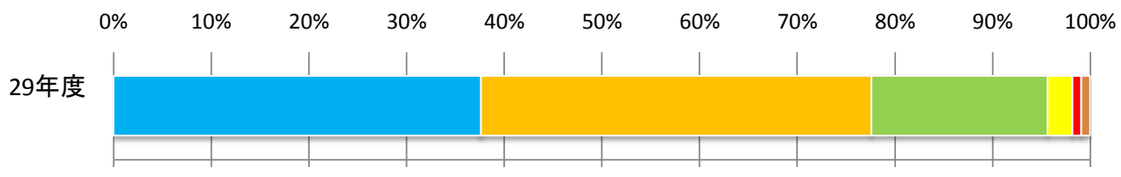
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.9	39.5	82.4	—

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	39.8	77.6	—

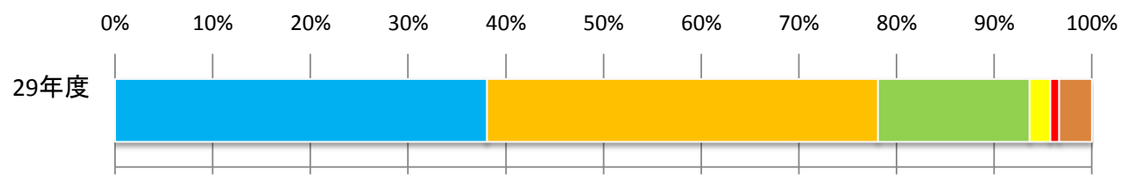
「計」（質問項目 8 ～ 15 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.6	40.0	77.6	—

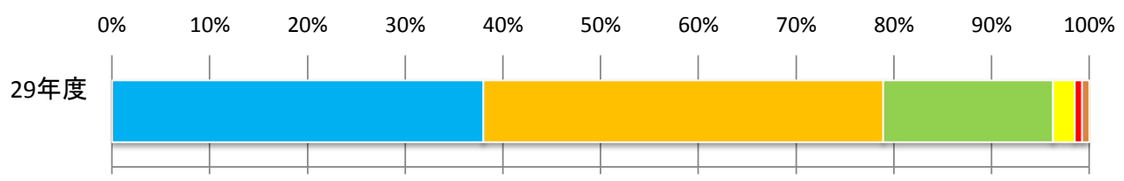
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	40.0	78.1	—

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	40.9	79.0	—

◆　Ⅵ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　778】

主な科目名	件数	主な内容
看護学概論 【1年次前期：災害看護学コース】	24	・看護の歴史や法について学べた。また、今の看護の現状についても知ることができた。 ・”看護師”という職業をよく理解することができたので良かったです。
看護実践技術論Ⅰ 【1年次前期：災害看護学コース】	20	・演習で実際に自分で体験したり、参考書にのっていない例を考えることできっかけになっていたと思います。 ・看護師になるにあたって実際の将来に直結することばかりでとても有益でした。
医療・看護情報学の基礎 【2年次前期：臨床看護学コース】	4	・医療・情報など詳しく学ぶことが出来たので良かった ・病院がどのようなシステムを利用しているかなどを知ることができて、実習にも役立つ、隣りの病院のことしか知らなかったため、日本の状態を知ることができた。
障害者看護論 【3年次後期：臨床看護学コース】	5	・障害についての考え方が少し変わった。 ・色んな方のお話を聞くことができ、とてもタメになりました。

◆　Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　332】

主な科目名	件数	主な内容
ヘルスアセスメント 【1年次前期：災害看護学コース】	28	・パワーポイントが進むのがはやく、板書が追いつかないから、もう少しゆとりをもって欲しいです。 ・一番後ろの席はホワイトボードに字をかかれてもなにもみえません。先生によってスライドの字も見えませんでした。
卒業研究 【4年次後期：災害看護学コース】	5	・教員同士の情報共有や、意見の一致、協力してほしかった ・執筆要綱があいまいでもっと詳しく明記してほしかった。
自然科学の基礎 【1年次前期：臨床看護学コース】	12	・理系科目なので、数学や化学の授業のように実際に問題が解けるようなプリントを作るべきだと思う。（絵や文字だけでなく） ・水溶液の濃度についての解説時間をふやしてほしい
小児看護学概論 【2年次後期：臨床看護学コース】	8	・発表時間が少なく、もっと時間があればこういう発表もしたかった・・・と思いました。 ・レジュメは印刷して配布してほしい。

平成29年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○実習・実験科目数　27科目　　○調査対象者数　2,638人（延人数）
○総回答数　2,077枚（回答率 78.7%）

◆ 質問項目別集計結果　〈内容一新のため、昨年との比較無し〉

質　問　項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	計
Ⅰ　あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。	44.7	42.7	10.6	1.7	0.3	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	72.9	22.9	3.8	0.3	0.1	0.0	100
3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。	62.5	32.2	4.3	0.7	0.3	0.0	100
計	60.1	32.6	6.2	0.9	0.2	0.0	100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。	49.0	43.6	6.2	0.8	0.4	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	53.1	39.8	5.9	0.7	0.5	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	57.4	36.1	5.2	0.6	0.6	0.1	100
7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	59.5	34.1	4.5	0.8	0.7	0.4	100
計	54.7	38.4	5.4	0.7	0.6	0.2	100
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	39.0	38.8	17.4	2.7	2.0	0.1	100
9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	51.1	37.7	7.9	1.8	1.4	0.1	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	53.5	35.4	7.8	2.1	1.1	0.1	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	53.8	34.9	7.2	2.5	1.5	0.1	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	53.1	35.2	7.7	2.5	1.3	0.2	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って取り組んでいたと思うか	55.7	33.8	7.5	1.7	1.2	0.1	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。	52.7	35.6	7.9	2.0	1.5	0.3	100
計	51.3	35.9	9.0	2.2	1.4	0.2	100
Ⅳ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	54.6	34.6	6.6	1.5	0.9	1.8	100
全質問項目の平均	54.2	35.8	7.4	1.5	0.9	0.2	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

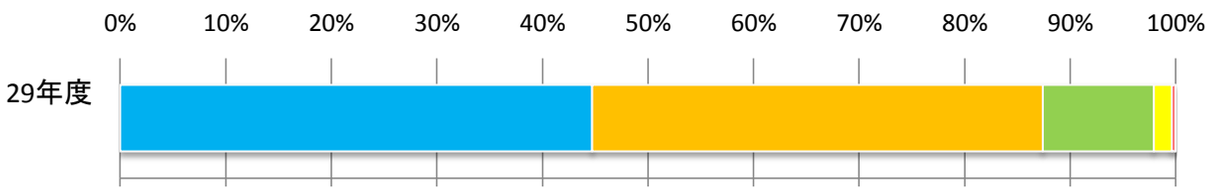
	28年度	29年度
全科目数	24科目	27科目
調査対象者数	2.528人	2.638人
総回答数（回答率）	2,140枚（84.7%）	2,077枚（78.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない　無回答

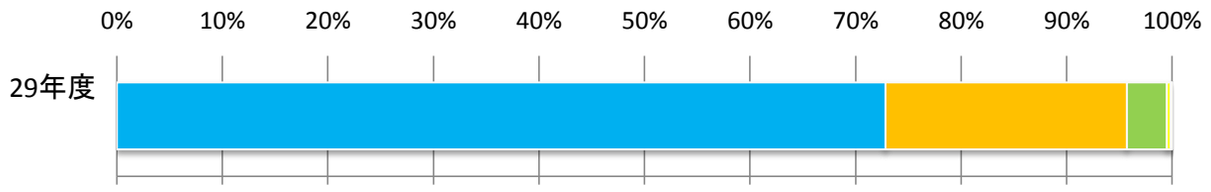
Ⅰ　あなた自身について

1. 実習･実験に対して十分な準備ができていたか。



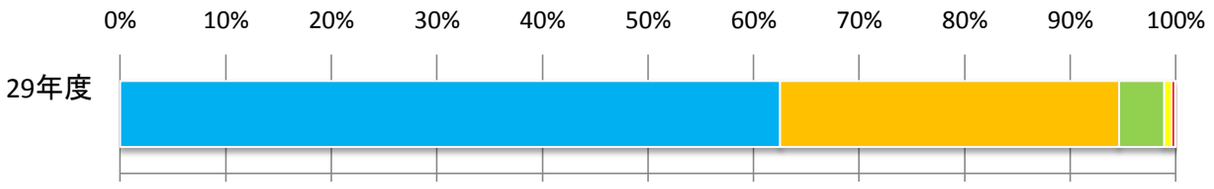
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.7	42.7	87.4	—

2. 積極的に出席したと思うか。



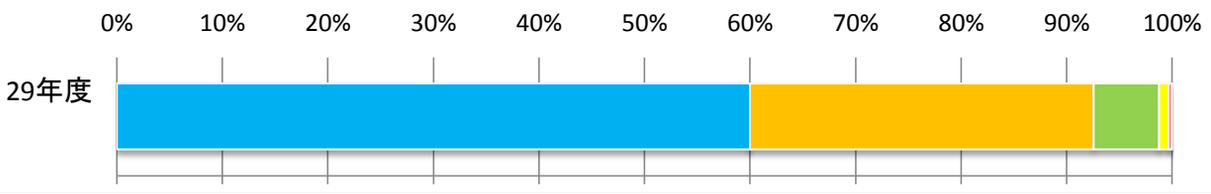
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
72.9	22.9	95.8	—

3. 実習･実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
62.5	32.2	94.7	—

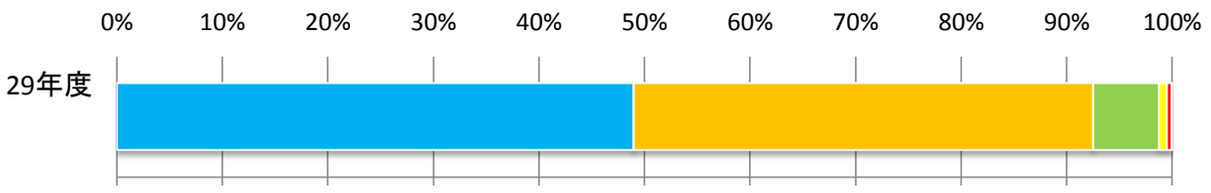
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.1	32.6	92.7	—

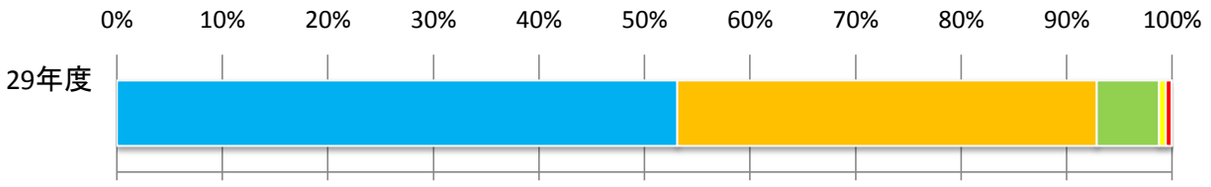
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習･実験内容をよく理解できたと思うか。



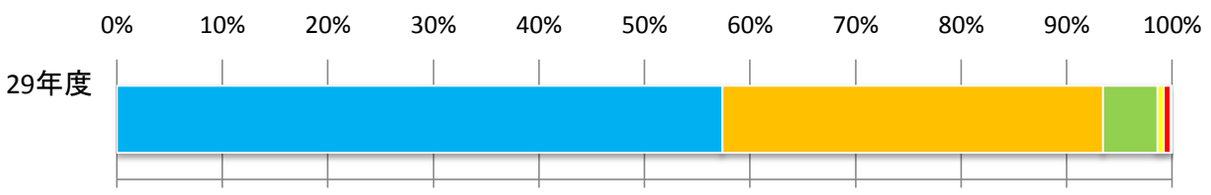
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.0	43.6	92.6	―

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



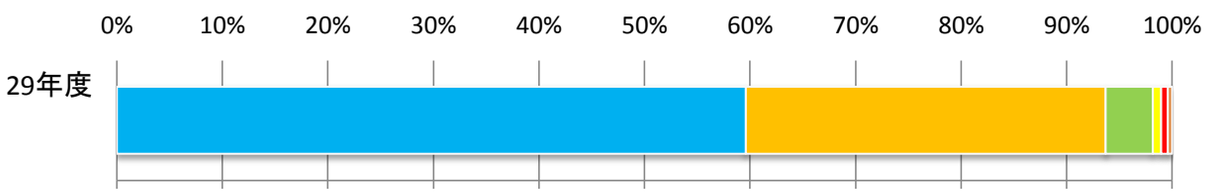
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.1	39.8	92.9	―

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



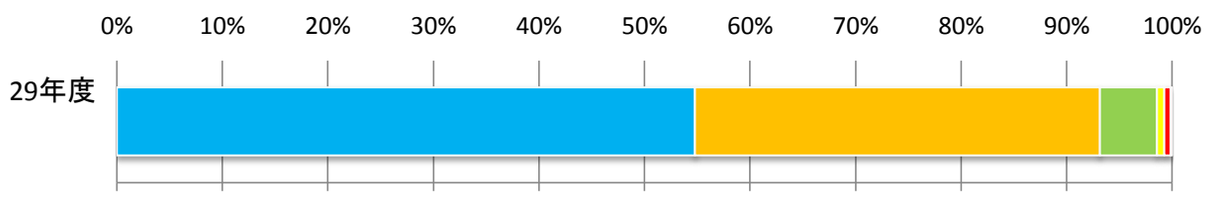
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.4	36.1	93.5	―

7. この実習･実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.5	34.1	93.6	―

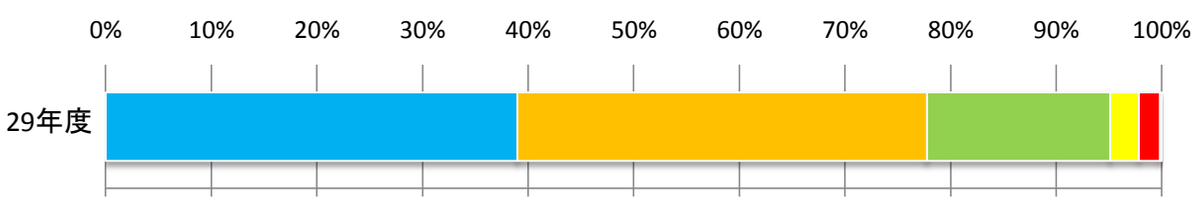
「計」（質問項目 4 ～7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.7	38.4	93.1	―

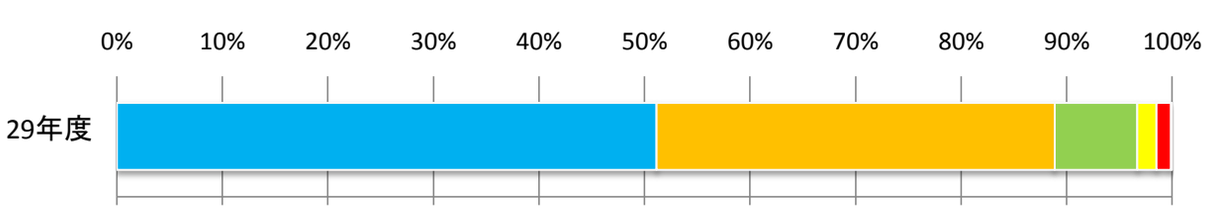
Ⅲ　教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



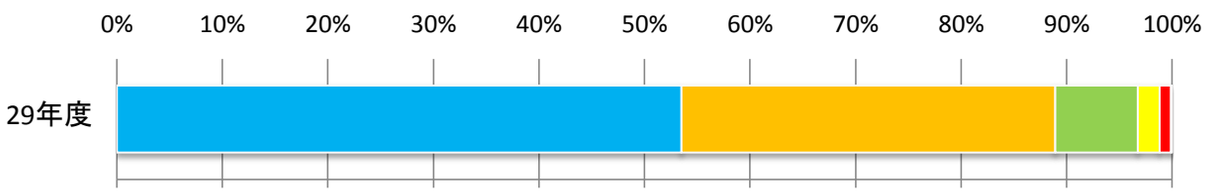
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	38.8	77.8	―

9. 学習しやすい実習･実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



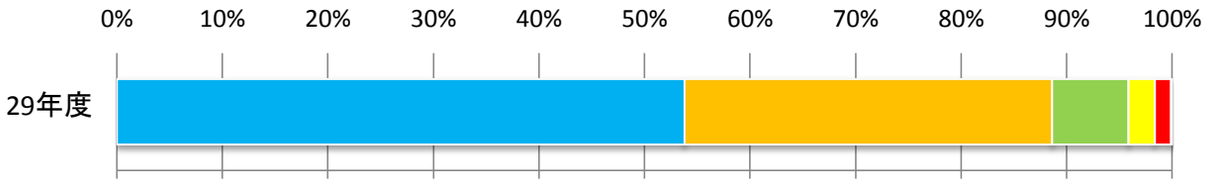
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.1	37.7	88.8	―

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



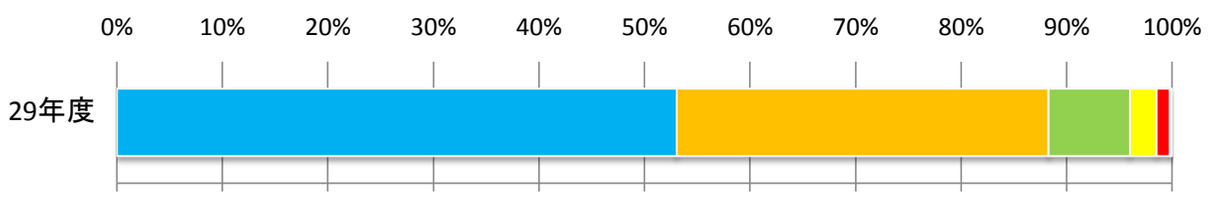
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.5	35.4	88.9	—

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



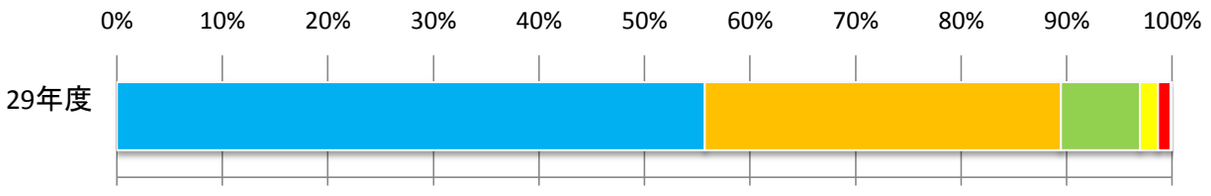
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.8	34.9	88.7	—

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



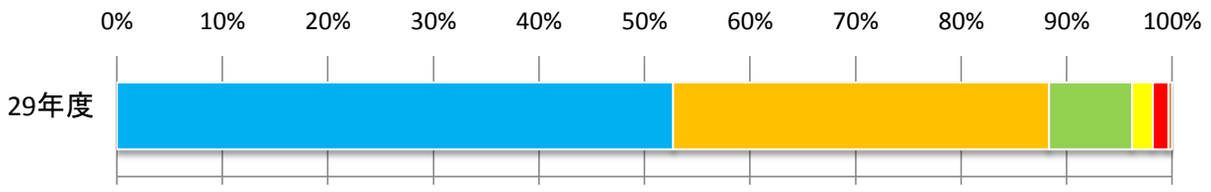
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.1	35.2	88.3	—

13. 教員は実習・実験に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



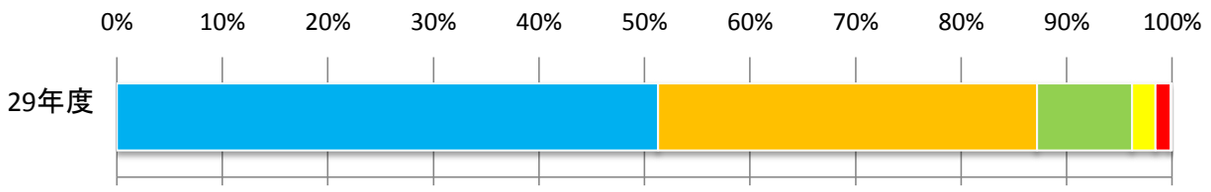
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.7	33.8	89.5	—

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習･実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.7	35.6	88.3	—

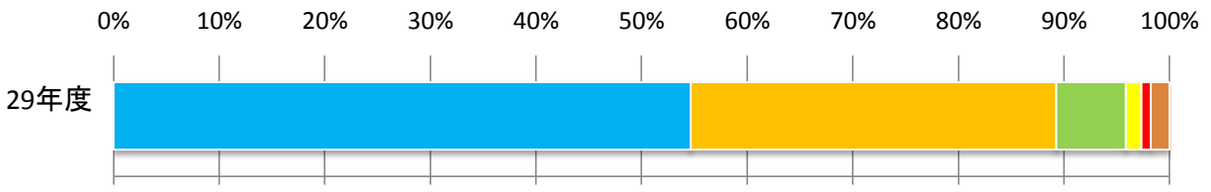
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.3	35.9	87.2	—

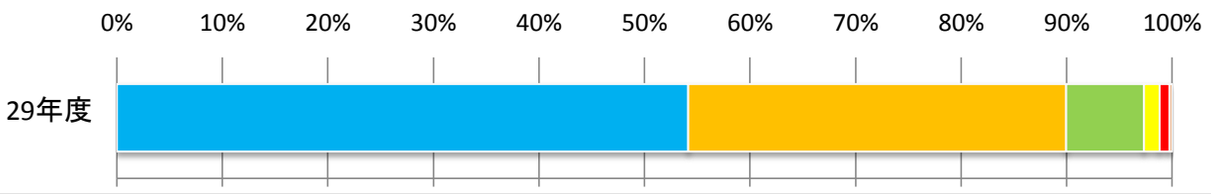
Ⅳ 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.6	34.6	89.2	—

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.2	35.8	90.0	—

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　67】

主な科目名	件数	主な内容
看護学体験実習 【1年次前期：臨床看護学コース】	19	・始まる前に比べ意欲があがった。担当の先生のアプローチで、学ぶべきことがしっかりわかりカンファレンスも質の良いものになった。 ・この時期に実習をすることで、これから学習することと結びつけて学べると思ったのでとてもよかったです。 ・実際に病棟に行き、初めて知ることがたくさんあった。いろいろ、病院や看護師の仕事を具体的に知れてよかった。
看護過程展開実習 【2年次前期：災害看護学コース】	7	・医療現場の空気に触れ、やるべきことが分かった。 ・実践し、看護の専門性を学べたこと ・患者さんとふれ合う楽しさを知った。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 47】

主な科目名	件数	主な内容
在宅看護学実習 【4年次前期：災害看護学コース】	10	・オリエンテーションが数回にわたり、オリエンテーション中も待ち時間が多くあった。段取りが悪いので、もっと効率的にしてほしい。 ・記録の時間が少し多く感じた。
老年看護学実習Ⅰ 【2年次後期：臨床看護学コース】	4	・もっと施設に行きたかった ・グループ発表の時間がたくさんあって大変。レポートが多い。行き帰りが大変。

平成 29 年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

大学院医療保健学研究科長　坂本　すが

１.授業評価アンケートについて

○ 14 の質問項目全体の授業評価集計結果の前年度別比較では、「そう思う」と「ややそう思う」を含めると平均 89.7%で前年度の 92.5%より 2.8 ポイント減少した。

○ 14 項目中の 7 項目は 90%以上の評価であったが、「授業内容を良く理解できたと思うか」が 76.2%(前年度 85.5%)全項目中の最低で、前年度より 10%近く減少していた。「この授業は期待していた通りの内容でしたか 88.6%(前年度 86.4%)」「この授業の進め方は適切であった 88.5%（前年度 93.0%）」「教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか 85.7%（前年度 86.9%）」であった。
授業評価集計結果より、低下した結果に対しては研究科長会議を開催し、講義方法の改善に努力してゆきたい。今後も院生が授業に積極的に取り組めるような講義方法を行うなどの工夫が必要であるといえる。

○ 大学院の授業評価は対象となる人数も少ないので、面接形式など併用することを検討することも必要ではないかと考える。

○ 大学院の授業は少人数の受講者であり、かえって個々の受講者の学習状況や関心に合わせて講義をすることが難しいところがあるのではないかと感じた。

○ 質問に対する回答は肯定的だったが、受講人数が少ないことや回答者の背景を考えると、授業評価アンケートの質問内容について再検討すべき点は多いと考えている。

○ 看護実践研究方法論について、「もっと早い時期に講義をしてほしい」という要望があった。今年度（30年度）も少し早い時期にも授業を実施したが、この点は新カリキュラムにおける科目調整により改善していくのではないかと考える。

○「興味、関心が持てたか」「将来役立つと思うか」の得点が高く、実践現場で疑問を持って大学院に進学した受講生のニーズに応えられた点も伺え、うれしい評価もあった。

２.授業において工夫した点

○ 看護実践開発特論Ⅰは、「課題の大変さ」については、科目の問題というより土曜日のみの授業であり、時間割がつまっているため社会人でこの時間割では、課題をやるのが大変と考え、それぞれの教員で十分な時間をとり、かつメールでの対応も行った。しかし、大変という意見があるため、次年度は、授業時間内に課題に取り組めるようにしたいと考える。

○ 広域ケア開発論では、学校保健の保健管理を中心に、色覚検査の現状なども踏まえた授業のユニバーサルデザインについて紹介するなどの工夫をした。 立場上、直接関わることのない分野であっても、一般教養として理解していただけるような、分かりやすい工夫を重ねていく。

○ 履修者はすべて実践家であるため、課題を出す場合は、学習内容が実践と結びつくような内容とし、授業ではディスカッションを積極的に取り入れた。
○ 看護実践研究方法論は受講生のニーズに合うように、受講生の論文進度を考慮して、授業内容を決めた。精神保健学受講生の調べ学習を発表する時間及びディスカッションの時間を十分取るように工夫した。
○ 感染制御学特論Ⅰは、「授業内容をよく理解できたと思う」が3.7%であった。
講義する側としては、必要な情報をしっかり教授し、自ら知識を得ていくことの重要性を知ってもらいたいと考える。講師陣を一部、医療現場で現役の専門家に交代し、講義内容の充実をはかり、より一層、自ら考えることに重点を置いた内容を継続していきたい。
○ 事前課題に取り組む時間と講義内で十分にディスカッションできる時間を確保するよう調整した。
○ 昨年と違い、学生一人一人のテーマに合わせた、文献の選択、構造的な文献内容の把握の方法を実施した。
○ 助産における教育力・実践能力・研究力の向上によるキャリアアップを図ることを目的として大学院に来ているので、課題学習を通して目標の明確化、伝える力をつけるために課題についてプレゼンテーション、その際の学習教材の選択や発表の方法の検討など、学生と共に工夫及び探求をしている。また、災害看護等、助産学専攻科の学生と共に授業に参加することにより、自己肯定感や教育的指導などに繋がっているようなので、継続していきたいと考えている。また、医療機器製造工場の見学や沖縄島嶼医療での体験など、ユニークな取り組みを通しての学習も行っている。
○ 例年の研究報告会などから、研究の視点が乏しい院生が多い印象を受けている。
授業の中で、業務における漠然とした疑問が明確なリサーチクエスチョンに繋がること、そして遂行した研究結果がその後の医療保健の根拠となっていくことを、印象づけるよう工夫している。
○ 授業を十分に理解できるように授業中及び授業後に質問を受け、また参考資料をできるだけ配付した。

３.授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

○ 高い評価が得られた項目は継続して取り組みたいと思う。質問 1 の「この授業に意欲的に取り組めたと思うか」や質問 3 の「授業内容をよく理解できたと思うか」が他の項目と比べると低いため、課題や授業内容を履修者の関心やレベルに合せて検討していきたい。
○ シラバス全体の中の、担当回の授業であることから、他の担当者の授業内容にも配慮し、授業の位置づけや意義について説明している。
○ 今回の結果から、「学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか」の項目の平均が低かったため、今後は、学生のニーズやレベル等を考慮しながら、授業の組み

立てを行っていきたい。

○ クリニカル・クウェスチョンからリサーチクウェスチョンへの探求を試み、自らの研究課題を明らかにすること、また、文献検討、まとめを討議するなどの授業の工夫を実践することを通してわかりやすい授業や研究指導を検討していきたいと考えている。

○ 教員からの意向もあり、英文抄録を読む演習を取り入れている。一部の院生には負担に感じられていることも承知している。修士課程では求められるレベルだと思うので、今後も続けたいと思う。

○ 課題は、こちらの指示するテーマに合った英文論文を探して、概要をまとめるものである。能力として、求めている論文を pubmed で探し出せること、英文の論文を読んでそれを概説できることは求めているが、それが主たる目的ではなく、この科目で学んだポイントを押さえられているかを把握するための課題である。そのあたりを、継続していきたいと思う。

○ 今後は映像など使用し、さらに分かりやすくイメージしやすい授業を実施していこうと考えている。

○ 授業を楽しく理解させるために質問に丁寧に答えるとともに研究に対する姿勢を事前の経験を通じて“努力”なくして、成熟しないことを教えたい。

４.その他の記述

○ 延長が多く、聞きたいことは休み時間に聞いたが、対応の良いときもあれば、答えが明確にいただけない場合もあった。後日の質問も受け付けて欲しい。スケジュールがハードだった。課題が複数重なっていたので…といった自由記載からの意見があったが、教員は、学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求し、実行していきたいと思っている。大学院生も積極的に教員とコミュニケーションを取り、多くの本や文献を読み、積極的に授業や演習に取り組み、自信を持って頑張って欲しい。

○ 全領域の院生が受講することから、講義内容とそのレベルの設定に、毎年悩んでいる。「期待していた通りの内容」かどうかの設問があるが、大学院生が何を期待しているのかを知りたい。自由記述にそういったことを書いてもらえるとか、声に出して風通しの良い大学院生活にしていけるように願っている。

○ 院生たちの経歴はそれぞれ違うので、当然感想が同じでないことに納得した。

○ 「本を読むこと、人的資源の活用、また、先生の視野の広さを堪能した。いつもテーブルをなおすのが面倒です。ディスカッションできる形態の教室があればと思います。ビジョナリーは本より電子書籍の方がよい。」という意見があったので、教室環境の整備も大学側と検討していきたいと考える。

以上

平成29年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科　修士課程

○全科目数　52科目　　○調査対象者数　428人（延人数）
○総回答数　210枚（回答率49％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（ ）は平成28年度集計結果】

（%）

質　問　項　目		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか		(71.0)	(26.0)	(3.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		45.2	46.2	8.1	0.5	0.0	0.0	100.0
2.この授業に興味、関心が持てたと思いますか		(77.0)	(19.0)	(4.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		59.0	35.7	4.8	0.5	0.0	0.0	100.0
3.授業内容をよく理解できたと思いますか		(47.5)	(38.0)	(13.0)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		30.5	45.7	21.4	2.4	0.0	0.0	100.0
4.この授業内容は将来役立つと思いますか		(73.7)	(20.6)	(5.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		58.6	36.7	4.8	0.0	0.0	0.0	100.0
5.この授業は期待していた通りの内容でしたか		(63.8)	(22.6)	(13.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		46.2	42.4	11.4	0.0	0.0	0.0	100.0
6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか		(71.6)	(18.8)	(9.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		52.9	36.7	9.5	1.0	0.0	0.0	100.0
7.授業はシラバスに沿って行われたと思いますか		(73.0)	(22.1)	(4.9)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		56.2	35.7	8.1	0.0	0.0	0.0	100.0
8.この授業の進め方は適切だったと思いますか		(70.0)	(23.0)	(7.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		55.5	33.0	10.0	1.4	0.0	0.0	100.0
9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか		(69.4)	(22.8)	(7.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		49.8	37.3	12.9	0.0	0.0	0.0	100.0
10.教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか		(72.0)	(22.0)	(6.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		58.1	31.4	9.5	1.0	0.0	0.0	100.0
11.教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか		(77.0)	(18.0)	(5.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		55.7	35.7	7.6	1.0	0.0	0.0	100.0
12.教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか		(81.5)	(16.1)	(2.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		67.6	27.1	4.3	1.0	0.0	0.0	100.0
13.教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか		(65.5)	(21.4)	(12.6)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		47.6	38.1	13.3	1.0	0.0	0.0	100.0
14.この授業は総合的に満足出来たと思いますか		(71.2)	(20.5)	(8.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		56.7	34.8	7.6	0.0	0.0	1.0	100.0
全質問項目の平均	**平成28年度**	**(70.3)**	**(22.2)**	**(7.4)**	**(0.1)**	**(0.0)**	**(0.0)**	**(100.0)**
	平成29年度	**52.8**	**36.9**	**9.5**	**0.7**	**0.0**	**0.1**	**100.0**

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科　修士課程

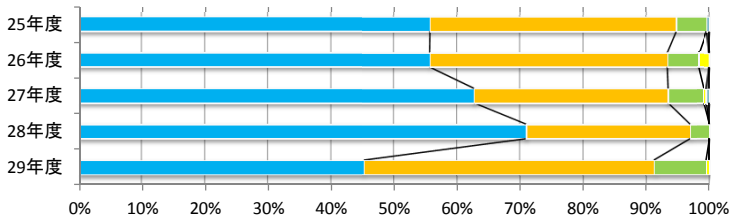
◆ 年度別 授業評価集計結果

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	46科目	48科目	55科目	52科目	52科目
調査対象者数（延人数）	421人	314人	421人	379人	428人
総回答数（回答率）	314枚（75%）	202枚（64%）	269枚（64%）	212枚（56%）	210枚（49%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

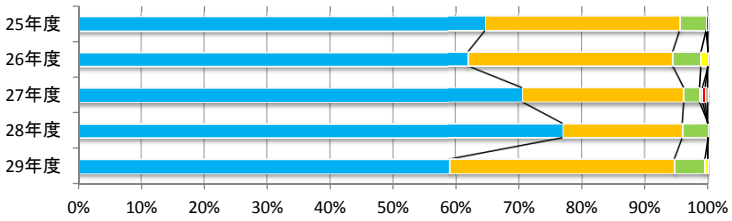
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	55.7	39.2	94.9	－
26年度	55.7	37.8	93.5	△ 1.4
27年度	62.8	30.9	93.7	＋0.2
28年度	71.0	26.0	97.0	＋3.3
29年度	45.2	46.2	91.4	△ 5.6

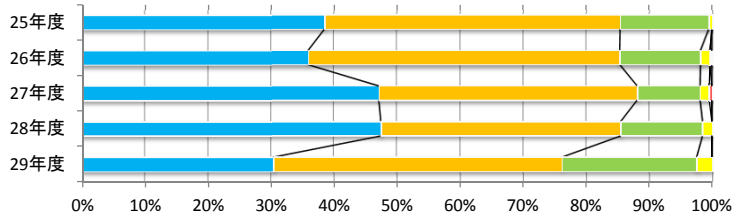
Q2.この授業に興味・関心が持てたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	64.7	30.9	95.6	―
26年度	62.0	32.5	94.5	△ 1.1
27年度	70.6	25.7	96.3	＋1.8
28年度	77.0	19.0	96.0	△ 0.3
29年度	59.0	35.7	94.8	△ 1.2

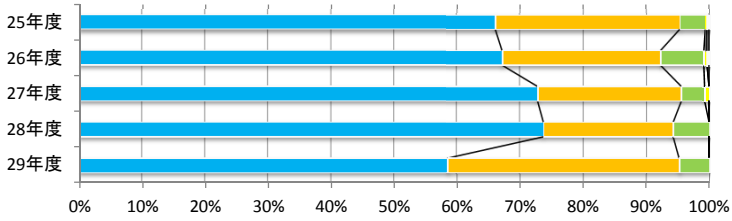
Q3.授業内容をよく理解できたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	38.6	46.8	85.4	－
26年度	36.1	49.5	85.6	＋0.2
27年度	47.2	40.9	88.1	＋2.5
28年度	47.5	38.0	85.5	△ 2.6
29年度	30.5	45.7	76.2	△ 9.3

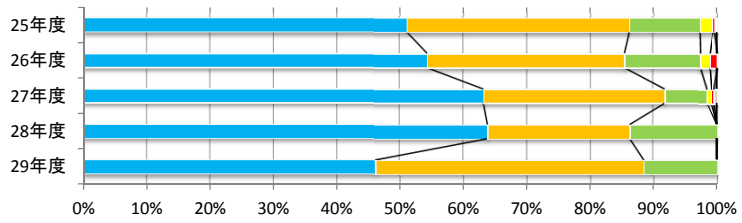
Q4.この授業は将来役立つと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	66.3	29.3	95.6	－
26年度	67.4	25.2	92.6	△ 3.0
27年度	72.5	22.7	95.2	＋2.6
28年度	73.7	20.6	94.3	△ 0.9
29年度	58.6	36.7	95.2	＋0.9

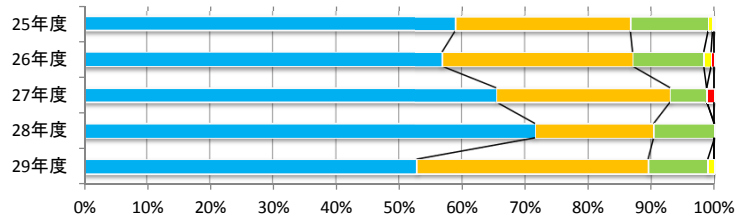
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	51.3	35.4	86.7	-
26年度	54.3	31.3	85.6	△ 1.1
27年度	63.2	28.6	91.8	＋6.2
28年度	63.8	22.6	86.4	△ 5.4
29年度	46.2	42.4	88.6	＋2.2

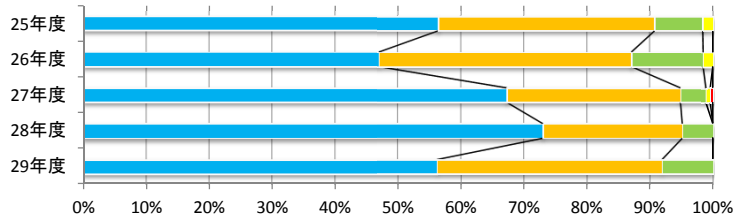
Q6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	59.0	27.7	86.7	―
26年度	56.9	30.2	87.1	＋0.4
27年度	65.4	27.5	92.9	＋5.8
28年度	71.6	18.8	90.4	△ 2.5
29年度	52.9	36.7	89.5	△ 0.9

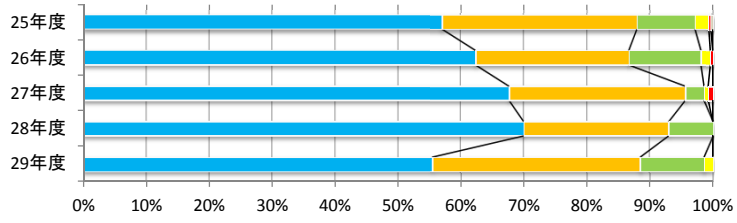
Q7.授業はシラバスに沿って行われたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	56.4	34.4	90.8	―
26年度	47.0	40.1	87.1	△ 3.7
27年度	67.3	27.5	94.8	＋7.7
28年度	73.0	22.1	95.1	＋0.3
29年度	56.2	35.7	91.9	△ 3.2

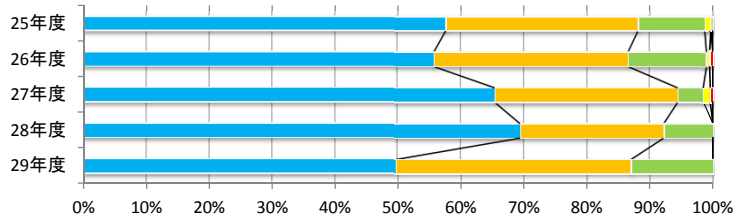
Q8.この授業の進め方は適切だったと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	57.1	30.9	88.0	-
26年度	62.4	24.3	86.7	△ 1.3
27年度	67.7	27.9	95.6	＋8.9
28年度	70.0	23.0	93.0	△ 2.6
29年度	55.5	33.0	88.5	△ 4.5

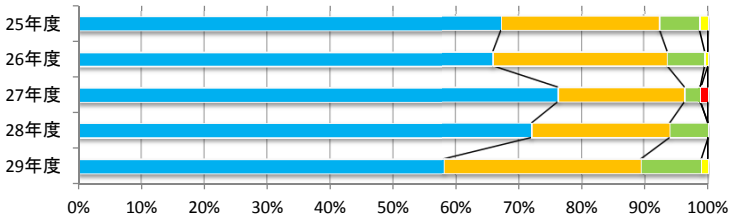
Q9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	57.6	30.6	88.2	-
26年度	55.8	30.8	86.6	△ 1.6
27年度	65.4	29.0	94.4	＋7.8
28年度	69.4	22.8	92.2	△ 2.2
29年度	49.8	37.3	87.1	△ 5.1

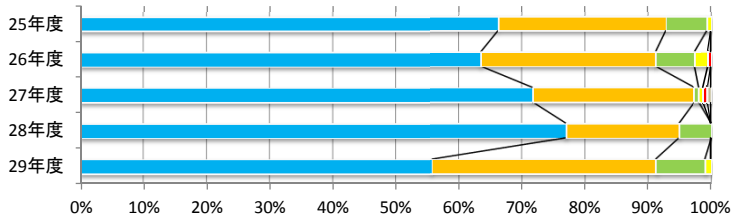
Q10.教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	67.2	25.2	92.4	―
26年度	65.9	27.7	93.6	＋1.2
27年度	76.2	20.1	96.3	＋2.7
28年度	72.0	22.0	94.0	△ 2.3
29年度	58.1	31.4	89.5	△ 4.5

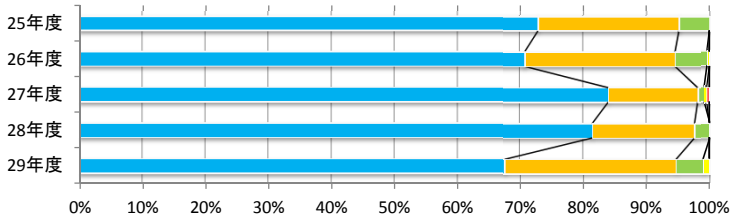
Q11.教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	66.2	26.8	93.0	―
26年度	63.5	27.9	91.4	△ 1.6
27年度	71.7	25.7	97.4	＋6.0
28年度	77.0	18.0	95.0	△ 2.4
29年度	55.7	35.7	91.4	△ 3.6

Q12.教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか

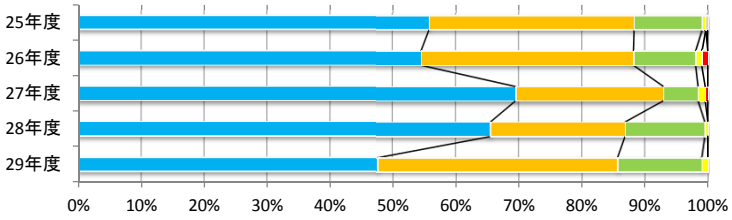


（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	72.9	22.3	95.2	―
26年度	70.8	23.8	94.6	△ 0.6
27年度	84.0	14.1	98.1	＋3.5
28年度	81.5	16.1	97.6	△ 0.5
29年度	67.6	27.1	94.8	△ 2.8

Q13.教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか

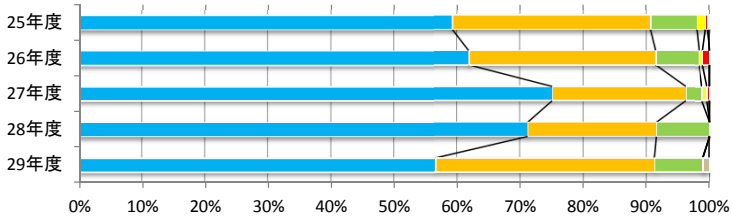
（24年度新規質問項目）



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	55.8	32.5	88.3	―
26年度	54.5	33.7	88.2	△ 0.1
27年度	69.5	23.4	92.9	＋4.7
28年度	65.5	21.4	86.9	△ 6.0
29年度	47.6	38.1	85.7	△ 1.2

Q14.この授業は総合的に満足出来たと思いますか



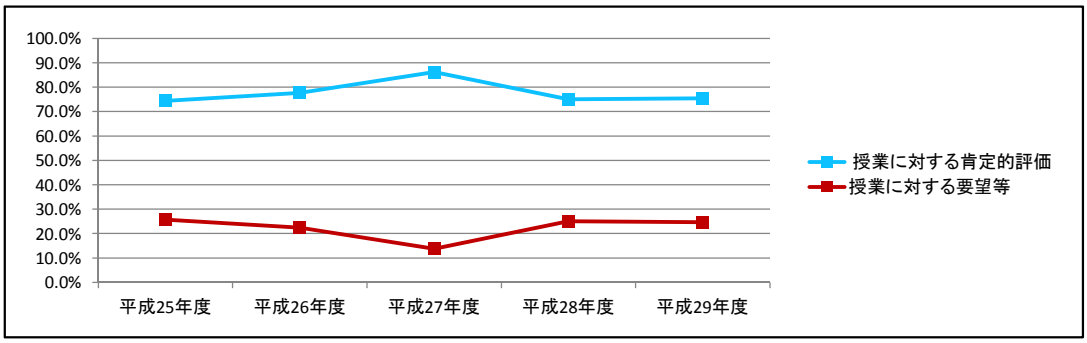
（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	59.3	31.5	90.8	-
26年度	61.9	29.7	91.6	＋0.8
27年度	75.1	21.2	96.3	＋4.7
28年度	71.2	20.5	91.7	△ 4.6
29年度	56.7	34.8	91.4	△ 0.3

◆ 年度別　自由記述集計結果

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(74.4%)	87	(77.6%)	59	(86.2%)	75	(75.0%)	48	(75.4%)	49
授業に対する要望等	(25.6%)	30	(22.4%)	17	(13.8%)	12	(25.0%)	16	(24.6%)	16
総件数	(100.0%)	117	(100.0%)	76	(100.0%)	87	(100.0%)	64	(100.0%)	65

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容（平成29年度）

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	49	医療の歴史から、現在の日本が抱える問題や論文作成まで幅広く学ぶことができました。人前でプレゼンも慣れていないのでよい勉強になりました。
		苦手意識を払拭するほどわかりやすく教えていただきました。これからが楽しみです。ありがとうございました。
		常に理解度を確認しながら根気よく教えていただきました。演習など考えさせられて、間違えたことで記憶に残るという繰り返しで少し身についたように思います。ありがとうございました。
		肩の力を抜きながら、深い内容を学べました。まずはもっと読み込んで、実践で活用できることをひとつでも増やしたいと思います。ありがとうございました。
		生について、死について、自分なりの死生観を考えることができました。ありがとうございました。
		栄養学の見方が変化した。 診療報酬上の加算算定に合致したケアの提供が重要であることを再認識する機会だった。
		たくさんのリクエスト、質問にとても丁寧にご対応くださりありがたく思います。少し違った見方で、物をみることがきるように思います。ありがとうございました。
		非常におもしろい授業でした。どの先生方の授業も自身の研究を深めることができる内容であり、また刺激にもなりました。ぜひ色々な学生さんに学んでもらいたい科目です。
授業に対する 要望等	16	延長が多く、聞きたいことは休み時間に聞いたが、対応の良いときもあれば、答えが明確にいただけない場合もあった。後日の質問も受け付けて欲しい。
		スケジュールがハードだった。課題が複数重なっていたので…
		本を読むこと、人的資源の活用、また、先生の視野の広さを堪能いたしました。いつもテーブルをなおすのが面倒です。ディスカッションできる形態の教室があればと思います。ビジョナリーは本より電子書籍の方がよいと思います。
計	65	

平成 29 年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・研究科長　　草間　朋子

「高度実践看護コース」「高度実践助産コース」「看護科学コース」の学生による授業評価の対象科目数は、それぞれ 22 科目、30 科目、７科目であり、授業評価に対応した大学院生は、各コース、延べ 371 名（回答率:87.9%）、242 名（89.7%）、19 名（73.7%）であり、高度実践看護コース、看護科学コースの回答率は昨年に比べて低下している。各コースの全授業評価対象科目の総合的な満足度（「非常にそう思う」「そう思う」）の平均値（標準偏差）は 74.2（±18.0）%、73.0（±23.1）%、76.4%であり、各コースとも科目によるばらつきが大きい（各コースとも 0～100%に分布している）。自由記述欄に記載された意見の件数は、それぞれ 311 件（うち肯定的意見：184 件）、50 件（同 21 件）、13 件（同５件）であり、高度実践助産コースの意見の件数が極端に少ない。これは、学生の修学前の臨床経験の有無等により本学の授業に対する期待度の違いを反映しているものと考えられる。

基本的な知識・技術を統合する科目である実習（高度実践看護及び高度実践助産コース）に対する学生の評価は高いが、実習に至るまでの基本的な知識・技術の不足を指摘する学生が多い。限られた期間の中で、基本的な知識・技術を習得するためには、学生自身が取り組む事前学習、事後学習が重要であることを学生が認識して欲しい。大学としては、高度実践者の育成を目指している高度実践看護、高度実践助産コースに関しては、演習のための設備・備品等の教育環境の整備を積極的に図っているので、これらを活用し事後学習を通して、実習前の基礎的な知識・技術を習得すると同時に各コースの修了時の到達目標を達成していただきたい。

大学としては、授業に対する満足度評価や学生から提示された特に否定的意見を参考に、短期的及び中・長期点視点から改善に取り組んでいきたい。そこで、以下の各コースの授業評価に対する考察は、短期的な視点から改善に取り組む必要があると判断した点を中心に述べることとする。

「高度実践看護コース」

- ほぼ全ての科目が非常勤の講師、本学の教員によるオムニバスで進められており、科目担当者間での重複があること、また、科目間での重複があることが以前から指摘されている。限られた期間（２年間）の中で効率的な授業展開をしていくためには、科目内、科目間での重複をできるだけ避けるように担当する講師間の連携・調整を図る手段（非常勤講師の先生方の負担にならない手段）を大学として検討し、改善に取り組んで行く必要がある。
- 多くの科目の授業形態に学生参加型の GW（グループワーク）が取り入れられており、GW に対する学生の評価はさまざまであるが、アクティブラーニングの重要性が強調されていることに鑑み、GW をさらに有効に活用していくためには、講義との順序性、レポートの作成等にさらに工夫が必要と思われる（効果的な GW のすすめ方に関しては平成 29 年度の FD 研修で取り上げ、大学院生も参加した）。
- 例年指摘されていることであるが、学生の事後学習を効果的に進めるために、授業に使った資料を配布できるように講師に働きかけてしていく必要がある。
- ５時限と６時限に実施している３コース共通科目を昼間に開講することは、科目の効率的運用の視点から変更は難しい。
- 本学大学院は、「特定行為に係る看護師の研修制度」に基づく「特定行為研修機関」としての指定を受けており、研修機関としての要件を満たす必要がある。このことを担当講師に徹底していく必要がある。また、時間（２コマ 60 分）管理・運用に関して大学の特徴を生かした工夫が必要で

あると考えている。

○ 時間が足りないとの意見が例年出されるが、限定された 2 年間で必要とされる知識・技術・態度を修得するためには事前学習、事後学習を効果的に活用することを学生に徹底していく必要がある。本コースは、昼間開講であるにも拘わらず、「授業時間外に、よく自己学習をしたと思う」の評価項目に「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合の全科目の平均値（標準偏差）は 55.8（±19.6）%に過ぎなかった。

「高度実践助産コース」

○ 本コースは、一部の科目を除いて本学の教員がオムニバス形式で担当している。免許取得プログラムの必須科目については、科目内での教員のさらなる連携を図り、教育内容に過不足がないように順序性を考慮した授業展開等の工夫が必要である.

○ 実習に先立つ事前学習等を促すように、学生にわかりやすい「実習要項」の作成に工夫が必要である。

○ 大学として、演習室の設備・備品の充実に力を入れ改善に努めており（学外の非常勤講師の先生方からは、備品の整備状況を評価いただいている)、これらの機器等を活用した事後学習の重要性を学生自身が認識する必要がある。

○ 今後の臨床現場における助産システムの展開を考え助産師プログラムの学生を増やし、免許取得プログラムの学生の教育支援に活用する（例えば TA として）ことにより、助産師プログラムの学生の満足度も増加し、両者の連携も強化されるものと思われる。

○ 助産師養成課程の大学院化が進められている中で、本学の高度実践助産コースが優先的に選択されるコースとなることを目指して、さらなる授業の充実が必要である。

「看護科学コース」

授業評価の対象学生が２名であり、授業評価の対象科目 7 科目のうち、２科目の必須科目を除いた５科目は選択科目である。２年通年科目である看護管理学特論、応用看護学演習を除き、授業評価に対応した学生は各科目１～２名であった。

○ 個々の学生の問題意識も高く、看護科学コースの各科目はチュートリアル形式で学生のニーズに沿って授業が展開されるために、学生の満足感は高い（前述の総合的な満足度 76.4%は、共通科目も含めた評価結果である)。

○ ３コース共通科目（看護管理学特論Ⅰ）に対する授業評価の結果は、他の２コースとほぼ同様であった。

○ 看護科学コースの学生には「修士論文」(10 単位）として課している。今回の授業評価では、修士論文に対する学生評価は実施していないが、修士論文の指導の過程を通して学生は多くのことを学んでいることを修士論文審査会で確認している。修士論文の成果を関連する学術集会や学術誌等で公表し、研究成果の一部が看護教育の教育教材の改善に発展したものもあることは高く評価される。

本学では、大学院生の学習態度として「自律」「謙虚」「感謝」を徹底させることを目標にしている。教員も「謙虚」な態度を堅持し学生と対峙していく姿勢を忘れてはいけないことを、学生の授業評価から改めて認識した。

以上

平成29年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

○全科目数 59科目　　**○調査対象者数　632人（延人数）**
○総回答数　557人（回答率88.1%）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は平成28年度集計結果】　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(25.9)	(62.9)	(9.3)	(1.7)	(0.2)	(100.0)
		22.5	57.4	17.3	2.7	0.2	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(13.8)	(63.1)	(18.7)	(4.0)	(0.3)	(100.0)
		10.5	60.5	25.8	3.2	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(19.6)	(48.3)	(25.2)	(5.2)	(1.7)	(100.0)
		14.9	44.8	32.4	7.4	0.5	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(37.4)	(50.9)	(10.1)	(1.4)	(0.2)	(100.0)
		36.9	47.7	14.0	1.4	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(17.5)	(51.9)	(23.6)	(5.6)	(1.4)	(100.0)
		18.3	49.1	27.3	5.0	0.2	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(16.4)	(51.7)	(24.7)	(4.7)	(2.4)	(100.0)
		15.0	50.6	28.5	5.9	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(16.6)	(51.6)	(25.0)	(4.0)	(2.8)	(100.0)
		14.4	48.9	32.7	4.0	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(19.9)	(55.9)	(18.9)	(3.8)	(1.4)	(100.0)
		18.3	55.9	22.8	2.9	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成28年度	(20.9)	(54.5)	(19.4)	(3.8)	(1.3)	(100.0)
	平成29年度	18.8	51.9	25.1	4.1	0.1	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

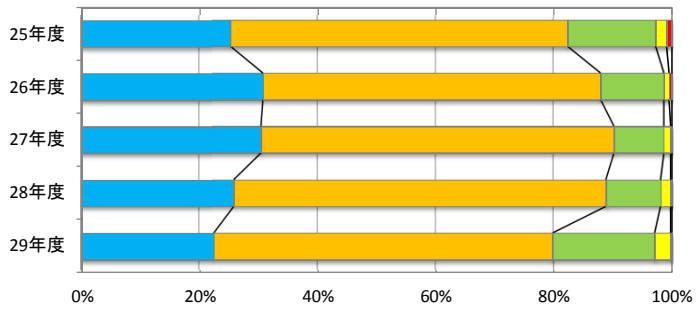
◆ 年度別 授業評価集計結果

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	48科目	63科目	67科目	66科目	59科目
調査対象者数（延人数）	621人	584人	608人	621人	632人
総回答数（回答率）	524枚（84.4%）	497枚（85.1%）	549枚（90.3%）	572枚（92.1%）	557枚（88.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

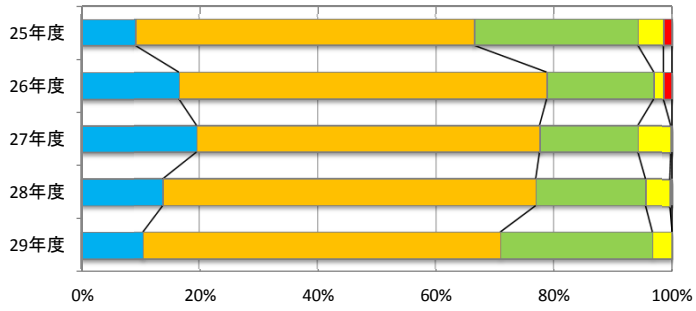
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	25.3	57.1	82.4	―
26年度	30.8	57.1	87.9	＋5.5
27年度	30.5	59.7	90.1	＋2.2
28年度	25.9	62.9	88.8	△ 1.3
29年度	22.5	57.4	79.9	△ 9.0

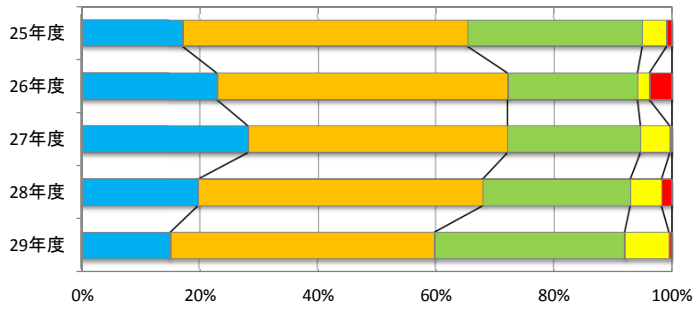
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	9.1	57.5	66.6	―
26年度	16.5	62.3	78.8	＋12.2
27年度	19.5	58.1	77.6	△ 1.2
28年度	13.8	63.1	76.9	△ 0.7
29年度	10.5	60.5	71.0	△ 5.9

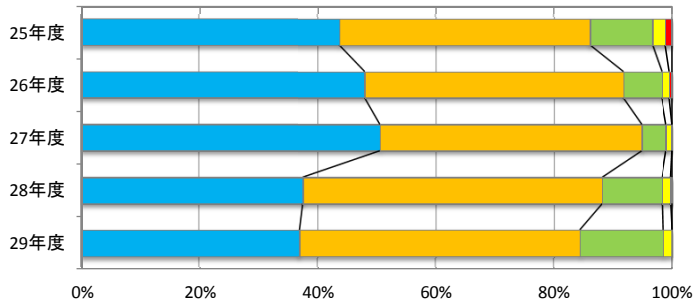
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	17.0	48.3	65.3	―
26年度	22.8	49.3	72.1	＋6.8
27年度	28.1	44.0	72.1	0.0
28年度	19.6	48.3	67.9	△ 4.2
29年度	14.9	44.8	59.7	△ 8.2

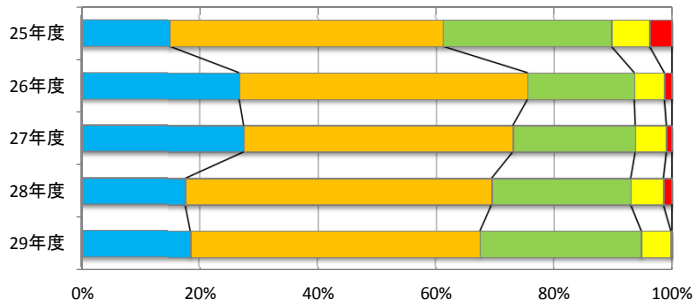
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	43.6	42.7	86.3	―
26年度	47.9	43.9	91.8	＋5.5
27年度	50.5	44.4	94.9	＋3.1
28年度	37.4	50.9	88.3	△ 6.6
29年度	36.9	47.7	84.5	△ 3.8

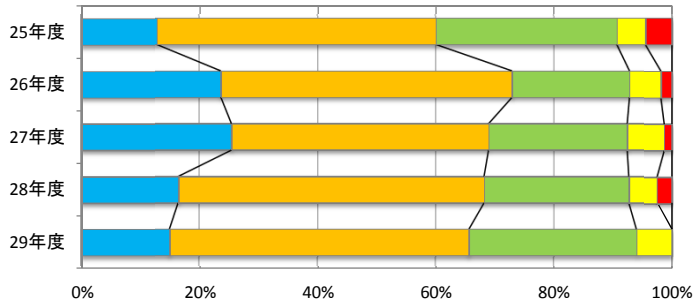
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	14.9	46.3	61.2	―
26年度	26.6	48.9	75.5	＋14.3
27年度	27.4	45.6	73.0	△ 2.5
28年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.6
29年度	18.3	49.1	67.4	△ 2.0

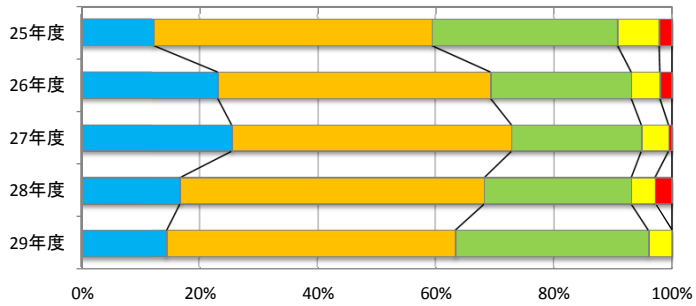
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	12.8	47.2	60.0	―
26年度	23.6	49.3	72.9	＋12.9
27年度	25.4	43.5	68.9	△ 4.0
28年度	16.4	51.7	68.1	△ 0.8
29年度	15.0	50.6	65.6	△ 2.5

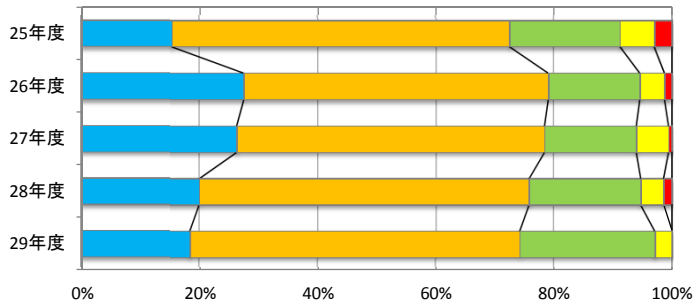
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	12.2	47.2	59.4	―
26年度	23.0	46.3	69.3	＋9.9
27年度	25.4	47.4	72.8	＋3.5
28年度	16.6	51.6	68.2	△ 4.6
29年度	14.4	48.9	63.3	△ 4.9

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	15.3	57.3	72.6	―
26年度	27.5	51.6	79.1	＋6.5
27年度	26.3	52.2	78.5	△ 0.6
28年度	19.9	55.9	75.8	△ 2.7
29年度	18.3	55.9	74.3	△ 1.5

◆ 年度別　自由記述集計結果

高度実践看護コース

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(58.1%)	265	(58.0%)	145	(59.6%)	124	(59.3%)	169	(59.2%)	184
授業に対する要望等	(41.9%)	191	(42.0%)	105	(40.4%)	84	(40.7%)	116	(40.8%)	127
計	(100.0%)	456	(100.0%)	250	(100.0%)	208	(100.0%)	285	(100.0%)	311

高度実践助産コース

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(71.6%)	58	(57.4%)	35	(59.8%)	67	(42.1%)	16	(42.0%)	21
授業に対する要望等	(28.4%)	23	(42.6%)	26	(40.2%)	45	(57.9%)	22	(58.0%)	29
計	(100.0%)	81	(100.0%)	61	(100.0%)	112	(100.0%)	38	(100.0%)	50

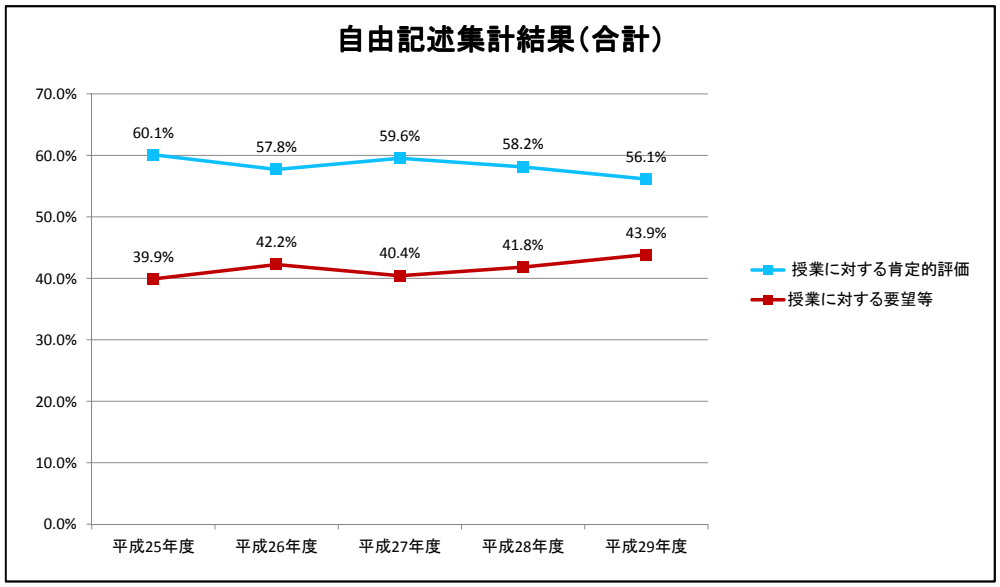
看護科学コース

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	—	—	(55.6%)	10	(55.6%)	5	(69.2%)	18	(38.5%)	5
授業に対する要望等	—	—	(44.4%)	8	(44.4%)	4	(30.8%)	8	(61.5%)	8
計	—	—	(100.0%)	18	(100.0%)	9	(100.0%)	26	(100.0%)	13

3コースの合計

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
授業に対する肯定的評価	(60.1%)	323	(57.8%)	190	(59.6%)	196	(58.2%)	203	(56.1%)	210
授業に対する要望等	(39.9%)	214	(42.2%)	139	(40.4%)	133	(41.8%)	146	(43.9%)	164
合計	(100.0%)	537	(100.0%)	329	(100.0%)	329	(100.0%)	349	(100.0%)	374

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容（平成29年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	184	今までなかった臨床推論の考え方を、実際に医師から学べたことで理解が深まった。
		グループワーク発表では、他者の異なった視点、考え方を知ることができ、とても学びが深まったと思います。
		世の中の流れや問題点など、知らないことをたくさん知ることができた。NPとして視野を広く養うためには、ためになる授業である。
		準備や企画がとても大変な演習だったと思います。指導して頂きました先生方や卒業生の先輩に感謝しています。
		研究の手法について、とてもわかりやすく講義していただきました。
授業に対する 要望等	127	もっと授業時間が欲しかった。
		全ての授業のハンドアウトを配布してほしい。
		他の科目と名前が似ているため分かりやすく区別できるような名前にしてほしい。
		グループワーク発表後からレポート提出までの期間が短かった。
計	311	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	21	乳房について全く新しい知識だったのでもっと学びたいです。乳房エコーができるようになりたいと思えました。とても面白かったです。
		1つの助産院に6週間行けたのはよかったです。
		細胞レベルから細かく説明してくれたのでとてもわかりやすかったです。選択してよかったと思います。
		開業権を持つ助産師として経営について学ぶことは必要だと思いました。
授業に対する 要望等	29	超音波の見方についてもう少し詳しくやりたかった。
		臨床経験がないと難しくわかりづらかった。
		学生のレジュメは4枚アップ（1枚に4つのスライド）にしてほしい。
		免許取得コースの方たちに役立つ内容だと思います。ただ、すでに免許を取得している2人には毎日現場で実践している内容なので簡単すぎると思いました。
計	50	

看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	5	理論を学ぶことを学習させていただき大変面白かったです。内容が深いので・・内容という点ではまだ不十分と思いますが、自分なりに概要は理解できたと思います。
		講義内容については、どの講義も現実的なものが多く実践に繋がるものであり、視点が拡大され、自分の活動レベルに活かせる内容で大変勉強になりました。
授業に対する 要望等	8	人数に対する発表の時間が少なかったように感じます。
		時間配分をもう少し考慮していただきたいと思う。
計	13	

平成29年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

○全科目数 22科目　　**○調査対象者数　371人（延人数）**
○総回答数　326枚（回答率87.9%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（）は平成28年度集計結果】　　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(24.9)	(64.5)	(7.4)	(2.9)	(0.3)	(100.0)
		24.8	54.6	17.5	2.8	0.3	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(13.8)	(63.0)	(18.3)	(4.3)	(0.6)	(100.0)
		9.5	57.1	30.4	3.1	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(20.1)	(44.7)	(26.1)	(6.6)	(2.6)	(100.0)
		13.2	42.3	36.2	8.0	0.3	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(43.3)	(47.9)	(6.9)	(1.7)	(0.3)	(100.0)
		44.8	38.7	15.3	1.2	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(18.1)	(51.3)	(24.1)	(4.3)	(2.3)	(100.0)
		17.5	45.7	31.3	5.2	0.3	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(15.8)	(51.0)	(25.5)	(5.2)	(2.6)	(100.0)
		14.7	46.3	31.9	7.1	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(15.5)	(50.4)	(26.1)	(4.6)	(3.4)	(100.0)
		14.1	42.0	39.9	4.0	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(19.8)	(56.2)	(18.3)	(4.6)	(1.1)	(100.0)
		17.5	55.5	24.8	2.1	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成28年度	(21.4)	(53.6)	(19.1)	(4.3)	(1.6)	(100.0)
	平成29年度	19.5	47.8	28.4	4.2	0.1	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

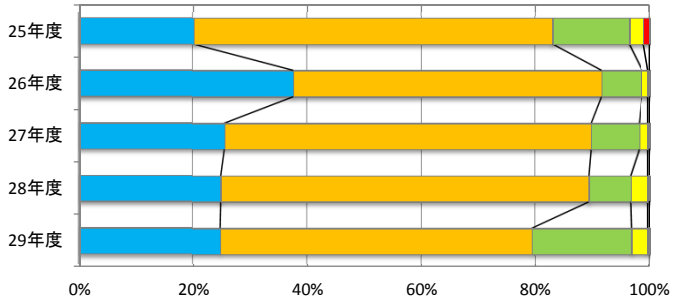
◆ 年度別　授業評価集計結果

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	20科目	20科目	22科目	21科目	22科目
調査対象者数（延人数）	383人	343人	388人	362人	371人
総回答数（回答率）	377枚（98.4%）	322枚（93.9%）	345枚（88.9%）	349枚（96.4%）	326枚（87.9%）

◆ 年度別・質問項目別　集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

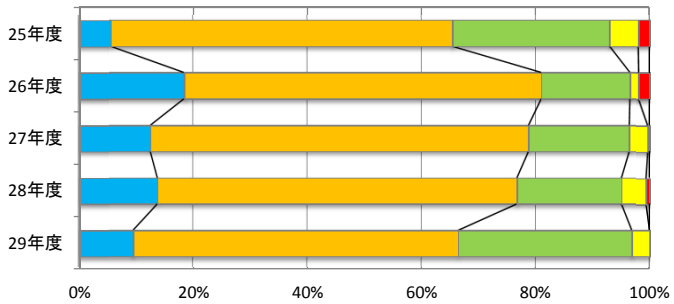
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	20.2	62.9	83.1	―
26年度	37.6	54.0	91.6	＋8.5
27年度	25.6	64.2	89.8	△ 1.8
28年度	24.9	64.5	89.4	△ 0.4
29年度	24.8	54.6	79.4	△ 10.0

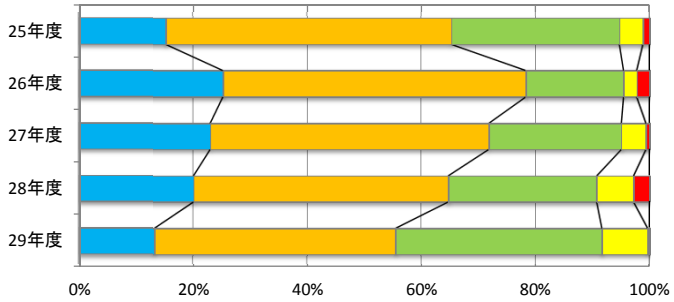
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	5.6	59.9	65.5	―
26年度	18.4	62.6	81.0	＋15.5
27年度	12.5	66.3	78.8	△ 2.2
28年度	13.8	63.0	76.8	△ 2.0
29年度	9.5	57.1	66.6	△ 10.2

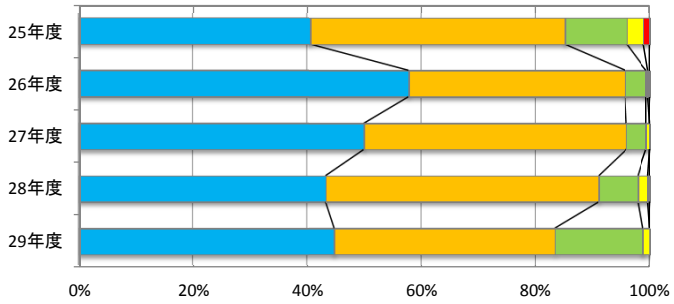
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	15.2	50.1	65.3	―
26年度	25.2	53.1	78.3	＋13.0
27年度	23.0	48.8	71.8	△ 6.5
28年度	20.1	44.7	64.8	△ 7.0
29年度	13.2	42.3	55.5	△ 9.2

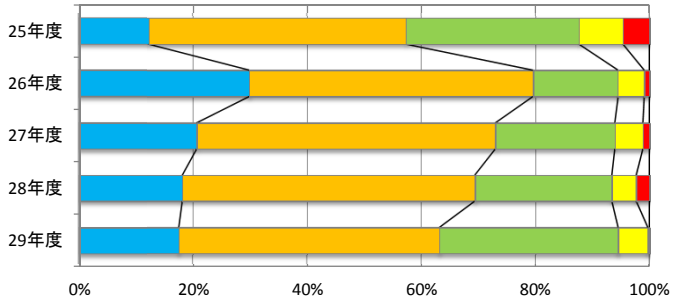
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	40.6	44.6	85.2	―
26年度	57.8	37.9	95.7	＋10.5
27年度	50.0	45.9	95.9	＋0.2
28年度	43.3	47.9	91.2	△ 4.7
29年度	44.8	38.7	83.4	△ 7.8

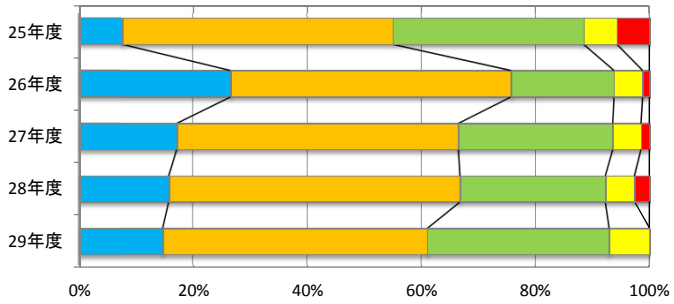
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	12.2	45.1	57.3	―
26年度	29.8	49.7	79.5	＋22.2
27年度	20.6	52.3	73.0	△ 6.5
28年度	18.1	51.3	69.4	△ 3.6
29年度	17.5	45.7	63.2	△ 6.2

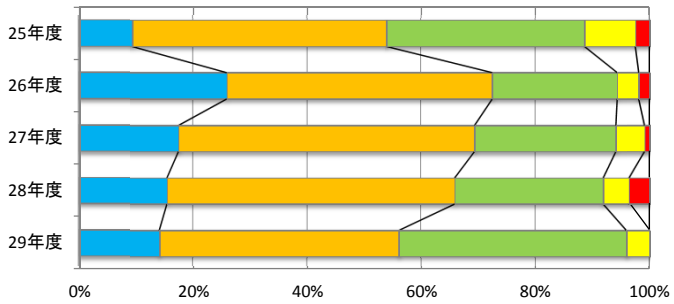
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	7.7	47.3	55.0	―
26年度	26.6	49.1	75.7	＋20.7
27年度	17.2	49.3	66.5	△ 9.2
28年度	15.8	51.0	66.8	＋0.3
29年度	14.7	46.3	61.0	△ 5.7

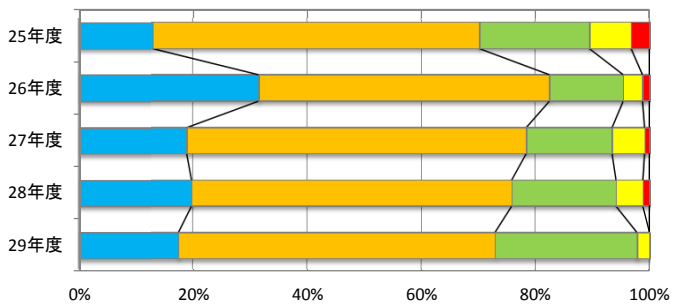
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	9.3	44.7	54.0	―
26年度	25.9	46.6	72.5	＋18.5
27年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.1
28年度	15.5	50.4	65.9	△ 3.5
29年度	14.1	42.0	56.1	△ 9.8

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	13.0	57.3	70.3	―
26年度	31.5	51.0	82.5	＋12.2
27年度	19.0	59.5	78.4	△ 4.1
28年度	19.8	56.2	76.0	△ 2.4
29年度	17.5	55.5	73.0	△ 3.0

平成29年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

○全科目数 30科目　　**○調査対象者数　242人（延人数）**
○総回答数　217枚（回答率89.7%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（）は平成28年度集計結果】　　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(18.4)	(67.0)	(14.6)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		19.0	60.6	18.1	2.3	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(9.2)	(67.0)	(19.5)	(4.3)	(0.0)	(100.0)
		12.6	64.2	20.0	3.3	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(17.3)	(54.6)	(25.4)	(2.7)	(0.0)	(100.0)
		17.1	48.6	27.8	5.6	0.9	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(21.1)	(60.5)	(17.3)	(1.1)	(0.0)	(100.0)
		24.5	61.6	12.0	1.9	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(9.7)	(56.8)	(24.3)	(9.2)	(0.0)	(100.0)
		19.9	54.6	20.4	5.1	0.0	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(10.3)	(56.8)	(25.4)	(4.9)	(2.7)	(100.0)
		15.8	57.2	23.7	3.3	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(10.3)	(58.4)	(25.9)	(3.2)	(2.2)	(100.0)
		15.3	59.3	22.2	3.2	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(13.0)	(60.0)	(21.6)	(3.2)	(2.2)	(100.0)
		19.9	56.5	19.9	3.7	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成28年度	(13.6)	(60.1)	(21.8)	(3.6)	(0.9)	(100.0)
	平成29年度	18.0	57.8	20.5	3.5	0.1	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

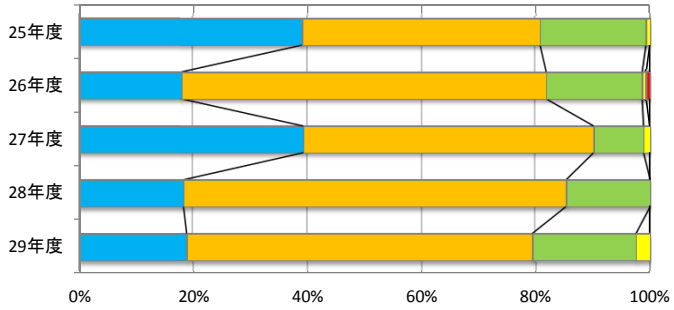
◆ 年度別　授業評価集計結果

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	28科目	31科目	33科目	31科目	30科目
調査対象者数（延人数）	244人	205人	198人	221人	242人
総回答数（回答率）	141枚（57.8%）	144枚（70.2%）	183枚（92.4%）	185枚（83.7%）	217枚（89.7%）

◆ 年度別・質問項目別　集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

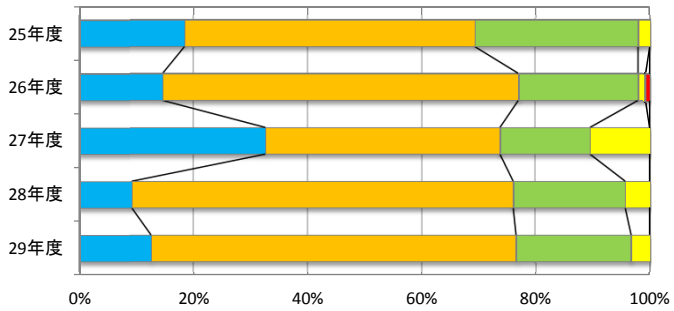
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	39.1	41.8	80.9	―
26年度	18.1	63.9	82.0	＋1.1
27年度	39.3	50.8	90.1	＋8.1
28年度	18.4	67.0	85.4	△ 4.7
29年度	19.0	60.6	79.6	△ 5.8

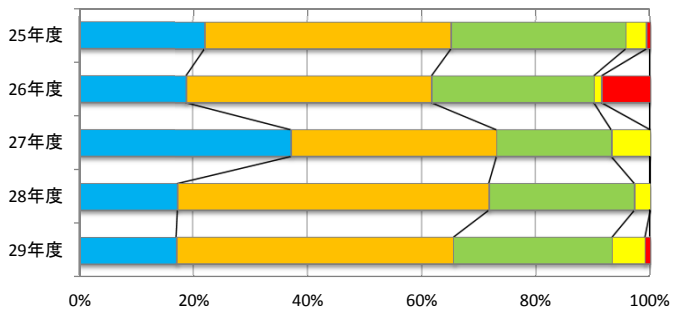
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	18.4	51.1	69.5	―
26年度	14.6	62.5	77.1	＋7.6
27年度	32.6	41.3	73.9	△ 3.2
28年度	9.2	67.0	76.2	＋2.3
29年度	12.6	64.2	76.8	＋0.6

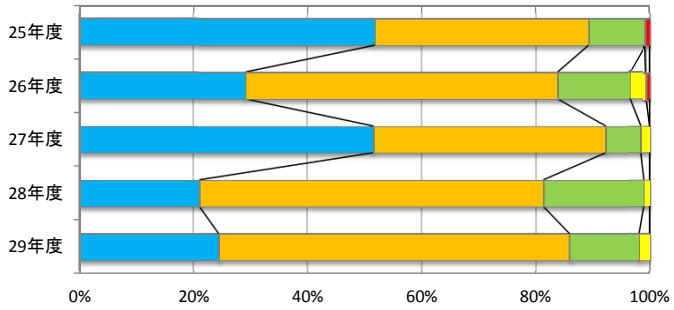
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	22.0	43.3	65.3	―
26年度	18.8	43.1	61.9	△ 3.4
27年度	37.2	36.1	73.3	＋11.4
28年度	17.3	54.6	71.9	△ 1.4
29年度	17.1	48.6	65.7	△ 6.2

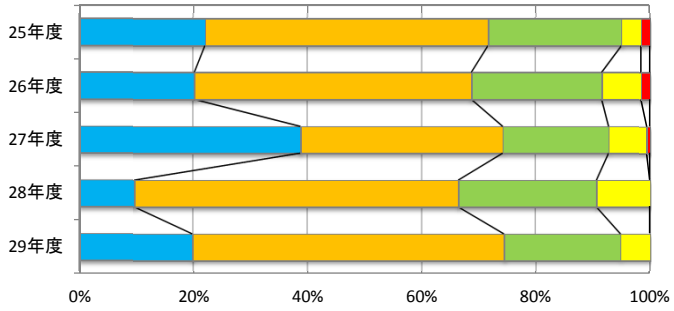
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



(%)

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	51.8	37.6	89.4	―
26年度	29.2	54.9	84.1	△ 5.3
27年度	51.6	40.8	92.4	＋8.3
28年度	21.1	60.5	81.6	△ 10.8
29年度	24.5	61.6	86.1	＋4.5

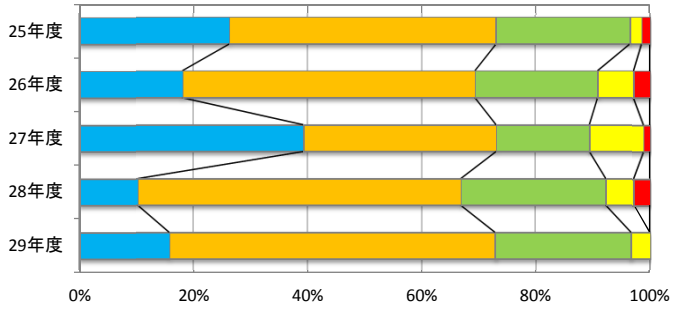
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



(%)

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	22.1	49.6	71.7	―
26年度	20.2	48.6	68.8	△ 2.9
27年度	38.8	35.5	74.3	＋5.5
28年度	9.7	56.8	66.5	△ 7.8
29年度	19.9	54.6	74.5	＋8.0

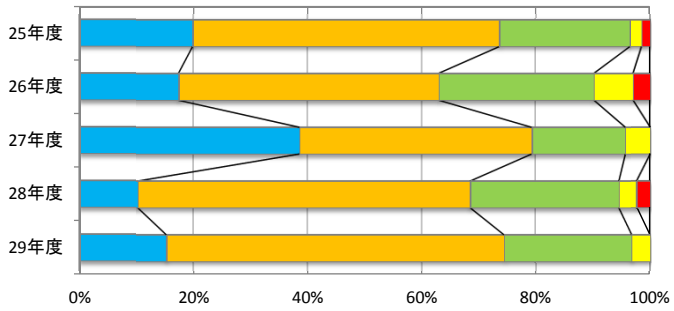
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



(%)

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	26.3	46.8	73.1	―
26年度	18.1	51.4	69.5	△ 3.6
27年度	39.3	33.9	73.2	＋3.7
28年度	10.3	56.8	67.1	△ 6.1
29年度	15.8	57.2	73.0	＋5.9

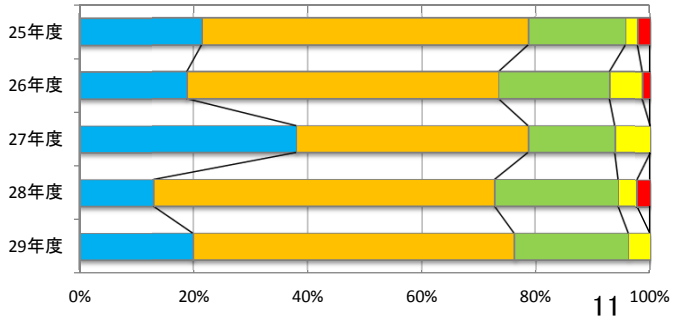
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



(%)

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	19.9	53.9	73.8	―
26年度	17.4	45.8	63.2	△ 10.6
27年度	38.6	40.8	79.4	＋16.2
28年度	10.3	58.4	68.7	△ 10.7
29年度	15.3	59.3	74.6	＋5.9

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



(%)

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
25年度	21.4	57.4	78.8	―
26年度	18.8	54.9	73.7	△ 5.1
27年度	38.0	40.8	78.8	＋5.1
28年度	13.0	60.0	73.0	△ 5.8
29年度	19.9	56.5	76.4	＋3.4

平成29年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース

※平成26年度設置

○全科目数 7科目　　**○調査対象者数　19人（延人数）**
○総回答数　14枚（回答率73.7%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（）は平成28年度集計結果】　　（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(71.1)	(28.9)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		21.4	71.4	0.0	7.1	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(36.8)	(44.7)	(18.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		0.0	85.7	7.1	7.1	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(26.3)	(50.0)	(15.8)	(5.3)	(2.6)	(100.0)
		21.4	42.9	14.3	21.4	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(63.2)	(31.6)	(5.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(50.0)	(34.2)	(15.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(52.6)	(34.2)	(13.2)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		7.1	50.0	21.4	21.4	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(57.9)	(28.9)	(10.5)	(2.6)	(0.0)	(100.0)
		7.1	50.0	28.6	14.3	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(55.3)	(34.2)	(10.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		14.3	57.1	21.4	7.1	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成28年度	(51.6)	(35.9)	(11.2)	(1.0)	(0.3)	(100.0)
	平成29年度	16.1	55.4	18.8	9.8	0.0	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース
※平成26年度設置

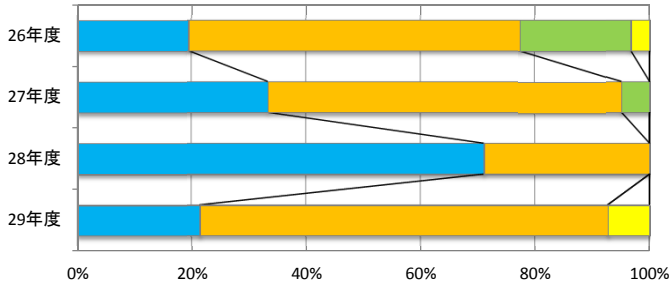
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度
全科目数	12科目	12科目	14科目	7科目
調査対象者数（延人数）	36人	22人	38人	19人
総回答数（回答率）	31枚（86.1%）	21枚（95.5%）	38枚（100.0%）	14枚（73.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

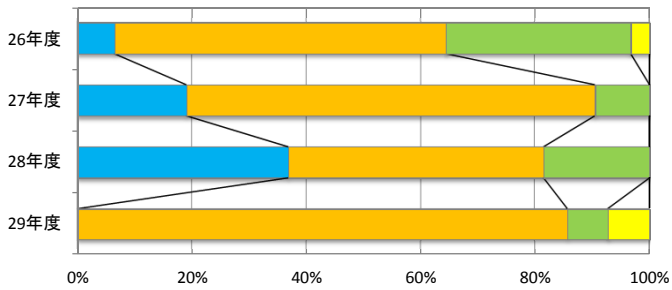
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	58.0	77.4	-
27年度	33.3	61.9	95.2	＋17.8
28年度	71.1	28.9	100.0	＋4.8
29年度	21.4	71.4	92.9	△ 7.1

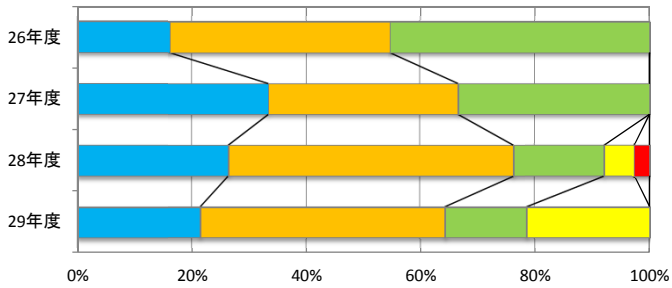
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	6.5	58.1	64.6	-
27年度	19.0	71.4	90.5	＋25.9
28年度	36.8	44.7	81.6	△ 8.9
29年度	0.0	85.7	85.7	＋4.1

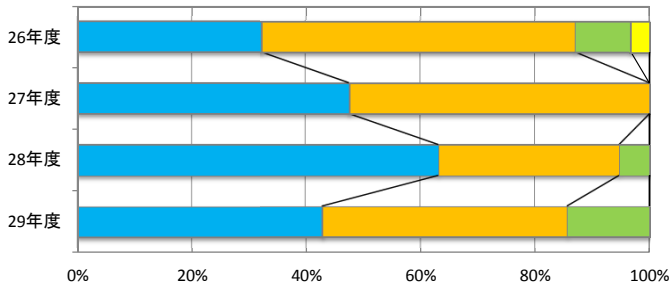
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	16.1	38.7	54.8	-
27年度	33.3	33.3	66.7	＋11.9
28年度	26.3	50.0	76.3	＋9.6
29年度	21.4	42.9	64.3	△ 12.0

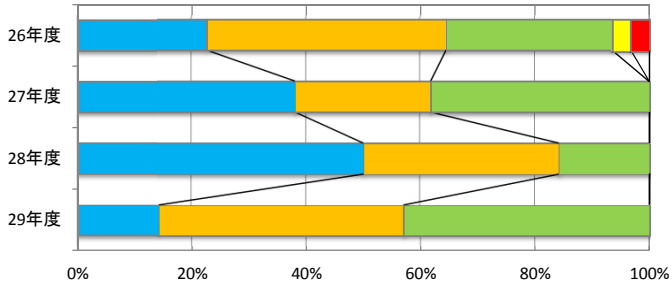
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	32.3	54.8	87.1	－
27年度	47.6	52.4	100.0	＋12.9
28年度	63.2	31.6	94.7	△ 5.3
29年度	42.9	42.9	85.7	△ 9.0

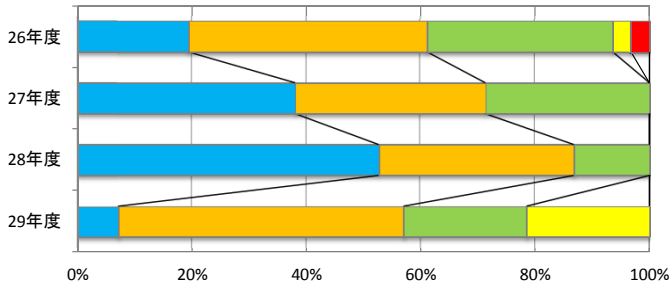
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	22.6	42.0	64.6	－
27年度	38.1	23.8	61.9	△ 2.7
28年度	50.0	34.2	84.2	＋22.3
29年度	14.3	42.9	57.1	△ 27.1

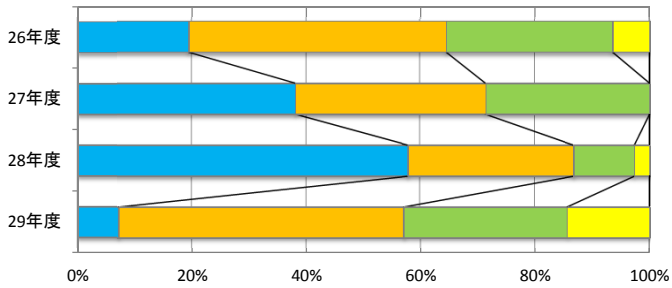
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	41.9	61.3	－
27年度	38.1	33.3	71.4	＋10.1
28年度	52.6	34.2	86.8	＋15.4
29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7

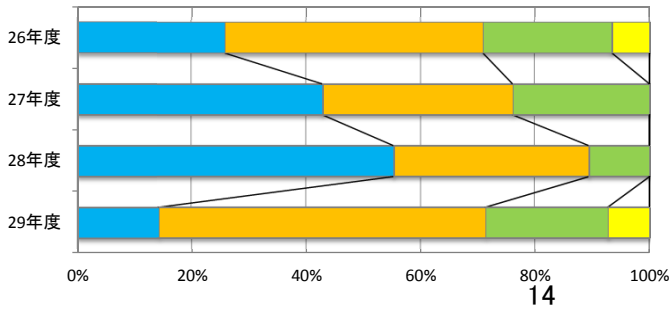
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	45.2	64.6	－
27年度	38.1	33.3	71.4	＋6.8
28年度	57.9	28.9	86.8	＋15.4
29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.8	45.2	71.0	－
27年度	42.9	33.3	76.2	＋5.2
28年度	55.3	34.2	89.5	＋13.3
29年度	14.3	57.1	71.4	△ 18.0